

第2号議案 2018年度事業報告

(1) 日本画像学会年次大会（第121回研究討論会）

Imaging Conference JAPAN 2018] 開催報告

実行委員長：武井一 副実行委員長：服部好弘、朝武敦

2018年6月19日(火)～21日(木)の3日間、日本画像学会年次大会（通算121回）「Imaging Conference JAPAN 2018」を千葉市稲毛区にある、千葉大学 西千葉キャンパス、けやき会館および工学系総合研究棟 II にて開催した。

本大会では、プリンタやデジタル印刷機などのハードコピー関連技術、エレクトロニック・イメージング技術、新規イメージング技術、3D造形およびデジタルファブリケーション技術、デジタル画像処理技術、画像認識や画質評価を扱う視覚に関する技術、新規イメージング技術、シミュレーション技術など、全部で8技術分野の最新技術発表を集め、23のセッションを設けて討論した。また、本学会の年次大会としては初めてオーガナイズドセッションを設け、インクジェット技術部会および画像感性部会が企画し、国内外より第一線で活躍する論客を集め、議論が行われた。大会の規模としては、一般講演66件（受賞記念講演2件を含む）、キーノートを含む6件の招待講演に加えて1件のワークショップ、1件の技術交流会、8社による技術展示、そして日本画像学会創立60周年を記念する催しなどを開催し、大会参加者406名（講師、委員含む）、ワークショップ参加者25名（同）、技術交流会の参加者は126名を数え、全体として前年を上回る規模となった。

初日(19日)は、日本画像学会第61回定時総会に引き続いて、キーノートスピーチ「3Dプリンティングから4Dプリンティングへ ～ボクセルによる画像と物質の融合～」を慶應義塾大学 SFC 研究所所長 田中浩也教授よりご講演いただき、4Dプリンティングの技術展開に向けた世界の動向、日本国内の取り組みおよび今後の展望が示された。午後は3トラックに分かれてセッションが進行し、第1トラック（けやき会館大ホール）では、富士ゼロックス株式会社 高橋良輔氏による2016年度論文賞受賞記念講演、東京農工大学 田川義之准教授によるコニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞受賞記念講演に続き、インクジェット技術部会のオーガナイズによる、インクジェットのセッションが催された。第2トラック（けやき会館レセプションホール）では、画像入力・画像処理のセッションおよび、画像感性部会のオーガナイズによる、特別講演、特別セッションが催された。Google Inc. の Carl Staelin 氏による、「Kansei Imaging」が目指すソリューションについての講演に続き、慶應義塾大学 渡辺茂教授、大阪大学 内藤智之講師、千葉大学 小林裕幸教授による招待講演が行われ、画像と感性に関する研究の様々なアプローチが紹介された。第3トラック（工学系総合研究棟 II コンファレンスルーム）では、電子写真材料と、電子写真デバイスを扱うセッションが催された。

1日目のセッション終了後、大ホールにて日本画像学会創立60周年記念式典が開催され、面谷信会長による日本画像学会 Vision (Action Before 2020) の紹介に続き、懸賞論文「画像技術の未来への提言」受賞者の発表および表彰が行われ、優秀賞の原田祐造氏（京セラドキュメントソリューションズ株式会社）、佳作の大矢貴史氏（早稲田大学）、高宮英秋氏、池永一広氏が表彰を

受けられた。式典後の懇親会は、学会創立 60 周年記念パーティを兼ねて開催され、会場となった生協フードコートでは、懐かしいイベントや機種の写真がスライド投影され、盛り上がりを見せた。

大会 2 日目(20 日)、第 1 トラックでは、富士ゼロックス株式会社 藤井雅彦氏による特別講演が行われ、インクジェット技術の進展の過程を進化論という視点で概説された。引き続き、インクジェットとデジタルファブリケーションのセッション、新規イメージングのセッションが開かれた。第 3 トラックでは、画質・視覚に関するセッション、電子ペーパー・エレクトリックイメージングのセッションに続き、電子写真システム、デバイスおよびシミュレーション技術の報告があった。また、午前中に『ローラ摩擦式紙粉検出法』についてのワークショップが開催され、MFP の作像・搬送性能に影響する紙粉の評価方法の標準化に向けて議論が行われた。

3 日目最終日(21 日)、日本印刷学会、日本写真学会との合同によるインタラクティブセッションが催され、午前中、大ホールでのショートプレゼンテーションに続き、午後は会場をレセプションホールに移してポスターセッションが行われた。合計で 28 件の発表に対して、ポスターを前に熱心な議論が繰り広げられ、会場は盛り上がりを見せた。日本画像学会からの 12 件のポスターから、ベストポスター賞に東京農工大学 前嶋麻緒氏、日本画像学会誌編集委員長賞に大阪府立大学 饗庭智也氏が選ばれた。また、画像関連学会連合会のベストポスター賞に、日本画像学会からは東京農工大学 前嶋麻緒氏が選ばれた。一般講演では、インクジェット応用分野である、3D プリンタ、バイオプリンターのセッションが開かれ、大阪大学 境慎司教授、富山大学 中村真人教授らの研究される最先端の 3D バイオプリンティング技術が紹介された。

同日午後、大ホールでは、画像関連学会連合会の企画による Regional Report が開かれ、アジア諸国の研究状況やトピックスが話された。日本からは東海大学 面谷信教授、韓国 Chonbuk National University の Prof. Myong-Hoon Lee、インドネシア Stikubank University の Dr. Sebastianus Adi Susanto、タイ Chulalongkom University の Prof. Aran Hansuebsai、そして中国 Qilu University of Technology の Prof. Lin Maohai が講演された。また、別室の技術交流会「インクジェットヘッドショーケース」では、普段見る機会の少ない各社のインクジェットヘッドを展示、説明が行われ、9 社のヘッドの展示に対し、多くの参加者が集い、会場は盛り上がりを見せた。

3 日間を通じて、けやき会館 2 階の展示ホールで開催した展示会では、8 社の参加をいただき、最新のイメージング関連機器が紹介された。また、1 日目、2 日目には、日本画像学会創立 60 周年記念展を行い、学会事務局が収蔵する学会誌全巻と研究討論会予稿集全巻が展示された。

60 周年記念や、連合会の催しも組み込んだ 3 日間のプログラムは、参加者の皆様と、実行委員の皆様のご協力と関係各位のご支援により無事に終了することができました。改めて厚く御礼申し上げます。

(2) 総会

2018年6月19日(火) 日本画像学会年次大会(第121回研究討論会) “Imaging Conference JAPAN 2018 (ICJ2018)”の開催初日に、千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館 大ホールにおいて、第61回定時総会を開催した。定足数422名を大幅に上回る534名の方のご出席(委任状含む)をいただいた。2012年度から、出欠連絡と各議案の賛否投票を、ハガキからweb回答を中心とする方式に移行しており、今年度の回答率は63.3%であった。回答率の推移は、2012年度63.6%、2013年度63.0%、2014年度59.0%、2015年度60.0%、2016年度59.0%、2017年度60.7%であり、今年度もほぼ例年同等の水準であった(図1参照)。本方式が定着し、例年行っている、理事を通じた各組織内会員への働きかけを経ずに定足数を満たすことができた。また、回答時に意見を述べられる工夫も好評であった。

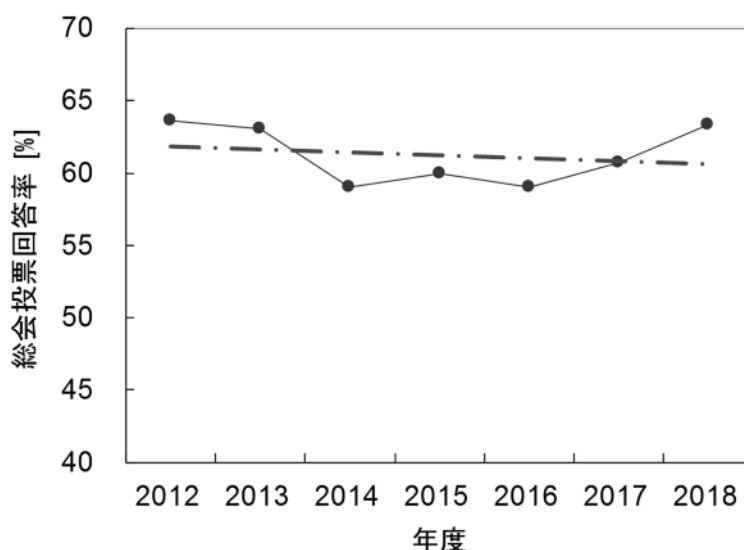


図1 総会投票回答率推移

本総会では、面谷会長の挨拶のあと、定数の確認を行い、面谷会長を議長に選出して議事に入った。以下の議案について提案と報告が行われ、委任状を含み大多数の賛成により全議案が承認された。

- ① 2018年度役員候補の承認(第1号議案)
- ② 2017年度事業報告、同収支決算および監査報告の承認(第2号議案、第3号議案)
- ③ 2018年度事業計画および同一般会計予算の報告(第4号議案)

最後に質疑応答を行い、日本画像学会の財務体質について、今後国際化などの事業推進による支出増に対して財務体質の強化が必要ではないかとの意見と、理事会での議論が十分尽くせるような検討時間の確保という意見が提案された。いずれも必要なことであり、検討していくことが学会執行部、財務委員長より回答された。

第61回定時総会の議案と議事録は、当学会ホームページからもご覧いただけます。

http://www.isj-imaging.org/about_ISJ/assembly.html

(3) 2017年度 日本画像学会表彰

日本画像学会は選奨規定に則り、2017年度学会賞、功労賞、論文賞、研究奨励賞、会長特賞、フェロー表彰、技術賞、技術研究賞、日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞の選考を行い、2018年6月19日開催の表彰式の席上で表彰と各賞の贈呈を行った。各受賞者は以下の通りである。(敬称略)

掲載号：日本画像学会誌，第57巻，第4号，(通巻第234号)，pp. 483-489

<功労賞(第23回)3件>

伊藤哲也(ビジネス機械・情報システム産業協会)

永瀬幸雄(キヤノン株式会社)

北久保茂(日本工業大学)

<論文賞(第32回)1件>

著者：原勝志、金子卓巳(キヤノン株式会社インクジェット事業本部インクジェットデバイス開発センター)

柳内智和(キヤノン株式会社デジタルシステム開発本部画像情報技術開発センター)

論文名：「実観察環境における光沢紙写真プリント画像の黒濃度及び色再現の“見え”定量化」

掲載号：日本画像学会誌，第56巻，第4号，(通巻第228号)，pp. 327 - 334

<研究奨励賞(第25回)3件>

① 浜本貴紀(富士フイルム株式会社)

「浸透性/非浸透性基材上におけるインクジェット微小液滴のドット制御技術」

② 大矢貴史(早稲田大学)

「エレクトロニクスシートを用いた生体電位計測のための基礎的研究」

③ 塩野郁弥(大阪府立大学)

「塗布製作可能な有機フローティングゲートトランジスタの光メモリ機能」

<会長特賞(第17回)1件>

三矢輝章(株式会社リコー)、大嶽英宗(株式会社リコー)、

中山信行(富士ゼロックス株式会社)

<フェロー(第5回)1件>

前田秀一(王子製紙株式会社・東海大学)

<技術賞(第28回)1件>

① 技術：「新規UV硬化インクとハーフトーン・パターニングによる高速・高画質形成技術」コニカミノルタ株式会社 飯島裕隆、平野肇志、高林敏行、菅谷豊明、水谷敏幸

<日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞(第13回)1件>

江良正直(佐賀大学)

研究題目：「有機・無機ペロブスカイト自己組織化膜の光・電子物性」

(4) 日本画像学会年次大会 (第 122 回研究討論会) 「Imaging Conference JAPAN 2018 Fall Meeting」開催報告 (関西委員会)

実行委員長：金本成一 (ブラザー工業株式会社)

2018 年 11 月 15 日 (木) ~11 月 17 日 (土) の 3 日間、日本画像学会研究討論会を京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパスにて開催した。また今回も例年通り、技術講習会実行委員会のご協力により、2 日目にチュートリアル形式の技術講習会 (EP と IJ の 2 講座) を開催した。

4 画像関連連合会 (印刷学会、写真学会、画像電子学会、画像学会) の秋季大会も今回で 5 回目になり、日本画像学会としても初めて 3 日間の運営を行った。また、合同開催方法もさまざま進化するなかで、今回は 4 学会同時開催の融合感をだすために次のような工夫を行った結果、効率的な運営をすることができた。

- ① 発表申し込みの窓口を一本化する。
- ② 発表は学会毎ではなく、内容 (材料+機器、ソフト) 別で会場を分ける。
- ③ 予稿集は 4 学会共通にする (全発表を 1 冊にまとめる)。
- ④ 全体の「ベストポスター賞」と、画像学会としての「編集委員長賞」を設ける。

さらに同一会場で他学会の全く分野が違う発表が聴け、大いに刺激になった。口頭発表、ポスター掲示では活発な議論が展開され、ベストポスター賞、編集委員長賞ともに日本画像学会から発表登録された研究がえらばれた。研究の今後の発展が期待される。

また技術講習会から発展したチュートリアルも好評のうちに終了した。

各賞は以下の講演が受賞された。

○ベストポスター賞

P01 「量子ドット発光ダイオードの作製と特性評価」

佐野 翔一、他 / 大阪府立大学 (登録：日本画像学会)

○編集委員長賞

P67 「放物面鏡対を使用した像浮上型の体積型立体表示

— 像照射系の配置最適化による鑑賞性向上—

稲 義実、他 / 東海大学 (登録：日本画像学会)

尚、今回の技術賞受賞講演は以下の報告です。

○第 28 回技術賞

新規 UV 硬化インクとハーフトーン・パターンニング技術による高速・高画質形成方法

飯島裕隆、他 4 名 コニカミノルタ (株)

プログラムは本稿後半に記載。

(5) 評議員会

2019年3月15日に東海大学校友会館（東京・霞が関）において開催し、2018年度事業報告、同財務報告、2019年度事業計画、同財務計画及びICJ2019概要説明と、それぞれの質疑応答を行った。

事業報告に関しては編集・技術・企画・コンファレンス・事業の各委員会について、運営委員長より、詳細な説明を行った。

出席者は48名（評議員19名、顧問3名、役員他27名）で、会議終了後に、特別講演会、懇親会を行った。

(6) 理事会

以下に示す日程で年間6回の理事会を開催し、学会運営・活性化に関する諸施策の審議、2017年度選奨、2018年度予算執行状況の確認、2019年度予算案の審議・承認などを行った。

・2018年

第1回：5月15日（火）15:00～18:00	TKP 東京駅丸の内
第2回：7月20日（金）10:00～12:00（午後：役員研修会）	霞会館
第3回：10月16日（火）15:00～18:00	霞会館
第4回：12月21日（金）15:00～18:00	霞会館

・2019年

第5回：2月15日（金）15:00～18:00	霞会館
第6回：3月15日（金）13:00～15:00	東海大学校友会館

本年度の理事会活動では、例年同様にICJや各研究会の開催と画像関連学会連合会の推進に関する検討・審議に加え、本年度の学会創立60周年にともなう記念事業の推進に関する審議、新たに設置した複写機遺産事業に関する審議が重要な議題であった。また、国際化が強力に推進されてきており、ICJ2018と同時開催したminiICAIや、来年度のICAI2019についても都度審議された。さらに、2020年にはIS&TとP4F2020およびICAI2020を共同開催することが決議された。

これまで設定している、会勢拡大、財政再建、研究範囲拡大や停滞分野の再活性化、国際化といった学会の諸課題に対する改革計画と実行については、役員研修会の中で継続してレビューし、見直しを行っている。これらについては、運営委員会のパートを参照されたい。

(7) 事務局 事務局長 竹内達夫

- ・ イベント関連では、本年より画像と視覚の基礎講座（全4回）、4DFP シンポジウムが新たに開始されたほか、シミュレーション技術交流会がスタートした。これ以外の研究討論会、研究会、講習会、フリートーキング、イメージングカフェは例年通りに開催した。また、学会創立60周年記念として、従来のイベントにこの冠をつけ、記念イベントとした。イベントの開催回数32回、開催日数38日でイベント開催回数は昨年より2回増加。総有料参加者数は前年より多少上回った。ICJの参加者・各研究会の参加者は横ばいから増加傾向となった。収支としては創立60周年記念行事を充実させ前年並みとなる見込みである。
- ・ 学会誌の発行部数は会員数の増減に連動し、毎号1400部前後である。年6回、編集委員会→印刷会社→発送会社経由で発行、配送されており、毎号、同梱チラシの配付先管理、日程管理及び会員の増減や住所変更への対応を図っている。
- ・ 理事会、各種委員会・各技術部会の開催件数は年間100件以上で活発な議論が交わされている。また、画像関連学会連合会代議員会及び秋季年次大会の連合会合同開催にむけた実行委員会等が開催された。

○年度別個人会員数の推移

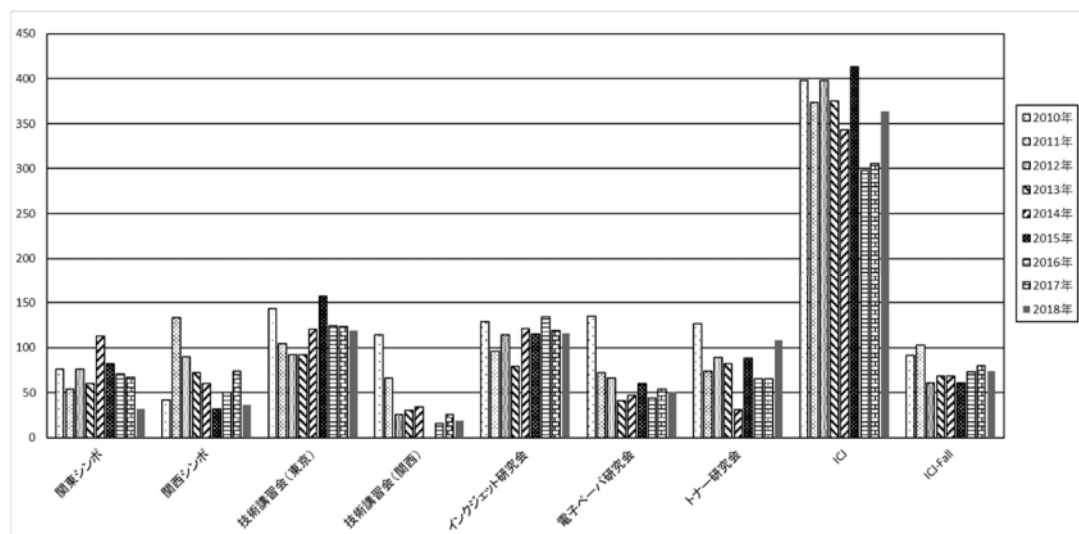
2005年度～2018年度末までの会員数推移を示す。昨年度末下げ止まりの傾向を見せ増加傾向となった会員数だが、本年度末では減少となりそうである。昨年度から進めている会費未納者を未納退会者として一旦会員数から外し、実活動会員を中心とした数の明確化を図った結果、実働会員への転換が進んだものと考えていたが、ここにきて業務変更による退会者やシニア会員への変更が一巡し、定年により退会する方が増加し始めた模様である。

年度	個人会員数(名)
2005年	1,188
2006年	1,190
2007年	1,206
2008年	1,137
2009年	1,087
2010年	1,027
2011年	998
2012年	944
2013年	960
2014年	922
2015年	949
2016年	926
2017年	944
2018年	914



*2018年度は12月末の正会員数

○学会の主なイベント参加者推移



2010年度～2018年度の当学会が主催する年次大会、研究会、講習会など、主なイベントの有料参加者推移を示す。主要イベントの有料参加者数は前年より増加してきている。ただし、研究会によっては参加者減もあり、テーマに依存するものと思われる。

(8) 運営委員会 委員長 中山信行 (富士ゼロックス)

運営委員会として、例年通り、学会活動の年間予定の作成、年6回の理事会の準備・議事進行・議事録作成、年次総会および評議員会の準備・運営など、本学会活動の運営全般を推進した。詳細はそれぞれの報告を参照されたい。このほかに運営委員会が主体で推進した2018年度の活動として、次の3点がある。

(1) 役員研修会

2018年7月20日(金)に、例年通り霞会館にて役員研修会を開催した。昨年度までに6課題を取り上げて取り組みを行っており、本年度は昨年度の活動レビューを行った上で、新たな施策をテーマ(課題)ごとに検討して、設定した。主要な施策は表1のとおりであり、担当委員会で具体策を検討して、順次実行に移している。

表1 役員研修会で抽出した施策

(太字は2018年度新規追加、下線は2018年度までに完了/中止)

テーマ(課題)	施策
会員増 イベント参加者増	<ul style="list-style-type: none"> 維持会員制度 <u>会員メリットの訴求</u> ICJの新企画 ICJ Fallの新企画 IF取得 技術部会への個人会員取り込み
守備範囲拡大 停滞分野活性化	<ul style="list-style-type: none"> <u>部会の見直し</u> <u>3Dタスクフォース</u> ICJ新規領域取り組み 各部会活動活性化策 委員の環境改善 新規領域への取り組みを活性化する仕組みの検討 画像処理部会再編 プロダクション取り組み検討

- 4) 開催規模： 参加者 355 名(海外 125 名/国内 230 名)
発表 110 件 (海外 50 件/国内 60 件)
予算 3100 万

(9) 編集委員会 委員長 中村一希 (千葉大学)

編集委員会の主な活動は、①学会誌の企画、編集および定時発行 (年 6 冊)、②学会の特集内容に即した講演会『フリートーキング“Imaging Today”』の開催 (年 2 回)、③ICJ、ICJ Fall のインタラクティブセッションにおける編集委員長賞の選定・表彰である。これらの遂行のため 2018 年度は、編集委員会 (6 回、うち 1 回は合宿形式にて年間計画策定)、印刷所での校正作業 (6 回)、年次大会での発表審査、各 WG 活動 (適宜) を行った。それぞれの内容を下記に記す。

【日本画像学会誌 発行】

2018 年の学会創立 60 周年に関する各種特集の企画・編集のため、委員会内に組織した 60 周年記念号 WG を中心に 231 号 (2018 年 2 月号) における「日本画像学会創立 60 周年記念号」および、2018 年を通じた学会 60 周年に関する特集記事の編集活動に注力した。2018 年 2 月号は記念特集号とし、歴代会長、画像関連学会会長らからの寄稿、日本画像学会の歩み、組織・運営の変遷、企業・大学・個人会員からの寄稿を掲載した。また、その後 12 月号に至るまで、各号に「学会創立 60 周年特集」を設け、画像関連技術の変遷、学会フェローによる画像技術の将来展望と抱負に関する寄稿、懸賞論文などを順次掲載した。これまでの学会の歩みや現在の技術・組織の立ち位置を明確にすると共に、今後の画像関連技術や学会の組織運営の指針を得る特集として 60 周年に相応しい内容となったと考える。

また、毎年 1 回特定技術分野にテーマを絞って英文論文を掲載するクラスタ論文誌は 8 回目となり、本年度は 236 号 (2018 年 12 月号) において「Evolving Simulation Technology」をテーマに、依頼解説 5 報、依頼論文 6 報を掲載した。さらに、年次大会発表と学会誌内容とのリンクによる読者会員へのメリット増のため、6 月に開催した ICJ2018 の一般講演から学術論文としてリライトいただいた論文・解説計 6 編を「日本画像学会 ICJ2018 特集」として 237 号 (2019 年 2 月号) に掲載した。今後も年次大会からの論文勧誘活動を継続して実施し、年次大会での質の高い発表の学術論文化を進める。昨年度から検討しているオープンアクセス化は、実施形態を確定した。詳細の運用方法を決定ののち、2019 年実施予定である (2019 年 4 月 10 日開始)。

以下に各号の詳細を記す。

- ・ **231 号 (Vol. 57, No. 1), 2018 年 2 月 10 日発行, 158 頁, ※日本画像学会創立 60 周年特集号**
巻頭言 (会長)、学会創立 60 周年によせて (画像関連学会連合会会長、当学会歴代会長、学会賞受賞者、歴代事務局長)、日本画像学会の歩み (顧問、編集委員会)、各組織と運営の変遷 (各委員会)、学会員と画像技術 (企業 15 件、大学 13 件、個人会員 14 件)、会報、会告、投稿案内、日本写真学会誌・日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、編集後記、画像閑話

- **232号(Vol. 57, No. 2), 2018年4月10日発行, 115頁**
 論文1報、学会創立60周年特集(技術委員会活動の変遷、画像技術の将来展望と抱負(フェロー))、Imaging Today「質感定量化/再現技術」解説7件、Imaging Highlight「テキスタイル用デジタル捺染の記録簿」、教育講座「振動・音響工学(IV)ー加振実験に基づくモード特性の同定ー」、研究室訪問「東京工芸大学 色の国際科学芸術研究センター」、会報、会告、投稿案内、日本写真学会誌・日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話
- **233号(Vol. 57, No. 3), 2018年6月10日発行, 108頁**
 論文3報、学会創立60周年特集(日本画像学会関連技術の歩み(各技術委員会)、画像技術の将来展望と抱負(フェロー))、Imaging Highlight「バイオミメティック構造発色材料」、教育講座「振動・音響工学(V)ー振動と音の関係についてー」、研究室訪問「長谷川美貴研究室 青山学院大学理工学部 化学・生命科学科」、会報、会告、投稿案内、日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話
- **234号(Vol. 57, No. 4), 2018年8月10日発行, 131頁**
 巻頭言(会長)、論文4報、速報1報、学会創立60周年特集(懸賞論文、画像技術の将来展望と抱負(フェロー))、Imaging Today「最近のデジタル印刷機と高画質化・高機能化に向けた取り組み」解説5報、Imaging Highlight「コロタイプー最も古い写真印刷技術ー」、教育講座「振動・音響工学(VI)ー振動特性の改善とその応用ー」、研究室訪問「岡嶋研究室 横浜国立大学大学院環境情報研究院 社会環境と情報部門」、2017年度学会表彰、一般社団法人日本画像学会第61回定時総会資料、会報、会告、投稿案内、日本写真学会誌・日本印刷学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話
- **235号(Vol. 57, No. 5), 2018年10月10日発行, 130頁**
 解説1報、速報2報、ノート1報、論文2件、学会創立60周年特集(画像技術の将来展望と抱負(フェロー))、Imaging Today「感光体技術」解説7件、Imaging Highlight「進化する磁気テープメディア」、教育講座「表面分析の基礎から応用(I)」、研究室訪問「河合壮研究室 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 物質創成科学研究領域」、会報、会告、投稿案内、日本写真学会誌・日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話
- **236号(Vol. 57, No. 6), 2018年12月10日発行, 113頁, ※英文クラスタ論文集**
 クラスタ論文「Evolving Simulation Technology」依頼解説5報、依頼論文6報、学会創立60周年特集(表彰受賞者リスト)、Imaging Highlight「金属缶の加飾技術について」、教育講座「表面分析の基礎から応用(II)」研究室訪問「羽石秀明研究室 千葉大学フロンティア医工学センター」、会報、会告、訂正、投稿案内、日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話
- **237号(Vol. 58, No. 1), 2019年2月10日発行, 181頁**
 巻頭言(会長)、論文1報、依頼解説1報、ICJ2018特集(論文5報、解説1報)、特集「カーソン方式発明80周年記念」(複写機遺産概要、認定機種紹介)、Advanced Technology「元

素ブロック高分子」解説 8 報、Imaging Highlight「質感と感触の出力—2.5D プリントシステムが生まれるまで」、教育講座「表面分析の基礎から応用(III)」、研究室訪問「東京農工大学田川研究室」、会報、会告、投稿案内、日本写真学会誌・日本印刷学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話

【フリートーキング“Imaging Today”】

- ・ **第 33 回フリートーキング “Imaging Today”**：「最近のデジタル印刷機と高画質化・高機能化に向けた取り組み」、2018 年 9 月 14 日（木）開催、早稲田大学西早稲田キャンパス（新宿区）、5 講演、参加者 36 名
- ・ **第 34 回フリートーキング “Imaging Today”（予定）**：「感光体技術」、2019 年 3 月 18 日（月）開催予定、早稲田大学西早稲田キャンパス（新宿区）、6 講演

【年次大会における編集委員長賞】

- ・ **ICJ2018**：講演番号 INP-21i「溶液プロセスによる短チャネル有機トランジスタの高移動度化：MoO₃塗布注入層を用いた接触抵抗低減」、饗庭 智也 ほか（大阪府立大学）
- ・ **ICJ2018 Fall**：講演番号 P67「放物面鏡対を使用した像浮上型の体積型立体表示—像照射系の配置最適化による鑑賞性向上—」、稲 義実 ほか（東海大学）

(10) 技術委員会 委員長 佐藤利文（東京工芸大学）

1. 技術委員会全体の活動状況

- (ア)2018 年度より、委員長 佐藤利文、副委員長 酒井真理、堀田吉彦の体制でスタートした。
- (イ)2018 年 9 月 18 日（火）に第 1 回主査会議、2018 年 12 月 17 日（月）に第 2 回主査会議を開催した。また、2019 年 1 月 18 日（金）（技術委員会総会と同日）に第 3 回目の主査会議を開催した。
- (ウ)年一度の総会は、委員全員が顔を合わせ交流する場および各部会開催の機会として、2018 年度は 2019 年 1 月 18 日（金）に開催した（総会出席者 68 名、情報交換会出席者 60 名）。総会に先だって同日に 11 部会を開催した。
- (エ)2018 年 12 月 7 日（金）第一回複写機遺産の発表会及び認定式を開催した。第一回の複写機遺産として、リコピー101（株式会社リコー）、914（富士ゼロックス株式会社）、NP-1100（キヤノン株式会社）、U-Bix480（コニカミノルタ株式会社）の 4 機種を認定した。
- (オ)2017 年度に設立されたインクジェット技術交流会、デジタルファブリケーション技術交流会に加え、シミュレーション技術部会も新たに技術交流会を立ち上げた。
- (カ)画像感性部会が日本視覚学会と共催で「視覚と画像の基礎講座」（全 4 回）（「実験方法」2018 年 7 月 19 日（木）、「色」2018 年 9 月 21 日（金）、「空間情報」2018 年 11 月 22 日（木）、「質感」2019 年 1 月 25 日（金））を開催した。
- (キ)2018 年 4 月～2019 年 3 月の間に技術研究会を 5 回[インクジェット技術部会：第 136 回（9/17）、トナー技術部会：第 137 回（10/19）、電子写真技術部会：第 138 回（10/22）、

電子ペーパー/フレキシブル技術部会：第 139 回 (10/30)、MBD 技術部会：第 140 回 (3/20)]開催した。

(ク)第 82 回技術講習会(7/12-13)に、各部会委員から講師を派遣するとともに、シミュレーション技術部会がシミュレーション実演講習を担当した。

(ケ)2018 年 6 月に書籍「改訂インクジェット」を上梓した。また、教科書「画像処理」(仮題)の執筆を進めている。

(コ)2019 年 1 月 18 日 (金)に新規部会として新技術領域検討部会(長山主査)が発足した。

(サ)選奨対象候補のエントリー数増加のために、技術委員会として各部会に積極的に候補抽出を督促し、技術賞、コニカミノルタ研究奨励賞等の候補抽出に貢献した。

(シ)画像評価部会、イメージング材料部会は休会中。

2. 各部会の活動状況

1) 画像評価技術部会

- ・ 2018 年度休会。

2) 電子写真技術部会

- ・ 定例会 9 回(各社会議室)、合宿部会 1 回(複写機遺産事業に関する見学：パナソニックミュージアム、ヤンマー尼崎工場)を開催した。
- ・ 第 3 回技術研究会「カールソン方式発明 80 周年記念研究会」(2018 年 10 月 22 日(月))を開催した。
- ・ 第一回複写機遺産の発表会及び認定式を開催した。(2018 年 12 月 7 日(金)) 第一回の複写機遺産として、リコピー101(株式会社リコー)、914(富士ゼロックス株式会社)、NP-1100(キヤノン株式会社)、U-Bix480(コニカミノルタ株式会社)の 4 機種を認定した。
- ・ イメージングカフェ年末スペシャル「イメージング技術 2018 徹底討論」(2018 年 11 月 22 日(木))において、2018 年の電子写真技術を総括した。

3) トナー技術部会

- ・ 定例会を 5 回、合宿部会と技術研究会を各 1 回開催した。
- ・ 標準キャリア&検定トナーのロット変更に対して帯電量保証のための検定作業と検定値の決定を行った。今年の標準キャリアの頒布実績は 89 本(P-01:27 本、P-02:8 本、N-01:25 本、N-02:24 本、お試しセット:5 本)で過去 2 番目の頒布数であった。
- ・ 第 2 回技術研究会(通算通算第 137 回)「トナー技術の発展と最新技術」(2018 年 10 月 19 日(金))を開催した。
- ・ これまでのトナー帯電量標準化に関する検討内容を論文 3 報にまとめ、学会誌にて報告した。また、60 周年記念特集に対し近年のトナー技術の解説とトナー技術部会の解説も学会誌にて報告した。
- ・ 大学・研究機関見学による委員の知識の拡大活動として、日本原子力研究開発機構と高エネルギー加速器研究機構が共同建設&運営している J-PARC の見学を行った。

4) 画像処理技術部会

- ・ 従来からの技術をまとめる方向で、教科書「画像処理」(仮題)の執筆を進めている。分量不足から一部原稿の追加、3D 再現への拡張に向けた「ボクセルフォーマット」の章の

追加をした。初稿の校正が終了した時点であるが、出版社の担当者の変更に伴い、さらなるリファインが必要となった。また、ハーフトーン処理関係のサンプルと印刷とのマッチング等で、まだ時間がかかりそうな状況である。

- ・ 今後については、若返りなしでは活性化が難しいと考えており、画像処理の方向性も変わっていくと思われるので、抜本的な改革が必要と考えている。

5) 画像技術用語部会

編集委員より、電子写真関連用語（一部）の修正依頼・提案を受け、部会として過去の経緯を調べ、メールベースで意見交換した。

2019年1月18日の部会にて、用語集修正などに関する意見交換を行い、方針を決めた。

2019年度は下記を実施予定

- ・ 各企業における用語集の活用状況などの意見交換
- ・ WEB用語集の修正（編集委員からのご指摘30項目程度）
- ・ 「気になる技術用語」の技術解説・交流会なども兼ねて、部会を企業持ち回りで行う。
- ・ 若手主導の活動に向けた部会委員活動を行う。

6) インクジェット技術部会

- ・ 第1回技術研究会「多様な市場への展開とインク&システム技術の進化」（2018年9月7日（金））を開催し、116名（有料参加者）が参加した。
- ・ ICJ2018においてインクジェット技術部会がオーガナイズする「インクジェットセッション」を設け、ポスター含め24件の発表を得た。2日目にインクジェット技術者のネットワーク形成を目的とした「拡大交流会」を開催した。3日目には各社のヘッドを展示する「ショーケース」を設け、150名が見学に訪れた。
- ・ 2017年に立ち上げたインクジェット技術交流会は、今年度、見学会3回、アドバンスト技術講習会1回、拡大交流会1回を開催し、延べ131名が参加した。1月末現在の会員は112名である。
- ・ 2018年7月の技術講習会でインクジェット基礎講座を担当した。また、11月の京都でのチュートリアルにもインクジェットの3講座を担当した。
- ・ Imaging Café サマースペシャル（2018年8月3日）で「生き残った技術・廃れた技術（インクジェット編）～挑戦の歴史から学ぶ技術の将来～」を開催した。また2018年11月22日のImaging Café 年末スペシャルで、インクジェット技術の1年を振り返った。
- ・ 2018年6月に書籍「改訂インクジェット」を上梓した。

7) 電子ペーパー/フレキシブル技術部会

- ・ 定例部会を6回、宿泊合宿と技術研究会を各1回開催した。
- ・ 第4回技術研究会「電子ペーパーとフレキシブル技術の新展開」（2018年10月30日（火））を開催した。

8) サーマル記録技術部会

- ・ 2018年度は、部会メンバーとメールベースでの情報交換のみで、持ち回り部会は開催できず、2019年度にて仕切り直し。現在2019年度に研究会実施に向け企画立案中。昨今のスマートフォンの需要拡大の伴い、サーマルのモバイルフォトプリンタの需要が伸びており、

最新動向について関係者より報告頂く予定。

- 9) イメージング材料部会
 - ・ 2018 年度休会
- 10) シミュレーション技術部会
 - ・ 部会を 4 回開催した。
 - ・ 第 82 回技術講習会(7/13)にてシミュレーション実習を実施した。
 - ・ 技術交流会立ち上げ、11/15 に早稲田大学西早稲田キャンパスにて第一回勉強会を実施した。シミュレーション起動可能な USB の作成とチュートリアルの紹介を行った。
- 11) デジタルファブリケーション部会
 - ・ IS&T の P4F2018 (NIP34) (2018 年 9 月 24 日～9 月 27 日、ドレスデン) に部会委員が参加し、セッションチェアを担当した。
 - ・ イメージングカフェ年末スペシャル「イメージング技術 2018 徹底討論」(2018 年 11 月 22 日(木))において、2018 年のデジタルファブリケーションのトピックスを紹介した。
- 12) 画像感性部会
 - ・ 部会 1 回、日本視覚学会との学会間コラボレーションミーティング 1 回、画像学会視覚学会関係者による CSF(人間のコントラスト感度特性)の標準化に関する予備会合を 1 回開催した。
 - ・ ICJ2018 (2018 年 6 月 19 日(火))にて特別講演 1 件、オーガナイズドセッション 1 件(招待講演 3 件)を開催した。
 - ・ ICJ2018Fall Meeting (2018 年 11 月 17 日(土))にて招待講演を 1 件開催した。
 - ・ 日本画像学会・日本視覚学会共催「視覚と画像の基礎講座」(全 4 回) (「実験方法」2018 年 7 月 19 日(木)、「色」2018 年 9 月 21 日(金)、「空間情報」2018 年 11 月 22 日(木)、「質感」2019 年 1 月 25 日(金))を開催した。
 - ・ 日本視覚学会 2019 年冬季大会 (2019 年 1 月 29 日(火))にて共催企画(視覚学会・画像学会コラボシンポジウム「視覚特性の工学的応用における問題と展開—コントラスト感度関数を中心に—」)を開催。
 - ・ ICJ2019 において 2.5D プリンティングに関するオーガナイズドセッションをインクジェット技術部会と共催で開催すべく企画中。
- 13) MBD 技術部会
 - ・ 定例部会を 5 回開催した。
 - ・ 第 1 回技術研究会「イメージング技術における MBD の現状」(2018 年 3 月 14 日(水))を開催した。
 - ・ JAXA (宇宙航空研究開発機構)との技術交流会 (2018 年 11 月 27(火))を開催した。
 - ・ 学会誌 (236 号)に依頼解説「Application of Model Based Development in Electrophotographic Technology」(英文)を部会参加企業 4 社の共著で投稿した。

(11) 企画委員会 委員長 酒井真理 (山形大学)

本年度企画委員会では、イメージングカフェと学会創立 60 周年記念シンポジウム (2018 年関東シンポジウム) の企画および運営を行った。以下にイメージングカフェの活動詳細を報告する。シンポジウムに関してはシンポジウム報告に記載する。

● イメージングカフェの企画および運営

交流空間『イメージングカフェ』は、2011 年に開始以来、月 1 回の開催を目途に企画・運営を行ってきた。本年度も 4 月の第 67 回から 3 月の第 75 回までの東京での開催に関西での第 7 回の開催を加えた年間 10 回のイメージングカフェが実施された。スペシャル企画は、第 1 部の講演会と第 2 部の情報交換会で構成した。第 70 回のサマースペシャルでは、技術開発の歴史を振り返り、そこから将来の技術を議論するテーマで、インクジェット技術部会が話題提供を行った。また、第 73 回の年末スペシャルでは、一年の技術の進展を振り返る恒例の「イメージング技術徹底討論」を開催した。

本年度の『イメージングカフェ』開催要項および開催内容は以下の通りである。

- 会場 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター、他
- 参加費 会員 1,000 円、非会員 2,000 円 (1 ドリンク付き)
スペシャル企画： 会員 5,000 円、非会員 7,000 円
(第 1 部のみ会員 2,000 円、非会員 4,000 円)
- 参加資格 会員は日本画像学会個人会員 (維持会員は含まず)、その他は非会員として受け付ける。スペシャル企画では、日本印刷学会、日本写真学会、画像電子学会の会員も個人会員として受け付ける。
- 開催内容
 - 第 67 回 2018 年 4 月 20 日 特殊イメージスキャナの世界 ～ギガピクセルの大型イメージスキャナによる驚異の高解像度画像に触れてみよう～
…………… 一ノ瀬修一 (アイメジャー)
 - 第 68 回 2018 年 5 月 23 日 花王ミュージアム見学
…………… 花王ミュージアム
 - 第 69 回 2018 年 7 月 6 日 包装容器のお話
～容器はどうやって作られているのか～
…………… 山田幸司 (東洋製罐)
 - 第 70 回 2018 年 8 月 3 日 生き残った技術・廃れた技術 (インクジェット編)
～挑戦の歴史から学ぶ技術の将来～ (スペシャル)
…………… インクジェット技術部会
 - 第 71 回 2018 年 9 月 14 日 脳が作り出す「ものの質感」のイメージング
…………… 郷田直一 (生理学研究所)
 - 関西第 7 回 2018 年 10 月 5 日 粒子の素顔を探ります! ～世界初! 粒子の濡れ性・分散性の数値化&分布ではない粒子径測定～
…………… 河野 誠 (カワノラボ)

- 第 72 回 2018 年 10 月 26 日 可逆的結合からなる自己修復材料の今後の展開
 …………… 高島義徳 (大阪大学)
- 第 73 回 2018 年 11 月 22 日 イメージング技術 2018 徹底討論 (スペシャル)
 …… 電子写真部会、インクジェット技術部会、DF 部会
- 第 74 回 2019 年 1 月 25 日 医薬品開発とインクジェット技術の応用性
 …………… 遠藤哲哉、増田孝明 (ポーラファルマ)
- 第 75 回 2019 年 3 月 8 日 CES、シリコンバレー視察で見たイノベーションの流れ
 ～イノベーションに取り残されないために今すべきこと～
 …………… 酒井真理 (山形大学)

● 開催結果

第 67 回から第 74 回、関西第 7 回までの合計 9 回の開催で延べ会員 151 名、非会員 59 名、合計 210 名の参加者を得た。(講師・企画委員を含まず)

(12) コンファレンス委員会 委員長 三矢輝章 (リコー)

- 2018 年 6 月 19 日、20 日、21 日に千葉大学 西千葉キャンパスにて、年次大会 ICJ2018 (Imaging Conference JAPAN 2018) を実施した。本大会は日本写真学会・日本印刷学会との併催にて実施した。
- 2019 年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2019 : ICJ2019) は 2018 年度と同じく千葉大学にて 2019 年 7 月 2 日、3 日、4 日に実施予定。運営幹事会社をキヤノン株式会社にお問い合わせした。[実行委員長：御厨 裕司氏、同副委員長：中島 一浩氏、校條 健氏] 2019 年の合同開催は年次大会として 3 学会 (日本印刷学会、日本写真学会、日本画像学会) 揃踏み、国際セッションを ICAI2019 (従来呼称 2nd ICAI) として 4 学会合同で実施を決定した。日本画像学会 Vision に整合することを確認した上で、2019 年の ICJ スローガンを画像関連学会連合会合同大会のスローガン (2019 年改訂) 「協創で築く豊かな画像文化—Enriched Imaging Culture by Co-innovation ～ 新技術領域への展開—Expansion to new technology area～」と一致させた。
- コンファレンスに関する基本機能強化を狙って 委員会の構造改革を宣言、現在改革を実行中 (組織・機能 の定義・確立まで実施：下図参照)
 強化する点：
 - ✓ 日本画像学会のコンファレンス基本政策とそれを実行する体制を立案する。
 - ✓ 連合会と同期をとり、リーダーシップを発揮する。
 - ✓ 取り巻く状況の複雑化、変化に対応し易くする。技術動向の変化を捉え、反映しやすくする。
 - ✓ コンファレンス企画・運営での健全な高齢者活躍の促進および世代交代の仕組みを確立する。

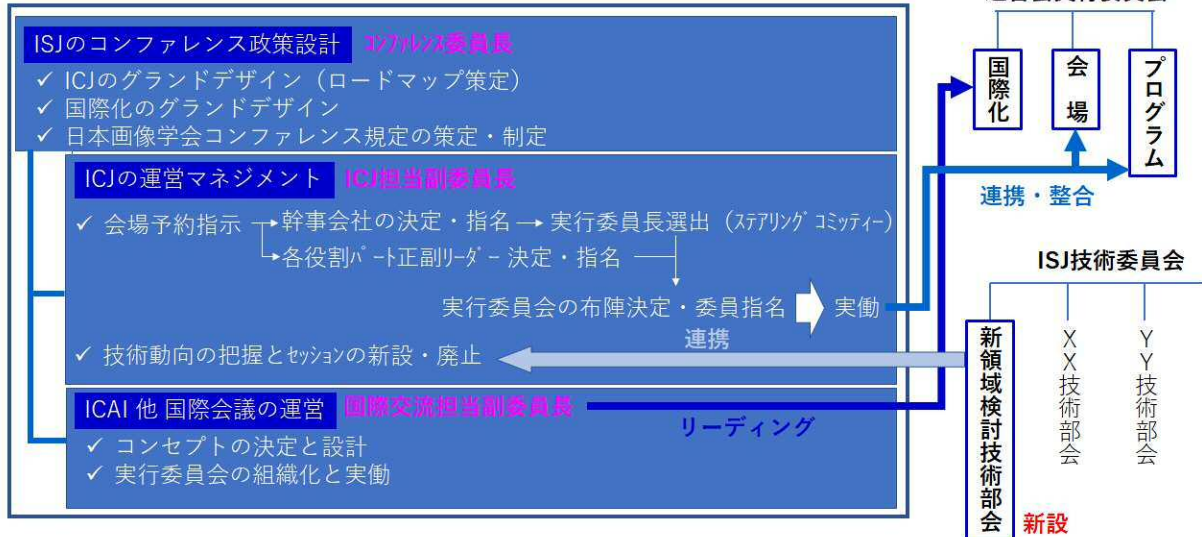
新制コンファレンス委員会メンバー：

委員長：三矢（リコー）

国内(ICJ)担当副委員長：長山（リコー）、国際交流担当副委員長：藤井（FX）

委員：中山（FX）、中島（キヤノン）、校條（キヤノン）、近藤（コニカミノルタ）、岸（リコー）

新制コンファレンス委員会



(13) 事業委員会 委員長 大橋豊史 (三菱ケミカル)

- 標準キャリア（担当：トナー技術部会）に関しては、新規標準品頒布はないが、今年度の頒布数は40セットで、昨年の26セットに対して大幅に増加している。特に電子写真関連企業ではない会社からの購入が増えており、粉体を扱う企業の製品管理に使用されている模様である。
- テストチャート（担当：画像評価技術部会）に関しては、今まで大量注文されていたNo.4チャートの感材の製造が中止となり、在庫が枯渇し、頒布を中止した。この影響で受け今年度の頒布は12枚と大幅に減少している。
- スクリーンゲージについては8セットと昨年の14セットに対して減少し、年々減少する傾向にある。
- 2008年6月に刊行した「デジタルプリンタ技術」シリーズ4巻は11年経過した現在でも販売が継続している。また本年よりインクジェット改訂版が刊行され665冊という販売数になった。

シリーズ全体で2018年では累計約808冊が販売された。

5巻の累計の実売数は以下となる。（提供：東京電機大学出版局 2018年12月現在）。

- | | | |
|-----------|----|---------------|
| ① 電子写真 | 4刷 | 3,696部(前年+46) |
| ② 電子ペーパー | 1刷 | 1,714部(前年+6) |
| ③ インクジェット | 4刷 | 3,854部(前年+59) |

④ ケミカルトナー 2刷 2057部(前年+32)

⑤ 改訂版インクジェット 1刷 665部

[協賛依頼]

○2018年度

会期	タイトル	主催学会
5/11	『画像情報処理と機械学習』技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
5/23-25	第30回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム	電気学会
6/8	「図解・光散乱入門～自然現象から学ぶ～」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
7/12	色材分散講座—分散の基礎と応用	色材協会
7/27	「よくわかる図解カメラのしくみ」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
8/22-23	第51回塗料基礎講座	色材協会
8/31	第15回 日本写真学会光機能性材料セミナー—ペロブスカイト太陽電池 その理解と展開—	日本写真学会
9/26	「コンピューテーショナルイメージング」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
10/24	第26回カメラ技術セミナー平成28年度 画像保存セミナー	日本写真学会
10/25	「図解による光学入門」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
10/26	画像保存セミナー	日本写真学会
11/13	第43回顔料物性講座	色材協会
11/20	奥行きと知覚立体表示 Part2—VRを越え本質を理解する	日本オプトメカトロニクス協会
12/6-7	第15回色材 IT(インクジェットテクノロジー) 講座	色材協会
12/11	講習会「静電気の利用と制御」	静電気学会
12/11	「色彩工学」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
12/12-14	第24回ディスプレイ国際ワークショップ	映像情報メディア学会
12/17-18	第27回微粒子化シンポジウム	日本微粒子化学会
1/29	「視覚特性の工学的応用における問題と展開—コントラスト感度関数を中心に—」	日本視覚学会
2/6-8	page2019	日本印刷技術協会

2/7-8	デジタルカラー画像の解析・評価	日本オプトメカトロニクス協会
2/14	「光学実験入門」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
3/14	「図解による光学入門」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
3/15	The 1st International Symposium for Color Science and Art 2019 The Interaction between Technology and Art on Color	東京工芸大学

(14) 広報委員会 委員長 長山智男 (リコー)

- ・ 広報委員会では、会員への情報サービス提供活動のひとつとして、日本画像学会のホームページ (URL : <http://www.isj-imaging.org/isj.html>) の継続的な管理運営を行っている。加えて2017年度より、学会公式Facebook ページなど新しい媒体を活用した情報提供を行ってきた。
- ・ 2018年度は、学会の有する電子情報資産 (予稿集や論文集の電子データ) の活用や会員間での情報共有などへの対応の基盤作りとして、学会事務局と連携したインフラ面の再構築を継続実施した。

(15) 選奨委員会 委員長 内藤裕義 (大阪府立大学)

選奨規定に則り、学会賞、功労賞、論文賞、研究奨励賞、会長特賞、フェロー表彰、技術賞、技術研究賞、日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞について、それぞれ選考委員会を組織して受賞候補者を厳正に選考し理事会に推薦した。

(16) 国際交流委員会 委員長 藤井雅彦 (富士ゼロックス)

画像関連学会連合会は2018年、2019年に国際会議 ICAI を開催する。ICAI における海外、特にアジア地区からの参加・発表を促進するため、すなわち ICAI を、将来アジア地区を代表する国際会議に位置付けるため、2018年の ICJ (連合会合同開催期間) にタイ、インドネシア、韓国、中国の画像技術キーマンを招聘し、Roundtable Discussion で今後の開催プランを説明し、協力体制などを議論した。また、各国の画像技術の研究・開発状況などを報告していただく Regional Report Session を設置した。また ICAI2019 (2019年7月4日) の準備を印刷学会、写真学会と協力して進めており、General Chair 国際を千葉大の小林先生にお願いし、国際担当のリーダー (International Session Chair) を藤井が務めることになった。

ICJ 等国内のイベント (研究討論会、技術研究会等) にも海外から発表していただくため、発表のためのサポート (渡航費補助) を国際交流委員会として予算化し、2018年度は4件 (ICJ:3件、ICJ Fall:1件) が活用された。

日本画像学会が協賛している IS&T(Society for Imaging Science and Technology)主催の画像技術に関するコンファレンス Printing for Fabrication2018(2018年9月にドレスデンで開催)に、日本画像学会会員がプログラムチェア、パブリシティチェアとして貢献をした。

IS&T と日本画像学会のボードメンバーが意見交換を行うランチミーティングを行ない、主に2020年のP4Fの日本開催について意見交換をし、期間中に開催された IS&T Board Meeting で日本開催が承認された。

役員研修会でのアクションアイテムになっていた英語学会誌の海外大学への配布について、編集委員会と協議して配布先を選定した。

(17) 関西委員会

委員長 狩野 篤 (京セラドキュメントソリューションズ株式会社)

関西シンポジウム 2018

実行委員長 : 神吉 伸通 (花王株式会社)

2018年5月11日(金) ハートピア京都(京都 丸太町)にて2018年度関西シンポジウムを開催した。『人類を救うか? プリンティング技術』～人に寄り添い社会にやさしい～ というテーマのもと、医療、健康、生活の質を高める方面に応用されるプリンティング技術に焦点を置き、関連企業・大学での取り組みを紹介し、更なる進化や発展を遂げるために必要な技術、材料、考え方についてパネルディスカッションにて議論を深めた。

講演では、3Dプリンタを利用した医療分野での活用事例、ジェット技術を利用した無針注射の開発、食品の訴求性・視認性を高める可食インク、電磁波造形技術による2.5Dプリント、無機材料を用いたフレキシブルウェアラブルデバイスなど幅広い分野にわたり、各分野で活躍中の方々に講演頂いた。

パネルディスカッションでは、講演に関する質問などでさらに掘り下げ、プリンティング技術を利用して今後どのような展開が考えられるのかについて、会場からの質問を交えながら意見交換した。会場からの多くの質問とパネラーの的確な回答により、内容の濃い議論が出来た。

今回のシンポジウムでは、プリンティング関係者にとって関心の高いテーマのもと、幅広い分野の講演を集めたことで、有意義な議論が出来た。参加人数:36人(会員29名、非会員1名、学生6名)。

【技術発表テーマと講師の皆様】

- ・医療分野での3Dプリンタ活用事例 柳沢 徹 (丸紅情報システムズ株式会社)
- ・患者にやさしい無針注射器の開発 ～力学的アプローチによる新規ジェット吐出技術および生体材料内応力分布の超高速度イメージング～
田川 義之 (東京農工大学)
- ・「可食性インクジェットインク」の現状と将来性
河原 智明 (ユニオンケミカル株式会社)

- ・” 触れる”、をデジタルに。 ～2. 5D プリントシステムの概要と展望～
黒澤 諭 (カシオ計算機株式会社)
- ・人と社会のインタラクションに向けた大面積多機能フレキシブルセンサシート
竹井 邦晴 (大阪府立大学)

(18) 財務委員会 委員長 服部好弘 (コニカミノルタ)

- ・ 2017年度収支決算を行った。会計士による財務チェックと監事による監査を受けた後、理事会の決議を経て総会にて2017年度決算の承認を得た。
- ・ 2018年度予算は、創立60周年に関わる事業支出増は見込んだ上で、これまでの経費節減体質の中でカバーし、特定資産の取り崩しは行わない方針で立案し理事会の承認を得た。全体としては117万円の黒字予算。
正会員会費収入は、会員増基調を持続化する意味で増額計上。
研討・研究会参加費・開催費は、2017実績をベースに60周年盛り上げ分を上乗せする。
事業支出の部に60周年記念事業費を計上する。
国外からの講演者招聘のための滞在費補助を目的に、国際交流費を計上する。
- ・ 12月末時点での事業活動収支の見込みとしては約300万円の黒字となる。
収入の部では、試験標準品頒布収入が標準キャリアの販売増、維持会員の新規加入による会費収入増、研討・研究会参加費増(前年比)となり、当初予算に近い額の事業活動収入が見込まれる。
- ・ 支出の部では、国際文献社との契約解消による事務費の減と、ICJ2018(千葉)への出張費、会員管理業務増による事務員費の増がほぼ相殺し、管理費支出は前年度並み。60周年記念事業費はほぼ予算どおり消化される見込み。
- ・ 会計処理規程に則って2018年度半期決算を行い、監事による監査を受けた後、理事会に報告し承認を得た。

(19) 特別講演会

2019年3月15日 評議員会の後、東京大学大学院情報理工学系研究科教授 廣瀬通孝様による「VR2.0の世界」の特別講演会を開催した。

(20) 技術研究会 技術委員会 佐藤利文 (東京工芸大学)

1. 第1回 日本画像学会技術研究会 (通算第136回)

2018年9月17日(金) 発明会館ホールにて、インクジェット技術部会主催による2018年度第1回 日本画像学会技術研究会(通算第136回)『多様な市場への展開とインク&システム技術の進化』- インクジェットのたゆまぬ挑戦とさらなる期待 - を開催した。有料参加人数は116名(会員:87名、非会員:27名、学生:2名)であった。

産業市場向け、印刷市場向けに参入する際の大きな課題であるメディアの多様性や、市場特有の課題対応のかぎを、インク技術進化とシステム技術から考えた。

- 1) 富士フイルム UV インクジェット技術
- 新たな基材/用途への展開 - 松下 泰明 (富士フイルム)
- 2) 非浸透メディア対応水性顔料インクと軟包装材市場への展開 小酒 克之 (花王)
- 3) Landa Nanography の最新情報 吉川 武志、外山 雄太 (小森コーポレーション)
- 4) インクジェット技術のフォト市場への挑戦 石川 善一 (キヤノン)
- 5) デジタル捺染を支える技術 宮島 佳孝 (セイコーエプソン)
- 6) 2.5D 積層技術と複製画市場への展開事例 亀井 稔人 (リコー)
- 7) 室温～低温焼結性銀ナノインクの設計技術と応用事例 武居 正史 (バンドー化学)
- 8) 座談会「インク、システムとインクジェット市場」

2. 第2回 日本画像学会技術研究会 (通算第137回)

2018年10月19日(金)日本印刷会館にて、トナー技術研究会主催の2018年度第2回日本画像学会技術研究会(通算第137回)『トナー技術の発展と最新技術』を開催した。今年の研究会は、日本画像学会創立60年の節目の年であったことから、この20年の現像剤技術に対する要望と課題、それに対して種々開発され発展してきた特徴的なトナー技術に関して知見を深める研究会とした。研究会参加者数は109名(講師・委員・報道を除く)で、会場はほぼ満席状態の盛況な研究会となった。参加者の特徴は、アンケート(回答者数60名)回答を見てみると、初めての参加が65%で、年齢層は30代が中心で40代以下の割合が83%、また聴講目的の講演は各社の講演がほぼ横並びということで、20年前の現像剤技術を経験していない現在の技術開発の中心世代が、この20年のトナー技術に対する知見を深めに集まったと思われる研究会であった。講演プログラムは以下の通りである。

- ① この20年の現像剤技術の歩み : 多田 達也 (トナー技術部会)
- ② キヤノンの懸濁重合トナーの進化と展望 : 馬籠 道久 (キヤノン)
- ③ コニカミノルタケミカルトナーの創造と進化 : 平野 史朗 (コニカミノルタ)
- ④ PxP トナー技術の発展と展望 : 井上 竜太 (リコー)
- ⑤ 高機能バインダーによるトナーへの新価値提案 : 若林 裕樹 (花王)
- ⑥ シャープにおけるトナー技術の変遷と展望 : 椿 頼尚 (シャープ)
- ⑦ 新製法トナーによる省エネ・高画質化・環境負荷低減への取り組み : 大喜多 正希 (京セラドキュメントソリューションズ)
- ⑧ Iridesse Production Press 用トナーの開発 : 中村 一彦 (富士ゼロックス)

3. 第3回 日本画像学会技術研究会 (通算第138回)

2018年10月22日(月)富士ゼロックス(株)塚原研修所にて、電子写真技術部会主催の2018年度第3回日本画像学会技術研究会『カールソン方式発明80周年記念研究会』を開催した。

C.F.カールソンが最初に電子写真プロセスにより画像を形成した記念日(1938年10月22日)からちょうど80年となる記念すべき日に、電子写真の歴史を振り返ることを目的とした研究会を

開催した。電子写真のメカニズムを反芻する上で格好の「Xerox 1385」(スタンダード・ゼロックス)の技術紹介及び実演、電子写真生誕 80 周年記念事業として制定した第一回複写機遺産の発表、富士ゼロックス社歴代の機械を保存展示する「技術歴史館」見学を実施した。電子写真の歴史を共に築いてきた開発者だけでなく、若手もその歴史を知り今後を考える良い機会になった。

- 1) 複写機遺産発表 ～日本画像学会 電子写真生誕 80 周年記念事業～ 永瀬 幸雄 (キヤノン)
- 2) 「Xerox 1385」(スタンダード・ゼロックス)技術紹介 北村 孝司 (千葉大学名誉教授)
- 3) 見学機器概要説明/解説者紹介 滝口 孝一 (元富士ゼロックス)
- 4) 富士ゼロックス技術歴史館見学
- 5) 閉会の挨拶 鈴木 千秋 (富士ゼロックス執行役員)

4. 第 4 回 日本画像学会技術研究会 (通算第 139 回)

2018 年 10 月 30 日 (火)、化学会館ホールにて、電子ペーパー/フレキシブル技術部会主催の技術研究会「電子ペーパー/フレキシブル技術研究会」を開催した。参加者は、75 名だった (正会員 15 名、維持会員 4 名、協賛学会からの参加者 10 名 (SID 日本支部 9 名、画像電子学会 1 名)、非会員 15 名、学生 8 名、講演者 9 名、デモ展示 4 名、部会委員 12 名 (うち講演者との重複 2 名))、一般参加者は 52 名で、昨年とほぼ同数だった。日本画像学会会員以外の協賛学会会員および非会員の参加者が約半数を占めるのは例年通りである。昨年に引き続き SID 日本支部に協賛していただき 10 名近い参加者があった。参加者の半数以上はディスプレイ技術の関係者であり、日本画像学会の守備範囲を広げることには貢献できていると考えている。今年は、電子ペーパーを活用した商品紹介講演の時間も設け、昼休みの展示時間に展示してもらい、実際の商品を前にして聴講者と直接討議できるようにしたことが好評を得た。東レや東洋紡のウェアラブルデバイスの展示も実際の使い方や市場展開で困っている点などについて説明してもらい大変参考になった。

【講演】

<電子ペーパーとフレキシブル技術の応用>

- 1) 着衣型ウェアラブルデバイス「hitoe」 杉原 宏和 (東レ)
- 2) 生体情報計測ウェアに適した機能性素材「COCOMI®」とその活用事例 権 義哲 (東洋紡)
- 3) 商品紹介 ; 電子ペーパーを用いた「デジタル文具」について 東山 慎司 (キングジム)
- 4) 商品紹介 ; エレクトロクロミックによるスマート調光ガラス「ヘイリオ」のご紹介 大橋 拓 (AGC)

<電子ペーパーとフレキシブル技術の最新動向>

- 5) 電子ペーパーの最新技術と応用展開 –SID/IDWの発表動向– 面谷 信 (東海大学)
- 6) 紙のフレキシブル電子ペーパーに向けた要素技術開発 古賀 大尚 (大阪大学)
- 7) 電気泳動式電子ペーパーの最新動向 橋本 圭介 (E Ink Japan)
- 8) 有機トランジスタ型フレキシブル圧力センサー 酒井 平祐 (北陸先端科学技術大学院大学)
- 9) フレキシブル熱電変換発電デバイス 武藤 豪志 (リンテック)

【展示】

東レ、東洋紡、キングジム、AGC(旧旭硝子)、E Ink、東海大学の5社1大学

5. 第5回 日本画像学会技術研究会 (通算第140回)

2019年3月20日(水)早稲田大学にて、MBD技術部会主催の2018年度第5回 日本画像学会技術研究会(通算第140回)『MBDの具体的な事例と適用価値』を開催した。

MBDは製品開発プロセスを改善するための一手法として、自動車業界を筆頭に広く工業界において活用されてきている。近年はイメージング機器開発においても開発の効率化、品質・信頼性の向上を期待してMBDによる開発手法を取り入れる動きが活発になってきている。本研究会では、イメージング機器のプロセス開発への適用事例に加えて、メカ機構開発や電気回路設計におけるMBSEなど、より適用技術範囲を拡大した研究会とした。

～講演内容～

- 1) 1成分非接触現象におけるトナー飛翔挙動解析 岡田 拓也 (コニカミノルタ)
- 2) トナーの粘弾性に着目した1D-CAEによる定着ニップ形状のモデルベース設計 川口 弘達 (京セラドキュメントソリューションズ)
- 3) 電気回路設計におけるMBSEの活用 稲石 浩通 (株式会社 図研)
- 4) レーザー露光装置、部品位置精度と露光位置変動の1D-CAEモデル化と活用 小島 隆宏 (東芝テック)、鎌野 忠雄 (東芝テック)
- 5) 感光体駆動の機構解析と支持構造体の振動解析との簡易連成モデルの開発 及川 研 (リコー)

(21) シンポジウム報告 企画委員会 酒井真理 (山形大学)

2018年12月7日(金)、東京都千代田区の一橋講堂にて、日本画像学会の創立60周年を記念し「イメージング技術の未来展望」と題したシンポジウムを開催した。日本画像学会創立60周年の一連の企画・行事の締めくくりとして、これまでのイメージング技術の発展を振り返るとともに、その未来がどのように社会を変えていくのかを考えるシンポジウムとし、長く画像技術分野の一線で活躍をされてきている講演者に貴重な話を頂いた。また、C.F.カールソンによる電子写真方式の発明から80周年を記念し認定された複写機遺産に対して、認定式と記念講演も合わせて行われた。創立60周年行事として、関連学協会役員、評議員、受賞者、学会顧問、役員、委員を招待した。参加者は180名。

日本画像学会創立60周年記念シンポジウム「イメージング技術の未来展望」

- 開催日時 2018年12月7日(金) 9:30~16:30 (受付開始 9:00~)
- 場所 学術総合センター 一橋大学 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)
- 参加費 会員、維持会員及び協賛学会員 10,000円、非会員 17,000円、学生 2,000円
- 主催 一般社団法人 日本画像学会

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大学内

Tel: 03-3373-9576, Fax: 03-3372-4414, URL: <http://www.isj-imaging.org/event/symposium.html>

- 協賛 日本印刷学会、画像電子学会、日本写真学会
- 企画運営 日本画像学会 企画委員会、60周年記念事業推進委員会
- プログラム

時間	講演タイトル	講演者
09:30-09:45	学会長挨拶	面谷 信 (東海大学工学部教授、日本画像学会会長)
09:45-10:30	画像技術の進化と学会の果たした役割、そして未来	高橋 通 (元キヤノン(株)取締役、日本画像学会元会長)
10:30-11:15	ワークスタイルの変遷と働く場の未来像	齋藤 敦子 (コクヨ(株)ワークスタイル研究所 主幹研究員)
11:15-12:00	イメージング技術のビジネス展望	腰塚 國博 (コニカミノルタ(株)取締役 兼 常務執行役)
12:00-13:00	昼食	
13:00-13:20	複写機遺産認定式	2018年度複写機遺産委員会
13:20-14:00	複写機遺産認定記念講演	
14:00-14:45	画像技術の役割とその変遷 —記録と創造の狭間で	久下 謙一 (千葉大学名誉教授、日本写真学会元副会長)
14:45-15:00	休憩	
15:00-15:45	インクジェット技術の未来	碓井 稔 (セイコーエプソン(株)代表取締役社長)
15:45-16:30	複製技術の果たしてきた役割と未来 —印刷・出版を中心に	植村 八潮 (専修大学文学部教授、日本出版学会会長)

(22) 技術講習会 事業委員長 大橋豊史 (三菱ケミカル)

① 第82回技術講習会

2018年7月12日(木)・13日(金)、東京工業大学すずかけ台キャンパスのすずかけホールにおいて第82回日本画像学会技術講習会を開催し、119名(個人会員/維持会員:86名、非会員:33名、学生:0名)が参加した。昨年度に比べ5名減となったが、この10年間(2009年~)は概ね120名前後の参加者とはほぼ横ばい傾向で推移している。

講習会内容としては、例年の電子写真、インクジェットを中心としたノンインパクトプリンティングの入門・各論の講習に加え、「これからの技術者のための画像技術の基礎と最新動向」とのサブタイトルのもと、画像技術のマーケット動向、歴史と未来など、これからの技術者が将来を考える上で必要となる情報を盛り込んだ講座を実施、さらに今年度は新たな試みとして、講座終了後の夕方にインクジェット Q&A コーナーを設け、参加者の質問に様々な角度から回答する機会を設けた。

シミュレーション技術部会によるシミュレーション講座も昨年度同様、オープンソース流体シミュレータ OpenFOAM を用いた毛細管シミュレーションを実施、展示関連では株式会社フोटロン、トレック・ジャパン株式会社、株式会社ケー・エヌ・エフ・ジャパンの3社の協力を頂いた。

アンケートからは、参加者の担当分野は電子写真54%、インクジェット32%と、電子写真関連の参加者が再びインクジェットを上回る結果に、また、年代別では、20歳台が73%と圧倒的に多数を占めた。過去4回は45~50%で推移しており、今回は若手参加者増加が目立つ講習会となった。

これらアンケート結果は来年度の運用、企画に反映させてまいります。

技術講習会では使用したテキスト、プレゼンテーション資料、シミュレーション実習用のプログラム・例題などは全てDVD（一部希望される参加者には電子配信）に収め、後日参加者にお届けしております。ぜひ、復習や受講できなかった講座の学習にお役立て下さい。

来年度の第83回技術講習会は2019年7月18日（木）、19日（金）に本年度と同じく東工大すずかけホールにて開催予定。画像分野の技術習得の場としてより多くの方々に活用していただけるよう、より魅力的なプログラムを考えてまいりますので、是非知識習得の場としてご活用ください。

以下、第82回技術講習会プログラム

・7月12日（木） 第1会場（多目的ホール） 《インクジェット：入門講習・各論》

時 間	題 目	講 師
9:30-11:00	インクジェット方式の分類と特長、課題と対応	富士ゼロックス(株) 藤井 雅彦
11:15-12:00	インクジェットシステム技術	(株)リコー 江口 裕俊
12:05-12:35	インクジェット関連展示会社からのショートプレゼン	各社展示会社 代表者
13:30-14:30	インクジェットヘッド技術	キヤノン(株) 中島 一浩
14:45-15:45	インクジェットプリンタの画像形成技術	セイコーエプソン(株) 角谷 繁明
16:00-17:30	インク技術/メディア技術 インク技術 インクジェットメディアの基礎技術	DIC(株) 岡田 真一 三菱製紙(株) 名越 応昇

・7月12日（木） 第2会場（集会室1） 《電子写真：入門講習・各論》

時 間	題 目	講 師
9:30-11:00	電子写真プロセス基礎技術入門	キヤノン(株) 河野 信明
11:15-12:15	電子写真用現像剤の基礎	(株)リコー 井上 竜太
12:15-12:45	電子写真関連展示会社からのショートプレゼン	各社展示会社 代表者
13:30-14:30	電子写真感光体の基礎 —動作原理と各層の役割紹介—	三菱ケミカル(株) 吉澤 篤

14:45-15:45	電子写真における現像プロセス技術	キヤノン(株) 日比野 勝
16:00-17:00	電子写真用 画像処理技術	(株)リコー 石井 博

・7月13日(金) 第1会場(多目的ホール)

《インクジェット各論・サーマル記録技術・これからの画像技術に向けて》

時 間	題 目	講 師
9:10-10:10	紫外線(UV)硬化型インク概論	コニカミノルタ(株) 朝武 敦
10:25-11:25	3Dプリンタ概論とデジタルファブリケーション	富士ゼロックス(株) 藤井 雅彦
11:40-12:40	インクジェットの評価技術	山形大学 酒井 真理
13:45-15:15	出版社・印刷会社から見たデジタル印刷	(株)印刷学会出版部 中村 幹
15:30-17:00	画像技術マーケット動向	山崎国際コンサルティング 山崎 弘

・7月13日(金) 第2会場(集会室1)《電子写真各論・これからの画像技術に向けて》

時 間	題 目	講 師
9:10-10:10	用紙搬送経路内での用紙挙動/品質劣化に関する解析技術	富士ゼロックス(株) 飯島 喜一郎
10:25-11:25	電子写真における定着プロセスの基本と技術動向	コニカミノルタ(株) 中山 寛治
11:40-12:40	デジタルフォト用昇華熱転写プリント材料の開発とプリント技術	大日本印刷(株) 矢部 卓
13:45-15:15	画像技術の歴史と未来	千葉大学 北村 孝司
15:30-17:00	紙およびデジタルプリント用紙の特性	王子 ホールディングス(株) 戸谷 和夫

・7月13日(金) 第3会場(ラウンジ)《ミュレーション実演講習》

時 間	題 目	講 師
9:30-9:40	イントロダクション	富士ゼロックス(株) 長谷部 恵

9:40-10:10	OpenFOAMとは	ブラザー工業(株) 石川 博幸
10:10-12:00	実習1:毛細管シミュレーション (2次元)	富士ゼロックス(株) 田村 和也
13:00-15:00	実習2:毛細管シミュレーション (軸対称 2次元)	コニカミノルタ(株) 加川 哲哉
15:00-17:00	実習3:インクジェット吐出シミュレ ーション	京セラドキュメントソリュ ーションズ(株) 石田 英樹

技術講習会実行委員会 委員長： 大柴 知美 (コニカミノルタ)

副委員長： 小橋川 翔太 (リコー)

委員：和田 光央 (三菱ケミカル) 萬道 律雄 (王子製紙)、山田 季 (セイコーエプソン)、
加賀田 尚義 (セイコーエプソン) 吉田 稔 (東芝テック)、稲葉 繁 (富士ゼロックス)、
荻野 孝 (富士ゼロックス)、笠間 稔 (富士ゼロックス)、茂村 芳裕 (キヤノン)、山崎
弘 (元コニカミノルタ)、

事業委員長：大橋 豊史 (三菱ケミカル) 事業委員：吉田 稔 (東芝テック)

電子写真シミュレーション実演講習は、シミュレーション技術部会 (門永主査：リコー) との共
同開催

② チュートリアル2018 (秋季技術講習会)

11月16日(金)、京都工芸繊維大学にてチュートリアル2018を開催した。春季講習会の one-way 形式からスタイルを変更し、参加者の理解度向上を目的とした企画で、2016年から開催、今年度で3回目となる。参加人数は19名 (EP分野9名、IJ分野10名)、20代、30代が中心 (90%) で、経験1年未満の方も多数参加いただいた。EP分野では90%、IJ分野では70%が経験年数5年以下であり、若手技術者の知識習得の場として活用されている。通常の講義形式より質疑も活発に行われ、アンケートでは「非常に役に立った/役に立った」が85%と好評をいただいている。

次回チュートリアル2019では新規にシミュレーション講座の開設を検討中です。ご期待ください。

以下、チュートリアル2018のプログラム

<電子写真分野>

- 1) 電子写真プロセス基礎技術入門 講師：キヤノン(株) 河野 信明
- 2) 電子写真用現像剤の基礎 講師：(株)リコー 井上 竜太
- 3) 電子写真における定着プロセスの基本と技術動向
講師：コニカミノルタ(株) 中山 寛治

<インクジェット分野>

- 1) インクジェット方式の分類と特長、課題と対応
講師：富士ゼロックス(株) 藤井 雅彦
- 2) インクジェットヘッド技術
講師：キヤノン(株) 中島 一浩
- 3) インク／メディア技術
講師：D I C(株) 岡田 真一

(23) 創立60周年記念事業推進委員会 委員長 中島一浩 (キヤノン)

日本画像学会の前身である電子写真学会は1958年6月30日に発足し、2018年は創立60周年の記念すべき年であった。また、Chester F. Carlsonによって電子写真技術が発明されてからちょうど80年の年でもあり、そのCarlsonの没後50年でもある。さらに、インクジェット分野においても世界最初のインクジェットプリンタVideoJet 9600が発売されてから50年、という節目の年であった。その記念すべき60年を記念して、様々な企画を立案し推進するために本委員会は2016年11月に発足した。

以下に実施した主要な内容を記す。

■ 60周年記念ロゴの制定

創立60周年を象徴するシンボルとして期間中一貫して用いる記念ロゴを制定した。2017年12月に正式承認されたこのロゴは、1年間に渡り学会誌60周年記念号の表紙を飾り、その他の多くのイベントでも掲示され、記念すべき年の雰囲気醸成に大いに役だった。

■ 60周年記念号の発刊

60周年を記念してより多くの方に寄稿していただくために2018年の学会誌(Vol.57)の通年6冊(通巻231~236号)を記念号として位置付け発行した。60周年に関する全記事数は98件、執筆者数(共著者含む)はのべ100名+15社に上り、非常に意義のある60周年記念号となった。

■ 記念出版

10年前の創立50周年では、シリーズ「デジタルプリンタ技術」(全4巻:電子写真・インクジェット・電子ペーパー・ケミカルトナー)が刊行された。60周年の節目を迎え、再び出版委員会を編成し、4刊が立案され、発刊に向けて準備が進められた。既刊の「インクジェット」に最新技術を大幅に加筆した「改訂 インクジェット」は2018年7月20日に発刊された。また、新規出版として「有機半導体」と「デジタルプリンティングのための画像処理」、さらには「3Dプリンタ(書名未定)」が進行中であり、今年以降順次発刊の予定である。

■ 懸賞論文

「画像技術の未来への提案」と題して、広く一般の方から懸賞論文を募集した。2017年11月1日から2018年2月28日の募集期間にたくさんの充実した論文が集まった。60周年記念事業推進委員と編集委員からなる審査委員会で厳正な審査を行い、3月9日の理事会での承認を経て、優秀賞1件、佳作3件が選定された。受賞者は4月6日に公式発表され、ICJ2018の初日(6月19日)の創立60周年記念式典にて学会長から表彰状と副賞が授与された。優秀賞の論文は学会誌234号(Vol.57 No.4 2018)にも掲載された。

■ 60周年記念年次大会

6月19日から21日の3日間開催されたICJ2018は、創立60周年記念年次大会として様々なイベントを行った。初日の夕方に行われた60周年記念式典では、ビジョン委員会を中心に検討を進めてきた新たな学会ビジョン「Action Before 2020」が面谷会長より発表され、その後上述の懸賞論文の表彰式が行われた。懇親会では、スクリーン3面にこれまでの様々な懐かしい製品写真やイベントでの写真などをスライドショーで流し、大いに盛り上がった。

また、ICJ2018会期中、これまで60年分のすべての学会誌と研究討論会の予稿集を展示した。初期の手書きの論文など、貴重な文献の数々に多くの方が訪れ、手に取りめぐっていた。

■ 電子写真発明80年（複写機遺産）

C. F. Carlsonの電子写真の発明から80年でもある今年、電子写真技術部会から新たに“複写機遺産”の認定事業を始めたいとの提案があり、複写機遺産委員会（永瀬委員長）が編成され、第一期の募集・審査・認定が行われた。（「(24)複写機遺産認定事業」参照）

■ 創立60周年記念シンポジウム

60周年記念イベントの集大成として、12月7日に一橋講堂にて創立60周年記念シンポジウム「イメージング技術の未来展望」を開催した。面谷会長の挨拶に続き、高橋通氏（元会長・キヤノン）、齋藤敦子氏（コクヨ）、腰塚國博氏（コニカミノルタ）、久下謙一氏（千葉大学）、碓井稔氏（セイコーエプソン）、植村八潮氏（専修大学）と各分野の第一人者の方々にご講演いただき、それぞれのご専門の分野から、画像技術に関してこれまでの歴史を振り返るとともにその意義について語っていただき、さらに将来に向けての熱い提言もいただき、まさに60周年にふさわしいシンポジウムとなった。（「(21)シンポジウム報告」参照）

また、記念シンポジウムの終了後、17:30より場所をレストランアラスカ パレスサイド店に移し、創立60周年記念パーティを開催した。歴代会長を始め日本画像学会の発展に貢献された134名の錚々たる方々が一堂に集まり、懐かしい話から将来の話に到るまであちこちで熱く語り合う姿が見られた。

以上、期間限定の本委員会であったが、2年間の活動を通じて学会内外の多くの方々のご支援、ご協力により、記念すべき60周年として意義あるものとして演出できたのではないかと思います。関係の皆さまに心から感謝いたします。（本委員会は2018年12月をもって解散）

（24）複写機遺産認定事業委員会 委員長 永瀬幸雄（キヤノン）

1. 『複写機遺産』認定事業とは

歴史に残る複写機技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、主として複写機技術に関わる歴史的遺産「複写機遺産」(Copying Machine Heritage) について日本画像学会が認定する。

2. 第1回複写機遺産 認定経緯

2017.10：『複写機遺産』趣意書を発行。2018年度複写機遺産の公募を開始

2017.12：募集締め切り。9社・16件の複写機遺産申請書を受理

2018.05：書類審査を完了．審査状況を第2回理事会にて報告

2018.07：複写機遺産申請機種の現地視察を完了．最終審査結果を第3回理事会で承認

2018.10：『カールソン方式発明80周年記念研究会』2018年度複写機遺産認定機を発表

2018.12：日本画像学会創立60周年記念シンポジウムにて認定証授与式と受賞記念講演を開催

3. 第1回複写機遺産 認定結果

国内メーカーより申請された多数の機種について、複写機技術発展史上の重要性や、国民生活、文化・経済、社会、技術教育に対する貢献と、その独自性や歴史的特徴を評価した結果、第一回目の認定機として、以下に示す4機種を認定した。

遺産番号	メーカー・機器名称・認定理由
「複写機遺産」 第01号	リコー 「リコピー101」 複写の代名詞「リコピー」の起源となった卓上複写機
「複写機遺産」 第02号	富士ゼロックス 「914」 国内で製造された初めての乾式電子写真方式の事務用複写機
「複写機遺産」 第03号	キヤノン 「NP-1100」 ゼロックス社の特許網を破った独自技術による普通紙複写機
「複写機遺産」 第04号	コニカ 「U-Bix480」 国産技術による最初の間接乾式電子写真複写機

第 121 回日本画像学会年次大会

The 121st Annual Conference of the Imaging Society of Japan

“ Imaging Conference JAPAN 2018 ” Program

～ 協創で築く豊かな画像文化 ～

～ Enriched Imaging Culture by Co-innovation ～

- ◆ 日時
Date 2018 年 6 月 19 日 (火) , 20 日 (水) , 21 日 (木)
June 19 (Tue.), 20 (Wed.), 21 (Thu.), 2018
- ◆ 会場
Place 千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館および工学系総合研究棟 II
〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33
Keyaki Kaikan and Engineering Research Building II, Nishi-Chiba Campus
Chiba University
1-33, Yayoicho, Inage Ward, Chiba-shi, Chiba, 263-8522 Japan
- ◆ 主催
Sponsored by 一般社団法人 日本画像学会
The Imaging Society of Japan
- ◆ 共催
Cosponsored by 国立大学法人千葉大学
National University Corporation Chiba University
- ◆ 協賛
In Cooperation with 一般社団法人 画像電子学会
一般社団法人 日本印刷学会 (春季研究発表会開催 6/21-22)
一般社団法人 日本写真学会 (年次大会開催 6/20-21)
一般社団法人 日本視覚学会
The Institute of Image Electronics Engineers of Japan
The Japanese Society for Printing Science and Technology (Spring Meeting on 6/21-22)
The Society of Photography and Imaging of Japan (Annual Meeting on 6/20-21)
Vision Society of Japan
- ◆ 協力
Supported by 公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー
Chiba Convention Bureau and International Center
- ◆ 問い合わせ先
Reference 日本画像学会事務局
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内
The Imaging Society of Japan Bureau
c/o Tokyo Polytechnic University
2-9-5 Honcho, Nakano-ku, Tokyo 164-8678, Japan
TEL 03-3373-9576 / FAX 03-3372-4414
URL <http://www.isj-imaging.org/isj.html>

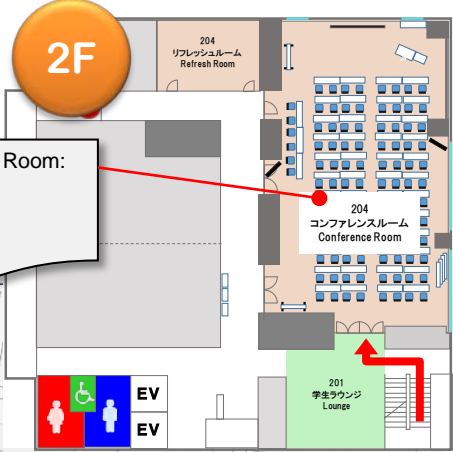
Imaging Conference JAPAN 2018 Event Map

in Nishi-Chiba Campus
Chiba University

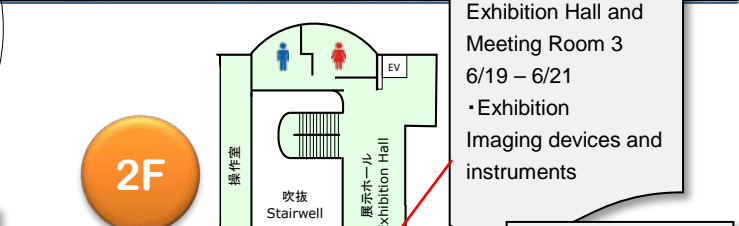


Food Court:
6/19
18:00 – 19:15
• Social Hour
(60th Anniversary Party)

Conference Room:
6/19 – 6/21
• Track III



千葉大南門經由JR西千葉駅から
From JR Nishi-Chiba Station via South Gate



Exhibition Hall and Meeting Room 3
6/19 – 6/21
• Exhibition
Imaging devices and instruments

Main Hall:
6/19
• ISJ's General Meeting
• Keynote
• Award Ceremony
6/19 - 6/20
• Track I
6/21
• Interactive Session
Short Presentation
• International Session
Regional Report

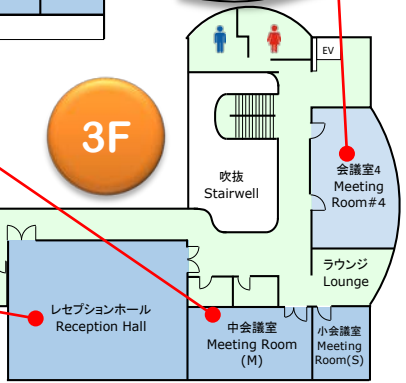
Meeting Room 2
6/20
• Workshop
6/21
• Technical
Exchange Meeting



Meeting Room 4
6/20
• SPIJ Ann. Meeting

Reception Hall
6/19
• Track II
6/20
• SPIJ Ann. Meeting
6/21
• Interactive Session Poster
Presentation

Meeting Room (M)
6/19 – 6/20
• 60th Anniversary
Room
6/21
• International
Roundtable



Imaging Conference JAPAN 2018 Time Table

	6月19日(火) / June 19 (Tue.)	6月20日(水) / June 20 (Wed.)	6月21日(木) / June 21 (Thu.)
	けやき会館 Keyaki Kaikan 工学系総合研究棟2 Eng. Research Bld. II	けやき会館 Keyaki Kaikan 工学系総合研究棟2 Eng. Research Bld. II	けやき会館 Keyaki Kaikan 工学系総合研究棟2 Eng. Research Bld. II
	Track I 1F 大ホール Main Hall [MH] 320	Track I 1F 大ホール Main Hall [MH] 320	Track I 1F 大ホール Main Hall [MH] 320
	Track II 3F レセプションホール Reception Hall [RH] 100	3F 中会議室 2 40	Track II 3F レセプションホール Reception Hall [RH] 100
	2F 中会議室 3 20	2F 中会議室 2 40	3F 中会議室 20
	2F 展示ホール 120	2F 展示ホール 120	2F 中会議室 40
	Track III 2F コンファレンスルーム Conference Room [CR]	2F 展示ホール 120	Track III 2F コンファレンスルーム Conference Room [CR] 120
8:30			
9:00	9:00-10:00 日本画像学会 総会 The General Meeting of the ISI 受付開始 (Registration)		受付開始 (Registration)
10:00	10:15-開会挨拶 10:25-11:15 Keynote Speech	9:30-10:20 インクジェット 特別講演 Special Talk: Inkjet	10:00-10:42 インタラクティブ ショートプレゼン テーション(1)* 14件
11:00	11:20-11:50 表彰式 Accolade	10:40-11:40 インクジェット(3) システム Inkjet (3) System	9:30-10:10 画質・視覚 Image Quality and Vision
12:00	12:50-13:20 論文賞記念講演 Paper Award 13:20-13:50 研究奨励賞講演 Research Grant	10:30-12:30 ワークショップ Workshop	10:30-11:30 電子ペーパー エレクトリックイ メージング Electric Paper and Electronic Imaging
13:00	12:50-14:10 画像入力、画像 処理および画像 感性 Image Input, Image Processing and Kansei Imaging	9:30-17:00 展示会 Exhibition	10:54-11:36 インタラクティブ ショートプレゼン テーション(2)* 14件
14:00	14:00-15:00 インクジェット(1) プロセス Inkjet (1) Process	13:00-14:20 電子写真材料 Electro- photographic Material	*日本写真学 会、日本印刷学 会との3学会合 同開催 *Joint event with the Society of Photography, the Japan Society for Printing Science and Technology, and Imaging Society of Japan
15:00	14:30-15:20 画像感性 特別講演 Special Talk: Sensibility on Imaging	13:00-14:00 インクジェット(4) 画像処理・評価 Inkjet (4) Image Processing Image Evaluation	13:00-14:20 電子写真 システム Electro- photographic System
16:00	15:20-16:40 インクジェット(2) インク Inkjet (2) Ink	14:20-15:20 デジタルファブ リケーション Digital Fabrication	13:00-14:20 Regional Report 1
17:00	15:30-17:00 画像感性オーガ ナイズドセッション Organized Session: Sensibility on Imaging	14:40-15:20 電子写真デバイス (1) Electro- photographic Device (1)	13:00-14:30 インタラクティブ セッション 合同 ポスター発表* コアタイムA Interactive Session Poster Presentation Core Time A
18:00	17:15-17:45 日本画像学会創立 60周年記念式典	15:40-16:40 電子写真デバイス (2) Electro- photographic Device (2)	14:40-15:40 電子写真デバイス (3) Electro- photographic Device (3)
19:00	18:00-19:15 懇親会 日本画像学会創立60 周年記念パーティ Social Hour Memorial Party for 60th Anniversary 大学会館フードコート Food Court	15:40-16:40 新規イメージング Novel Imaging	14:30-16:00 インタラクティブ セッション 合同 ポスター発表* コアタイムB Interactive Session Poster Presentation Core Time B
20:00		16:00-17:00 電子写真 シミュレーション Numerical Simulation of Electro- photography	16:00-16:30 表彰式 Ceremony & Closing
		Authors' Interview オーサーズインタビュー	

特別企画／Special Events (1)

Keynote Speech

6/19(火)

3D プリンティングから 4D プリンティングへ ～ボクセルによる画像と物質の融合～

慶應義塾大学 田中 浩也

From 3D Printing to 4D Printing - Collaboration In-between Imaging and Objects Through Voxels-

Hiroya TANAKA (Keio University)

Awarded Lecture

6/19(火)

2016 年度論文賞受賞記念講演

Commemoration Lecture of the Paper Award 2016

MPS 法による微細インク液滴の濡れ拡がり, 合一挙動解析と 画質欠陥予測への応用

富士ゼロックス株式会社 高橋 良輔

Analysis of Wetting and Coalescing Behaviors of Minute
Ink Droplets by MPS Simulation and Application for
Prediction of Image Defects

Ryosuke TAKAHASHI (Fuji Xerox Co., Ltd.)

6/19(火)

日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞受賞講演
Commemoration Lecture of Konica Minolta Research
Encouraging Grant 2016

新規超音速・高粘度液体吐出方式の開発

東京農工大学 田川 義之

Novel Microjet Generator for Supersonic and Highly
Viscous Liquids

Yoshiyuki TAGAWA (Tokyo University of Agriculture and Technology)

特別企画／Special Events (2)

Inkjet Organized Session

特別講演 Special Talk

6/20(水)

インクジェット技術進化論

-コンポーネントな知とアーキテクチャルな知による進化

富士ゼロックス株式会社 藤井 雅彦

Evolution Theory of Ink Jet Technologies

- Progress by Component or Architectural Knowledge

Masahiko FUJII (Fuji Xerox Co., Ltd.)

Sensibility on Imaging Organized Session

特別講演 Special Talk

6/19(火)

Kansei Imaging: Holistic Image Enhancement

Carl STAELIN (Google Inc.), Boris OICHERMAN (University of Minnesota)

招待講演 Invited Talks

6/19(火)

動物の美学:動物は絵画をどう見るのか

慶應義塾大学 渡辺 茂

Animal Aesthetics: How Animals Perceive Paintings

Shigeru WATANABE (Keio University)

6/19(火)

個人の“美”イメージの可視化

大阪大学 内藤 智之

How to Visualize the Mental Representation of 'Beauty' of Individuals

Tomoyuki NAITO (Osaka University)

6/19(火)

画像と感性 ～画像の好ましさを考える～

千葉大学 小林 裕幸

Image and Kansei ～Consideration of Image Preference～

Hiroyuki KOBAYASHI (Chiba University)

特別企画／Special Events (3)

6/21(木)

画像関連学会連合会合同国際セッション
International Session by the Federation of Imaging
Societies

Regional Reports



日本/ JAPAN
面谷 信 (東海大学)
Makoto OMODANI (Tokai University)



ベトナム/ VIETNAM
Nguyen Long Giang
(Ho Chi Minh City University of Technology and Education)



マレーシア/ MALAYSIA
Muhammad Yusuf Masod
(University Technology MARA)



韓国/ KOREA
Myong-Hoon Lee
(Chonbuk National University)



インドネシア/ INDONESIA
Adi Susanto
(Stikubank University)



タイ/ THAILAND
Aran Hansuebsai
(Chulalongkom University)



中国/ CHINA
Lin Maohai
(Qilu University of Technology)

画像関連学会連合会の主催する国際会議 ICAI を、今後アジアにおける画像技術発表の中心の場に位置づけていきます。2019 年は第 2 回目の ICAI を開催しますが、本年は Regional Report セッションで、アジア各国のキーマンに各国の画像技術研究・開発の状況やトピックスを発表していただきます。

ワークショップ / Workshop

6/20(水)

[WS-1]10:30-12:30
(会議室 2 / Meeting Room 2)

定員 24

紙粉発生の良し悪しを判断する評価手法に関するディスカッション

Discussion on Evaluation Method to Judge Impact of Paper Lint on MFP

企画: 伊藤 敦史 (株式会社電通国際情報サービス)

Planner: tsushi ITO, Information Services International-Dentsu, Ltd.

司会: 校條 健 (キヤノン株式会社)

Facilitator: Takeshi MENJO, Canon Inc.

MFP コンソーシアムでは、MFP の作像・搬送性能に影響する紙粉発生の良し悪しを判断する評価手法として『ローラ摩擦式紙粉検出法』を開発した。

本手法は用紙をローラで 100mm こすった時の摩擦低下を測る簡便な手法で、各種用紙の MFP 適合性を紙粉の観点から評価可能であり、現在 JBMIA に標準化提案を行っている。

本ワークショップでは、データを見ながら参加者と議論を行う事で、本手法をよりの確かな標準にしていくと共に、市場用紙品質向上のための活用法等のご意見も頂き、より価値あるものとする為の議論の場としたい。

発表1: 紙の摩擦係数と快適触感について

Coefficient of Friction and Comfortable Touch of Paper

江前 敏晴, 筑波大学 生命環境系

Toshiharu ENOMAE, Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba

発表2: プリンタ複合機適合紙判定の為にローラ摩擦式紙粉検出法に関する研究とその標準化

Research on Paper Lint Measurement Method for MFP by Roller Friction and Standardization Proposal

月山 陽介, 新潟大学 自然科学系

Yosuke TSUKIYAMA, Institute of Science and Technology, Niigata University

技術交流会

Technical Exchange Meeting

6/21(木)

[TE-1]14:00-16:00
(会議室 2 / Meeting Room 2)

定員なし

インクジェットヘッドショーケース

Inkjet Head Showcase

企画: 酒井 真理 (山形大学)

Planner: Shinri SAKAI, Yamagata University

司会: 中島 一浩 (キヤノン株式会社)

Facilitator: Kazuhiro NAKAJIMA, Canon, Inc.

インクジェット技術において、インクジェットヘッドは微小な液滴を精密に噴射する基幹要素である。本企画では、数あるインクジェットヘッドを一堂に集め展示する。そして、それらのヘッドの特徴、用途、市場での狙いなどの説明を受けられる。現在、多様化するインクジェットの応用は、より高品位な画像をより高速にプリントするためのインクジェットヘッドに支えられている。実際にインクジェットヘッドを手に取り、将来・未来のインクジェットがどこに向かい、インクジェットヘッドはどのように進化していくのか、考え、理解し、議論する、またとない機会である。

日本画像学会創立 60 周年記念行事 Events for ISJ's 60th Anniversary

Memorial Ceremony

6/19(火)

一般社団法人日本画像学会創立 60 周年記念式典

Memorial Ceremony for 60th Anniversary of the Imaging Society of Japan

(大ホール／Main Hall)

6月19日(火) 17:15 - 17:45
けやき会館 1F 大ホール

日本画像学会 Vision(Action Before 2020)報告
懸賞論文「画像技術の未来への提案」受賞者発表および表彰

Memorial Party

6/19(火)

一般社団法人日本画像学会創立 60 周年記念パーティ

Memorial Party for 60th Anniversary of the Imaging Society of Japan

(フードコート／Food Court)

6月19日(火) 18:00 - 19:15
大学会館 2F フードコート

当日受付
ICJ2018 懇親会と併催

Memorial Exhibition

6/19(火)
~20(水)

一般社団法人日本画像学会創立 60 周年記念展

Memorial Exhibition for 60th Anniversary of the Imaging Society of Japan

(中会議室／Meeting Room (M))

6月19日(火) ~20日(水)
けやき会館 3F 中会議室

学会創立以来 60 年間の学会誌や研究討論会の予稿集などを展示します

目次 / Content

第1日目 : 6月19日 (火) / June 19 (Tue.)

[TRACK I] 9:00~17:00

MH 会場(けやき会館 1階 大ホール/320名収容)
Room MH (The Main Hall, 1F-Keyaki Kaikan/ Capacity 320)

9:00 - 受付 / Registration

9:00 - 10:00

日本画像学会総会(大ホール)

The General Meeting of the Imaging Society of Japan (the Main Hall)

10:00 - 10:15 Break

10:15 - 10:25

開会挨拶 / Opening Remarks

ICJ 2018 実行委員長 武井 一 (コニカミノルタ株式会社)

General Chair, Hajime TAKEI (Konica Minolta, Inc.)

10:25 - 11:15

Keynote Speech

座長: 藤井 雅彦 (富士ゼロックス株式会社), 小林 範久 (千葉大学)

Session Chairs: Masahiko FUJII (Fuji Xerox Co., Ltd.),

Norihisa KOBAYASHI (Chiba University)

K-01 3D プリンティングから 4D プリンティングへ ~ボクセルによる画像と物質の融合~

From 3D Printing to 4D Printing - Collaboration In-between Imaging and Objects Through Voxels -

田中 浩也

(慶應義塾大学)

Hiroya TANAKA

(Keio University)

11:15 - 11:20 Break

11:20 - 11:50

表彰式 / The Award Ceremony

11:50 - 12:50 Lunch Break

12:50 - 13:20

2016 年度論文賞受賞記念講演
Commemoration Lecture of the Paper Award 2016

座長: 中村 一希 (千葉大学), 水野 知章 (富士フイルム株式会社)

Session Chairs: Kazuki NAKAMURA (Chiba University),
Tomohiro MIZUNO (Fujifilm Corporation)

- PA-01** MPS 法による微細インク液滴の濡れ拡がり, 合一挙動解析と画質欠陥予測への応用……………
Analysis of Wetting and Coalescing Behaviors of Minute Ink Droplets by MPS Simulation and
Application for Prediction of Image Defects
高橋 良輔 (富士ゼロックス株式会社)
Ryosuke TAKAHASHI (Fuji Xerox Co., Ltd.)

13:20 - 13:50

日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞受賞記念講演
Commemoration Lecture of Konica Minolta Research Encouraging Grant 2016

座長: 面谷 信 (東海大学), 朝武 敦 (コニカミノルタ株式会社)

Session Chairs: Makoto OMODANI (Tokai University),
Atsushi TOMOTAKE (Konica Minolta, Inc.)

- KM-01** 新規超音速・高粘度液体吐出方式の開発……………
Novel Microjet Generator for Supersonic and Highly Viscous Liquids
田川 義之 (東京農工大学)
Yoshiyuki TAGAWA (Tokyo University of Agriculture and Technology)

13:50 - 14:00 Break

14:00 - 15:00

インクジェット(1) プロセス
Inkjet (1) Process

座長: 藤井 雅彦 (富士ゼロックス株式会社), 木村 里至 (セイコーエプソン株式会社)

Session Chairs: Masahiko FUJII (Fuji Xerox Co., Ltd.),
Satoshi KIMURA (Seiko Epson Corporation)

- IJ1-01** 非浸透基材への高品質インクジェット印刷技術……………
High Quality Inkjet Printing Technology for Plastic Substrate
宮戸 健志, 藤井 勇介, 佐藤 綾人, 中村 一平, 浜本 貴紀, 河戸 孝二 (富士フイルム株式会社)
Takeshi MIYATO, Yusuke FUJII, Ayato SATO, Ippei NAKAMURA, Takahiro HAMAMOTO, Koji KAWATO
(Fujifilm Corporation)
- IJ1-02** 新規高粘度インク吐出装置の開発……………
The New System for Generating Microjets for Highly Viscous Ink
大貫 甫, 前嶋 麻緒, 田川 義之 (東京農工大学)
Hajime ONUKI, Mao MAESHIMA, Yoshiyuki TAGAWA (Tokyo University of Agriculture and Technology)
- IJ1-03** 微小液滴の高速着弾現象の観察……………
Observation of Fast Impingement Dynamics of Micro-droplets on Substrates
横田 涼輔, 平野 太一, 美谷 周二朗, 酒井 啓司 (東京大学)
Ryohsuke YOKOTA, Taichi HIRANO, Shujiro MITANI, Keiji SAKAI (The University of Tokyo)

15:00 - 15:20 Authors' Interview

15:20 - 16:40

**インクジェット(2) インク
Inkjet (2) Ink**

座長: 奥田 貞直 (サカタインクス株式会社), 岡田 真一 (DIC 株式会社)

Session Chairs: Sadanao OKUDA (SAKATA INX CORPORATION),
Shinichi OKADA (DIC Corporation)

- IJ2-01** インクジェット用 W/O エマルションインクの調製……………
Preparation of a W/O Emulsion Ink for Inkjet Printing
江崎 直史, 魚住 俊介 (理想科学工業株式会社)
Naofumi EZAKI, Shunsuke UOZUMI (RISO KAGAKU CORPORATION)
- IJ2-02** 新規白色顔料の開発 -無機中空粒子の構造と白色隠蔽性の関係-……………
New White Pigments -Correlation between Structure of Inorganic Hollow Particles and White
Opacity-
平出 智大, 後藤 寛 (株式会社リコー)
Tomohiro HIRADE, Hiroshi GOTO (Ricoh Company, Ltd.)
- IJ2-03** Pigments for Inkjet Food Packaging Printing ……………
Stephane BIRY¹, Ruth BAUER² (¹BASF Colors & Effects Switzerland AG, ²BASF Colors & Effects GmbH)
- IJ2-04** OW 型乳化重合エマルション特性が画質に及ぼす影響……………
Influence of the Characteristics of Emulsion on Image Quality
吉川 貴裕, 高橋 茂樹 (花王株式会社)
Takahiro YOSHIKAWA, Shigeki TAKAHASHI (Kao Corporation)

16:40 - 17:00 Authors' Interview

17:00 – 17:15 Break

17:15 - 17:45

日本画像学創立 60 周年記念式典(大ホール)

Memorial Ceremony for 60th Anniversary of the Imaging Society of Japan (the Main Hall)

17:45 - 18:00 Break

18:00 – 19:15

懇親会・日本画像学会創立60周年記念パーティ

Social Hour and Memorial Party for 60th Anniversary of the Imaging Society of Japan

大学会館 2 階 フードコート/ Food Court, 2F, University Co-op

第1日目：6月19日（火）／ June 19 (Tue.)

[TRACK II] 12:50~17:10

RH 会場(けやき会館 3階 レセプションホール/120名収容)
Room RH (The Reception Hall, 3F-Keyaki Kaikan/ Capacity 120)

12:50 - 14:10

画像入力, 画像処理および画像感性
Image Input, Image Processing and Kansei Imaging

座長: 松木 眞 (元 NTT クオリス), 服部 好弘 (コニカミノルタ株式会社)

Session Chairs: Makoto MATSUKI (former NTT Qualis),
Yoshihiro HATTORI (Konica Minolta, Inc.)

- IM-01** メタリックカラー用カラーマネジメントシステム
Color Management System for Metallic Color
久保 昌彦, 山内 薫 (富士ゼロックス株式会社)
Masahiko KUBO, Kaoru YAMAUCHI (Fuji Xerox Co., Ltd.)
- IM-02** IJ プリントシステム向けステガノグラフィ技術
Steganography Technology for Inkjet Printing System
石田 祐樹 (キヤノン株式会社)
Yuki ISHIDA (Canon Inc.)
- IM-03** 大量画像からフォトブックを作成する技術への深層学習の応用
Application of Deep Learning to Technology to Create Photo Books from a Large Amount of Images
近藤 浩和, 野口 幸典, 古谷 宏行, 葛岡 拓也 (富士フイルム株式会社)
Hirokazu KONDO, Yukinori NOGUCHI, Hiroyuki FURUYA, Takuya TSUTAOKA (Fujifilm Corporation)
- IM-04** マルチディスプレイ向けユニフォミティ向上技術
Color Uniformity Correction Technology for Multi-Display
古市 岳, 安達 靖, 加藤木 央光, 早崎 真, 大西 英樹, 奥西 稔幸, 後藤 俊之, 五十嵐 大輔, 澤辺 大一, 石倉 知弥, 山本 治男 (シャープ株式会社)
Gaku FURUICHI, Yasushi ADACHI, Terumitsu KATOHGI, Makoto HAYASAKI, Hideki OHNISHI, Toshiyuki OKUNISHI, Toshiyuki GOTOH, Daisuke IGARASHI, Daiichi SAWABE, Tomoya ISHIKURA, Haruo YAMAMOTO (Sharp Corporation)

14:10 - 14:30 Authors' Interview

14:30 - 15:20

画像感性 特別講演
Special Talk: Sensibility on Imaging

座長: 鑑谷 賢治 (株式会社リコー), 平林 純 (キヤノン株式会社)

Session Chairs: Kenji KAGITANI (Ricoh Company, Ltd.),
Jun HIRABAYASHI (Canon Inc.)

- IKs-01** Kansei Imaging: Holistic Image Enhancement
Carl STAELIN¹, Boris OICHERMAN² (1Google Inc., 2University of Minnesota)

15:20 - 15:30 Break

15:30 - 17:00

画像感性 オーガナイズドセッション
Organized Session: Sensibility on Imaging

座長: 鑑谷 賢治 (株式会社リコー), 峯岸 なつ子 (コニカミノルタ株式会社)

Session Chairs: Kenji KAGITANI (Ricoh Company, Ltd.),

Natsuko MINEGISHI (Konica Minolta, Inc.)

- IKo-01** 動物の美学:動物は絵画をどう見るのか
Animal Aesthetics: How Animals Perceive Paintings
渡辺 茂 (慶應義塾大学)
Shigeru WATANABE (Keio University)
- IKo-02** 個人の“美”イメージの可視化
How to Visualize the Mental Representation of ‘Beauty’ of Individuals
内藤 智之 (大阪大学)
Tomoyuki NAITO (Osaka University)
- IKo-03** 画像と感性 ~画像の好ましさを考える~
Image and Kansei - Consideration of Image Preference -
小林 裕幸 (千葉大学)
Hiroyuki KOBAYASHI (Chiba University)

第1日目: 6月19日(火) / June 19 (Tue.)

[TRACK III]13:00~17:20 CR会場(工学系総合研究棟II 2階 コンファレンスルーム/120名収容)
Room CR (The Conference Hall, 2F-Engineering Research Building II/ Capacity 120)

13:00 - 14:20

電子写真材料 Electrophotographic Materials

座長: 多田 達也 (茨城大学), 伊丹 明彦 (コニカミノルタ株式会社)

Session Chairs: Tatsuya TADA (Ibaraki University),
Akihiko ITAMI (Konica Minolta, Inc.)

- EPm-01** 新規ソリッドマイクロカプセルトナーの開発
Development of New Solid-micro-capsuled Toner
辻廣 昌己, 大喜多 正希, 宮本 英稔, 矢部 成男, 小澤 義夫 (京セラドキュメントソリューションズ株式会社)
Masami TSUJIIHIRO, Masaki OKITA, Hidetoshi MIYAMOTO, Naruo YABE, Yoshio OZAWA
(KYOCERA Document Solutions Corporation)
- EPm-02** MEMSピンセットによる一粒子帯電量計測技術を用いた地汚れトナー解析
Investigation of Fogging Toner by Measurement Technique for Electrostatic Charge on Single Particle with MEMS-based Actuated Tweezers
山口 大地 (株式会社リコー)
Daichi YAMAGUCHI (Ricoh Company, Ltd.)
- EPm-03** 液体现像方式による軟包装印刷物の接着強度
Adhesion of Liquid Electrophotographic Images with a Substrate in Flexible Packaging
浦野 千里, 井出 収 (富士ゼロックス株式会社)
Chisato URANO, Osamu IDE (Fuji Xerox Co., Ltd.)
- EPm-04** 高濃度接触現像系の液体现像方式における揮発系液体トナーの適用
Application of Volatile Liquid Toner for Liquid Electrophotography System Using High Concentration Contact Developing Method
横山 優樹, 鈴木 俊彦, 中山 信行 (富士ゼロックス株式会社)
Yuki YOKOYAMA, Toshihiko SUZUKI, Nobuyuki NAKAYAMA (Fuji Xerox Co., Ltd.)

14:20 - 14:40 Authors' Interview

14:40 - 15:20

電子写真デバイス (1) Electrophotographic Devices (1)

座長: 服部 好弘 (コニカミノルタ株式会社), 美才治 隆 (株式会社リコー)

Session Chairs: Yoshihiro HATTORI (Konica Minolta, Inc.),
Takashi BISAIJI (Ricoh Company, Ltd.)

- EP1-01** 揮発性キャリア現像剤を用いた液体现像システムの開発
Development of Liquid Electrophotography System with Volatile Carrier Developer
中山 信行, 辰浦 智, 山田 太一, 鈴木 俊彦, 山下 隆磨, 井出 収 (富士ゼロックス株式会社)
Nobuyuki NAKAYAMA, Satoshi TATSUURA, Taichi YAMADA, Toshihiko SUZUKI, Takamaro YAMASHITA,
Osamu IDE (Fuji Xerox Co., Ltd.)

- EP1-02** ゴースト光除去光学系による光束分割書込方式の開発
Development of a Beam Splitting Laser Scanning Method with an Optical System Removing Ghost Light
仲村 忠司, 今井 重明, 林 善紀 (株式会社リコー)
Tadashi NAKAMURA, Shigeaki IMAI, Yoshinori HAYASHI (Ricoh Company, Ltd.)

15:20 - 15:40 Authors' Interview

15:40 - 16:40

電子写真デバイス (2)
Electrophotographic Devices (2)

座長: 渡辺 靖晃 (富士ゼロックス株式会社), 松代 博之 (株式会社リコー)

Session Chairs: Yasuaki WATANABE (Fuji Xerox Co., Ltd.),
Hiroyuki MATSUSHIRO (Ricoh Company, Ltd.)

- EP2-01** オンデマンド性・高生産性を実現した外部加熱定着方式
On External Heating Fuser Technology for On Demand and High Productivity Printing of LBP
鈴木 彰道, 西田 聡, 竹田 敢, 池上 祥太郎 (キヤノン株式会社)
Akimichi SUZUKI, Satoshi NISHIDA, Isamu TAKEDA, Shotaro IKEGAMI (Canon Inc.)
- EP2-02** プロダクションプリント画質と厚紙高速化を達成した省エネ定着
The Energy-Saving Fixing Apparatus Which Achieved Production Print Image Quality and Cardboard Speeding
和澄 利洋, 西埜植 一紀, 三保 広晃 (コニカミノルタ株式会社)
Toshihiro WAZUMI, Kazunori NISHINOUE, Hiroaki MIHO (Konica Minolta, Inc.)
- EP2-03** 液体现像方式における乾燥技術の開発
Development of Drying Processes for Liquid Electrophotography
阿部 昌昭, 辰浦 智, 中山 信行 (富士ゼロックス株式会社)
Masaaki ABE, Satoshi TATSUURA, Nobuyuki NAKAYAMA (Fuji Xerox Co., Ltd.)

16:40 - 17:00 Authors' Interview

第2日目：6月20日（水）／ June 20 (wed.)

[TRACK I]09:30～16:40

MH 会場(けやき会館 1階 大ホール／320名収容)
Room MH (The Main Hall, 1F-Keyaki Kaikan/ Capacity 320)

9:00 - 受付／Registration

09:30 - 10:20

インクジェット 特別講演

Special Talk: Inkjet

座長:朝武 敦 (コニカミノルタ株式会社), 関口 恭裕 (ブラザー工業株式会社)

Session Chairs: Atsushi TOMOTAKE (Konica Minolta, Inc.),

Yasuhiro SEKIGUCHI (Brother Industries, Ltd.)

IJs-01 インクジェット技術進化論 -コンポーネントな知とアーキテクチャルな知による進化……………
Evolution Theory of Ink Jet Technologies - Progress by Component or Architectural Knowledge

藤井 雅彦

Masahiko FUJII

(富士ゼロックス株式会社)

(Fuji Xerox Co., Ltd.)

10:20 - 10:40 Break

10:40 - 11:40

インクジェット(3) システム

Inkjet (3) Syetem

座長:中島 一浩 (キヤノン株式会社), 朝武 敦 (コニカミノルタ株式会社)

Session Chairs: Kazuhiro NAKAJIMA (Canon Inc.),

Atsushi TOMOTAKE (Konica Minolta, Inc.)

IJ3-01 レーザー乾燥技術のオフセットコート紙におけるしわ抑制効果の検証……………

Verification of Cockling Reduction Effect on Offset-Coated Paper by Drying Technology Using Laser Exposure

前後 武志, 長谷部 恵, 坂本 朗, 浜崎 聡信, 上坂 友純, 本杉 友佳里, 石原 拓真 (富士ゼロックス株式会社)

Takeshi ZENGO, Satoshi HASEBE, Akira SAKAMOTO, Toshinobu HAMAZAKI, Tomozumi UESAKA, Yukari

MOTOSUGI, Takuma ISHIHARA

(Fuji Xerox Co., Ltd.)

IJ3-02 NEW ガーメントプリンターの開発……………

Development of NEW Garment Printer

見満 継頼

Tsuguyori KEMMA

(株式会社リコー)

(Ricoh Company, Ltd.)

IJ3-03 NASSENGER SP-1 さらに高画質化に向けて……………

Nassenger SP-1 toward Further Improvement of Image Quality

竹内 節, 吉村 俊彦, 坪谷 真吾, 花島 優介

Setshu TAKEUCHI, Toshihiko YOSHIMURA, Shingo TSUBOTANI, Yusuke HANASHIMA

(コニカミノルタ株式会社)

(Konica Minolta, Inc.)

11:50 - 12:10 Authors' Interview

12:10 – 13:00 Lunch Break

13:00 - 14:00

インクジェット(4) 画像処理・評価 Inkjet (4) Image Processing/Image Evaluation

座長: 名越 応昇 (三菱製紙株式会社), 角谷 繁明 (セイコーエプソン株式会社)

Session Chairs: Masanori NAGOSHI (Mitsubishi Paper Mills Limited),

Toshiaki KAKUTANI (Seiko Epson Corporation)

- IJ4-01** 講演取り消し
Canceled
- IJ4-02** メタリック意匠性のカテゴリ化と表現技法
Categorization and Expression Technique of Metallic Design
西澤 遼, 高津 章 (株式会社ミマキエンジニアリング)
Ryo NISHIZAWA, Akira TAKATSU (Mimaki Engineering Co., Ltd.)
- IJ4-03** 高速インクジェットプリンタにおける7色分版インク印刷方式の効果
The Effects of Printing Processes of Seven-Color Separation and Sequential Color Print in the High Speed Inkjet Printer
大西 勝 (株式会社ミマキエンジニアリング)
Masaru OHNISHI (Mimaki Engineering Co., Ltd.)

14:00 - 14:20 Authors' Interview

14:20 - 15:20

デジタルファブリケーション Digital Fabrication

座長: 酒井 真理 (山形大学), 酒井 正俊 (千葉大学)

Session Chairs: Shinri SAKAI (Yamagata University),

Masatoshi SAKAI (Chiba University)

- DF-01** プリンテッドエレクトロニクスにおけるインクジェットのドロプレット・デポジション技術
Droplet Deposition Technique of Inkjet in Printed Electronics
仲島 厚志^{1,2}, 西 眞一¹, 鎌田 俊英^{1,3}
(¹次世代プリンテッドエレクトロニクス技術研究組合, ²コニカミノルタ株式会社, ³産業技術技術研究所)
Atsushi NAKAJIMA^{1,2}, Shinichi NISHI¹, Toshihide KAMATA^{1,3}
(¹Japan Advanced Printed Electronics Technology Research Association, ²Konica Minolta, Inc., ³The National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
- DF-02** インクジェット印刷電極を有する有機集積回路の乳酸センサ応用
Application of Organic Circuits with Inkjet-Printed Electrodes to Lactate Sensing
塩飽 黎¹, 松井 弘之¹, 長峯 邦明¹, 植松 真由¹, 眞野 泰誠¹, 丸山 祐樹¹, 野村 綾子¹, 土屋 和彦¹, 早坂 和将¹, 竹田 泰典¹, 福田 貴², 熊木 大介¹, 時任 静士¹ (¹山形大学, ²東ソー株式会社)
Rei SHIWAKU¹, Hiroyuki MATSUI¹, Kuniaki NAGAMINE¹, Mayu UEMATSU¹, Taisei MANO¹, Yuki MARUYAMA¹, Ayako NOMURA¹, Kazuhiko TSUCHIYA¹, Kazuma HAYASAKA¹, Yasunori TAKEDA¹, Takashi FUKUDA², Daisuke KUMAKI¹, Shizuo TOKITO¹ (¹Yamagata University, ²Tosoh Corporation)
- DF-03** Bridge Pattern Printing for Flexible Transparent Touch Panel Applications
Kye-Si KWON¹, Seongjun KIM², Soobin OH¹, Md. Khalilur RAHMAN^{1,3}
(¹Soonchunhyang University, ²Samsung Electronics Co. Ltd, ³Comilla University)

15:20 - 15:40 Authors' Interview

15:40 - 16:40

新規イメージング
Novel Imaging

座長: 堀田 吉彦 (株式会社リコー), 佐藤 利文 (東京工芸大学)

Session Chairs: Yoshihiko HOTTA (Ricoh Company, Ltd.),

Toshifumi SATO (Tokyo Polytechnic University)

- NI-01** 金属調光沢ポリマーアロイの作製と物性
Preparation and Physical Properties of Metal-like Lustrous Polymer Alloy
田村 理人, 宮本 克真, 星野 勝義 (千葉大学)
Rihito TAMURA, Katsuma MIYAMOTO, Katsuyoshi HOSHINO (Chiba University)
- NI-02** 金属調光沢を発現する水溶性 3-メトキシチオフェン重合体塗布膜の作成と物性
Preparation and Characterization of Solution-Cast Metal-Like Lustrous Films of Water-Soluble 3-Methoxythiophene Oligomers
立木 美奈子, 田川 麗央, 星野 勝義 (千葉大学)
Minako TACHIKI, Reo TAGAWA, Katsuyoshi HOSHINO (Chiba University)
- NI-03** 金属光沢を有する有機薄膜の色調と構造に及ぼす重合条件の影響
Effect of Polymerization Condition on the Color and Structure of Organic Metallic Lustrous Films
久保 美菜子, 堀越 健太, 星野 勝義 (千葉大学)
Minako KUBO, Kenta HORIKOSHI, Katsuyoshi HOSHINO (Chiba University)

16:40 - 17:00 Authors' Interview

第2日目：6月20日（水）／ June 20 (wed.)

[TRACK III]09:30~17:00 CR 会場(工学系総合研究棟II 2階 コンファレンスルーム/120名収容)
Room CR (The Conference Hall, 2F-Engineering Research Building II/ Capacity 120)

9:00 - 受付/Registration

09:30 - 10:10

画質・視覚
Image Quality and Vision

座長:服部 好弘 (コニカミノルタ株式会社), 岸 由美子 (株式会社リコー)
Session Chairs: Yoshihiro HATTORI (Konica Minolta, Inc.),
Yumiko KISHI (Ricoh Company, Ltd.)

- QV-01** 局所的濃度ムラの視認性と原稿画像特徴量の相関モデルに関する考察
Consideration on a Correlation Model between Visibility of Local Density Unevenness and Input Image Characteristics
峯岸 なつ子¹, 内川 恵二² (¹コニカミノルタ株式会社, ²神奈川工科大学)
Natsuko MINEGISHI¹, Keiji UCHIKAWA² (¹Konica Minolta, Inc., ²Kanagawa Institute of Technology)
- QV-02** ビームスポット形状が粒状性に与える影響
Influence of Beam Spot Property on Graininess of Electrophotographic Image
坂井 直樹, 曾根 拓郎, 岸 由美子, 渡辺 直人, 添田 真弘, 酒井 浩司, 須原 浩之, 日野 真 (株式会社リコー)
Naoki SAKAI, Takuroh SONE, Yumiko KISHI, Naoto WATANABE, Masahiro SOEDA, Kohji SAKAI, Hiroyuki SUHARA, Makoto HINO (Ricoh Company, Ltd.)

10:10 - 10:30 Authors' Interview

10:30 - 11:30

電子ペーパー/エレクトリック イメージング
Electronic Paper and Electronic Imaging

座長:中村 一希 (千葉大学), 前田 秀一 (東海大学)
Session Chairs: Kazuki NAKAMURA (Chiba University),
Shuichi MAEDA (Tokai University)

- EI-01** 高次配向秩序をもつ液晶と結晶の電子伝導機構は何が異なるのか?
What Is Difference of Electronic Conduction Mechanism between High-ordered Liquid Crystal and Crystal?
大野 玲, 飯野 裕明, 半那 純一 (東京工業大学)
Akira OHNO, Hiroaki IINO, Jun-ichi HANNA (Tokyo Institute of Technology)
- EI-02** 有機トランジスタ応用を指向したモノアルキル鎖を有する液晶性有機半導体の特質とその一般性
Specific Nature of Monoalkylated Liquid Crystalline Organic Semiconductors for Organic Transistors and Its Generality
Wu Hao, 半那 純一, 飯野 裕明 (東京工業大学)
Hao WU, Jun-ichi HANNA, Hiroaki IINO (Tokyo Institute of Technology)

- EI-03** 分子動力学法を用いた蒸着シミュレーション技術の開発……………
Molecular Dynamics Simulation of the Deposition of Molecules
余米 希晶 (コニカミノルタ株式会社)
Keyaki YOGOME (Konica Minolta, Inc.)

11:30 - 11:50 Authors' Interview

11:50 – 13:00 Lunch Break

13:00 - 14:20

電子写真システム Electrophotographic System

座長:近藤 芳昭 (コニカミノルタ株式会社), 永瀬 幸雄 (キヤノン株式会社)

Session Chairs: Yoshiaki KONDOH (Konica Minolta, Inc.),

Yukio NAGASE (Canon Inc.)

- EPs-01** AccurioPress C6100 シリーズにおける IQ-501 連携によるスキルレスオペレーションの実現……………
The IQ-501 Intelligent Quality Optimizer: Simple, Quick, and Precise Color Management
川津 憲治, 嶋津 明彦, 山口 岳志, 池田 信 (コニカミノルタ株式会社)
Kenji KAWATSU, Akihiko SHIMAZU, Takeshi YAMAGUCHI, Makoto IKEDA (Konica Minolta, Inc.)
- EPs-02** 高速デジタルカラープリンター RICOH Pro C7210S/C7200S……………
High Speed Digital Full Color Printer RICOH Pro C7210S/C7200S
一杉 潤, 小川 禎史, 大淵 哲也, 三國谷 健太郎, 鷲森 悠樹, 植松 勇一郎 (株式会社リコー)
Jun HITOSUGI, Tadashi OGAWA, Tetsuya OFUCHI, Kentaro MIKUNIYA, Yuuki SAGIMORI, Yuuichiroh UEMATSU (Ricoh Company, Ltd.)
- EPs-03** ベイジアンネットワークによる複写機内エアフローの自律制御技術……………
Adaptive Control of Airflow in a Printing Machine Using Bayesian Network
小早川 周平, 田村 和也 (富士ゼロックス株式会社)
Shuhei KOBAYAKAWA, Kazuya TAMURA (Fuji Xerox Co., Ltd.)
- EPs-04** 昇圧効果を利用した新規エアフローシステムによる帯電信頼性の改善……………
Improvement of Reliability for a Corona Discharging Device by a New Air Flow System Applying the Pressure Rising Effect
長森 由貴, 百村 裕智, 工藤 雅史, 井波 かづき (富士ゼロックス株式会社)
Yuki NAGAMORI, Yasunari MOMOMURA, Masafumi KUDO, Kazuki INAMI (Fuji Xerox Co., Ltd.)

14:20 - 14:40 Authors' Interview

14:40 - 15:40

電子写真デバイス (3) Electrophotographic Devices (3)

座長:校條 健 (キヤノン株式会社), 渡邊 猛 (東芝テック株式会社)

Session Chairs: Takeshi MENJO (Canon Inc.),

Takeshi WATANABE (Toshiba Tec Corporation)

- EP3-01** 摩擦試験による紙粉付着性の評価
 ～紙特性評価のための新指標～
 Evaluation of the Powder Adhesion Properties by Friction Test
 - New Index for Paper Characterization -
 月山 陽介, 佐藤 陽平, 加藤 桂介, 新田 勇 (新潟大学)
 Yosuke TSUKIYAMA, Yohei SATO, Keisuke KATO, Isami NITTA (Niigata University)
- EP3-02** 弾性中間転写ベルトを搭載した転写システムにおける用紙搬送速度に関する研究
 A Study on Paper Feed Velocity in a Transfer System with Elastic Intermediate Transfer Belt
 橋本 崇, 木船 英明 (株式会社リコー)
 Takashi HASHIMOTO, Hideaki KIBUNE (Ricoh Company, Ltd.)
- EP3-03** タンデム/静電転写方式の液体现像システムにおけるメディア汎用性の獲得
 Development of Transfer Process Applicable to Various Mediums for Liquid Electrophotography
 with Tandem-Electrostatic Transfer Method
 鷹 大樹, 長尾 剛次, 三橋 利彦, 鈴木 俊彦, 中山 信行 (富士ゼロックス株式会社)
 Taiju GAN, Takeshi NAGAO, Toshihiko MITSUHASHI, Toshihiko SUZUKI, Nobuyuki NAKAYAMA
 (Fuji Xerox Co., Ltd.)

15:40 - 16:00 Authors' Interview

16:00 - 17:00

電子写真シミュレーション
Numerical Simulation of Electrophotography

座長: 石川 博幸 (ブラザー工業株式会社), 門永 雅史 (株式会社リコー)

Session Chairs: Hiroyuki ISHIKAWA (Brother Industries, Ltd.),
 Masami KADONAGA (Ricoh Company, Ltd.)

- SI-01** Study to Define Main Factors Affecting Electro Static Jam and to Develop CAE Model
 Jun Seong WOO, Byoung-ho YOO, Woon Kyung KIM, Taehan KIM
 (HP Printing Korea Co., Ltd)
- SI-02** 粗視化分子シミュレーションによるポリイミドの力学物性解析
 Analysis of Mechanical Characteristics of Polyimide by Using Coarse-Grained Molecular Dynamics
 Simulation
 世古 丈裕¹, 戸田 昌利², 森田 裕史², 松田 司¹ (1 富士ゼロックス株式会社, 2 産業技術総合研究所)
 Tomohiro SEKO¹, Masatoshi TODA², Hiroshi MORITA², Tsukasa MATSUDA¹
 (1Fuji Xerox Co., Ltd., 2National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
- SI-03** 電子写真における 1DCAE モデルの開発と画像シミュレーションへの応用
 Development of 1DCAE Model for Electrophotography, and Application to Numerical Simulation
 畔柳 祐一, 藤原 康司, 大島 亮 (コニカミノルタ株式会社)
 Yuichi KUROYANAGI, Kouji FUJIWARA, Ryo OSHIMA (Konica Minolta, Inc.)

17:00 - 17:20 Authors' Interview

第3日目：6月21日（木）／ June 21 (thu.)

[TRACK I]10:00～15:40

MH 会場(けやき会館 1階 大ホール／320名収容)
Room MH (The Main Hall, 1F-Keyaki Kaikan/ Capacity 320)

9:00 - 受付／Registration

— 日本画像学会、日本写真学会、日本印刷学会 合同セッション —
- Joint Session of ISJ, SPIJ and JSPST -

10:00 - 10:42

インタラクティブセッション ショートプレゼンテーション
Interactive Session, Short Presentation

座長：大川 祐輔 (千葉大学), 長谷部 恵 (富士ゼロックス株式会社)

Session Chairs: Yusuke OKAWA (Chiba University),

Satoshi HASEBE (Fuji Xerox Co., Ltd.)

- INP-01f** 写真化学的手法によって得られる金-銀中空ナノ構造体の生成過程
Formation Process of Gold-Silver Hollow Nanostructure Obtained by Silver Halide Photographic Methods
古谷 聡司, 柴 史之, 大川 祐輔 (千葉大学)
Satoshi FURUYA, Fumiyuki SHIBA, Yusuke OKAWA (Chiba University)
- INP-02i** グラビアオフセット印刷法により形成した微細銀グリッド配線に導電性ポリマーを積層した透明電極
Transparent Electrode of Gravure Offset Printed Fine Silver-Grid Lines Laminated with Conductive Polymer
橋本 夏樹, 大沢 正人 (株式会社アルバック)
Natsuki HASHIMOTO, Masato OHSAWA (ULVAC, Inc.)
- INP-03p** 食品包材向けグラビアインキの市場動向と各種規制への対応
Gravure Ink for Flexible Food Packaging -The Market and Regulations-
内田 秀磨, 村竹 浩明 (DIC 株式会社)
Hidemaro UCHIDA, Hiroaki MURATAKE (DIC Corporation)
- INP-04f** 電気化学的手法と写真現像の併用による電極上への1次元的銀ナノ構造体生成 (3)
Direct Formation of One-dimensional Silver Nanostructure on an Electrode with Electrochemical Technique and Photographic Development (3)
宮下 拓真, 齊藤 慎, 柴 史之, 大川 祐輔 (千葉大学)
Takuma MIYASHITA, Shin SAITO, Fumiyuki SHIBA, Yusuke OKAWA (Chiba University)
- INP-05i** ゴムローラに対する紙の摩擦特性 ～ 紙粉の影響 ～
Evaluation of the Friction Properties of Papers against Rubber Rollers - Influence of Paper Lint -
佐藤 陽平, 浅田 岬, 月山 陽介, 新田 勇 (新潟大学)
Yohei SATO, Misaki ASADA, Yosuke TSUKIYAMA, Isami NITTA (Niigata University)
- INP-06p** 2,4-diaminobenzenesulfonic acid をカウンターアニオンとした光両性物質発生剤
Photo Amphoteric Compounds Generator of 2,4-diaminobenzenesulfonic Acid as Counter Anion
丸茂 拓也, 高原 茂 (千葉大学)
Takuya MARUSHIGE, Shigeru TAKAHARA (Chiba University)

- INP-07f** 銀塩感光材料の潜像核分散とプラズモン共鳴発光による放射線飛跡の検出(3): 顕微鏡システムの改良によるバックグラウンド光の低減
 Detection of Radiation Using Distribution of Latent Image Specs of Silver Halide Photographic Materials and Plasmon Resonance (3): Decrease of Background Light by the Improvement of Microscope System
 久下 謙一¹, 安達 考洋¹, 梅本 篤宏², 中 竜大², 小平 聡³
 (1 千葉大学, 2 名古屋大学, 3 量子科学技術研究開発機構)
 Ken'ichi KUGE¹, Takahiro ADACHI¹, Atsuhiko UMEMOTO², Tatsuhiko NAKA², Satoshi KODAIRA³
 (1Chiba University, 2Nagoya University, 3QST)
- INP-08i** 広視野レーザ顕微鏡による紙粉付着量の評価
 ~ゴムローラの真実接触面観察~
 Evaluation of the Powder Adhesion Amounts by Laser Microscope with Wide Field of View
 - Real Contact Areas of Rubber Rollers -
 津守 哲矢, 加藤 桂介, 月山 陽介, 新田 勇 (新潟大学)
 Tetsuya TSUMORI, Keisuke KATO, Yosuke TSUKIYAMA, Isami NITTA (Niigata University)
- INP-09p** 多孔金属箔開発とその応用展開
 Development of Porous Metal Foil and Its Application
 澤田 宏和, 川口 順二 (富士フイルム株式会社)
 Hirokazu SAWADA, Jyunji KAWAGUCHI (Fujifilm Corporation)
- INP-10f** 刃状転位を導入した沃臭化銀結晶を有する原子核乾板の検討
 Development of Nuclear Emulsion with Silver-bromide Crystals Introduced Edge Dislocation
 西尾 晃, 森島 邦博, 久野 光慧, 眞部 祐太, 北川 暢子, 桑原 謙一, 吉田 哲夫 (名古屋大学)
 Akira NISHIO, Kunihiro MORISHIMA, Mitsuaki KUNO, Yuta MANABE, Nobuko KITAGAWA, Ken-Ichi KUWABARA, Tetsuo YOSHIDA (Nagoya University)
- INP-11i** フォトリソグラフィ技術を用いた酸化ニオブ薄膜による干渉色の混色
 Color Mixture of Interference Color by Niobium Oxide Thin Film Using Photolithography.
 阿部 裕太, 小松 功, 前田 秀一 (東海大学)
 Yuta ABE, Isao KOMATSU, Shuichi MAEDA (Tokai University)
- INP-12p** 反応誘起相分離を伴う液膜の乾燥と形状変化~共焦点ラマン分光法による評価~
 Drying and Curling of Thin Liquid Films with Photo-curing Reactions: a Confocal Raman Spectroscopy
 吉原 宏和, 山村 方人 (大日本印刷株式会社)
 Hirokazu YOSHIHARA, Masato YAMAMURA (Dai Nippon Printing Co., Ltd.)
- INP-13f** 原子核乾板検出器性能向上のための支持体探索
 Searching the Nuclear Emulsion's Supporting Base for Improvement of Detector Performance
 眞部 祐太, 森島 邦博, 北川 暢子, 西尾 晃, 久野 光慧 (名古屋大学)
 Yuta MANABE, Kunihiro MORISHIMA, Nobuko KITAGAWA, Akira NISHIO, Mitsuaki KUNO (Nagoya University)
- INP-14i** ミセル電解銅フタロシアニン膜の酸化還元に伴う結晶転移
 Crystal Form Transitions Accompanied by Redox Reactions in Copper Phthalocyanine Films Prepared by the Micellar Disruption Method
 加藤 雄大, 宮良 祐美, 星野 勝義 (千葉大学)
 Yuta KATO, Yumi MIYARA, Katsuyoshi HOSHINO (Chiba University)

講演番号末尾記号: i=日本画像学会(ISJ), f=日本写真学会(SPIJ), p=日本印刷学会(JSPST)

10:42 - 10:54 Break

10:54 - 11:36

インタラクティブセッション ショートプレゼンテーション(2) Interactive Session, Short Presentation (2)

座長: 星野 勝義 (千葉大学), 宇山 晴夫 (凸版印刷株式会社)

Session Chairs: Katsuyoshi HOSHINO (Chiba University),

Haruo UYAMA (TOPPAN PRINTING CO., LTD.)

- INP-15i** PVA ゲルを用いた新規インクジェット射出速度の制御手法
Jet Velocity Control Method Using PVA Gel for a New Ink-jet Generator
前嶋 麻緒, 大貫 甫, 栗原 千尋, 木山 景仁, 田川 義之 (東京農工大学)
Mao MAESHIMA, Hajime ONUKI, Chihiro KURIHARA, Akihito KIYAMA, Yoshiyuki TAGAWA
(Tokyo University of Agriculture and Technology)
- INP-16i** 回転スクリーンを用いた体積型立体表示
-3D 像の視認性向上-
Volumetric 3D Display System using Rotating Screen
-Improvement of Visibility of 3D Image-
武藤 建, 面谷 信, 藤川 知栄美 (東海大学)
Ken MUTO, Makoto OMODANI, Chiemi FUJIKAWA (Tokai University)
- INP-17p** 書籍の劣化による耐折強さの低下とその要因
Loss of Folding Endurance of Book Paper by Aged Deterioration of Books and its Causes
望月 有希子, 江前 敏晴 (筑波大学)
Yukiko MOCHIZUKI, Toshiharu ENOMAE (Tsukuba University)
- INP-18i** 紙基板上に作製した分散型 EL の電気的な回路構造の評価
Evaluation of Electrical Circuit Structure of Powder Electroluminescent Device on Paper Substrate
竹田 直樹, 佐藤 利文 (東京工芸大学)
Naoki TAKEDA, Toshifumi SATOH (Tokyo Polytechnic University)
- INP-19f** ミューオンラジオグラフィーによる春日古墳墳丘内部画像の作成
Inside Imaging of Kasuga Tumulus by Muon-radiography
石黒 勝己¹, 西藤 清秀¹, 平田 政彦², 中村 光廣³, 森島 邦博³, 西尾 晃³
(¹ 奈良県立橿原考古学研究所, ² 斑鳩町教育委員会, ³ 名古屋大学)
Katsumi ISHIGURO¹, Kiyohide SAITO¹, Masahiko HIRATA², Mitsuhiko NAKAMURA³, Kunihiro MORISHIMA³,
Akira NISHIO³
(¹ Archaeological institute of Kashihara, Nara prefecture, ² Ikaruga-cho Board of Education, ³ Nagoya University)
- INP-20p** 眼底画像の統合解析システムの提案と空間周波数を用いた網膜領域分類
Proposal of Integrated Analysis System for Retinal Fundus Images and Classification of Retinal
Areas Using Spatial Frequency
茂出木 敏雄 (大日本印刷株式会社)
Toshio MODEGI (Dai Nippon Printing Co., Ltd.)
- INP-21i** 溶液プロセスによる短チャネル有機トランジスタの高移動度化 : MoO₃ 塗布注入層を用いた接触抵抗低減
Enhanced Mobility in Solution-Processed Short-Channel Organic Transistors: Reduction of
Contact Resistances using Spin-Coated MoO₃ Injection Layers
饗庭 智也¹, 永瀬 隆¹, 小林 隆史¹, 貞光 雄一², 内藤 裕義¹
(¹ 大阪府立大学, ² 日本化薬株式会社)
Tomoya AIBA¹, Takashi NAGASE¹, Takashi KOBAYASHI¹, Yuichi SADAMITSU², Hiroyoshi NAITO¹
(¹ Osaka Prefecture University, ² Nippon Kayaku Co., Ltd.)

- INP-22f** カラー画像のための可逆輝度向上手法
 Improvement of Brightness for Color Images Using Reversible Data Hiding
 平岡 琴子, 今泉 祥子 (千葉大学)
 Kotoko HIRAOKA, Shoko IMAIZUMI (Chiba University)
- INP-23p** 色覚異常の程度判別のための簡易色覚検査表
 A Simple Color-vision Test Pattern for Determining the Type and Degree of Color Deficiency
 能勢 将樹¹, 大平 文², 東 吉彦³, 内川 恵二⁴
 (1株式会社リコー, ²おおたけ眼科, ³東京工芸大学, ⁴神奈川工科大学)
 Masaki NOSE¹, Aya OOHIRA², Yoshihiko AZUMA³, Keiji UCHIKAWA⁴
 (1Ricoh Company, Ltd., ²Otake Ganka, ³Tokyo Polytechnic University, ⁴Kanagawa Institute of Technology)
- INP-24i** 交流インピーダンス法による pn 接合型有機半導体積層膜の電荷輸送特性解析
 Charge Transport Properties of PN Junction Type Organic Semiconductor Film Analyzed by AC Impedance Spectroscopy
 南田 瑛介, 中村 一希, 小林 範久 (千葉大学)
 Eisuke MINAMIDA, Kazuki NAKAMURA, Norihisa KOBAYASHI (Chiba University)
- INP-25f** 切り取り攻撃に対する耐性を考慮した情報埋込み法
 An Information Embedding Scheme with Resilience against Clipping Attacks
 森永 早織, 今泉 祥子 (千葉大学)
 Saori MORINAGA, Shoko IMAIZUMI (Chiba University)
- INP-26i** AccurioPress C6100 シリーズにおける RU-518 のデカーラ性能向上
 The RU-518 New Relay Unit: Improvement on Decurling Ability and Adjustability.
 角田 旭 (コニカミノルタ株式会社)
 Akira TSUNODA (Konica Minolta, Inc.)
- INP-27f** 日本の写真黎明期におけるカロタイプの受容に関する研究 II
 一島津家史料にのこされた翻訳カロタイプ技法書について
 A Study on Calotype in the Dawn of Japanese Photography II
 - The Translated Book of Calotype Tecnique in Shimazu Historical Materials -
 安藤 千穂子, 岩崎 仁 (京都工芸繊維大学)
 Chihoko ANDO, Masashi IWASAKI (Kyoto Institute of Technology)
- INP-28i** 微小液滴衝突形状解析による高時間分解動的界面張力測定
 Measurement of Dynamic Interfacial Tension with High Time Resolution by Shape Analysis of Collided Microdroplets
 山岡 夏樹, 横田 涼輔, 平野 太一, 美谷 周二朗, 酒井 啓司 (東京大学)
 Natsuki YAMAOKA, Ryohsuke YOKOTA, Taichi HIRANO, Shujiro MITANI, Keiji SAKAI (The University of Tokyo)

* 講演番号末尾記号: i=日本画像学会(ISJ), f=日本写真学会(SPIJ), p=日本印刷学会(JSPST)

11:36 - 13:00 Lunch Break

13:00 – 16:00

インタラクティブセッションポスター発表 (3階 レセプションホール)

Interactive Session Poster Presentation (Reception Hall, 3F)

16:00 – 16:30

Ceremony and Closing

第3日目：6月21日（木）／ June 21 (thu.)

[TRACK III]09:30~12:10 CR会場(工学系総合研究棟II 2階 コンファレンスルーム/120名収容)
Room CR (The Conference Hall, 2F-Engineering Research Building II/ Capacity 120)

9:00 - 受付/Registration

09:30 - 10:30

インクジェット(5-1) 応用/3Dプリンティング/バイオプリンティング Inkjet (5-1) Applications/3D Printing/ Bio Printing

座長：江口 裕俊 (株式会社リコー), 西 眞一 (次世代プリンテッドエレクトロニクス技術研究組合)

Session Chairs: Hirotohi EGUCHI (Ricoh Company, Ltd.),

Shinichi NISHI (Japan Advanced Printed Electronics Technology Research Association)

IJ5.1-01 インクジェット 3D プリンタの積層プロセスの検討

Study on Lamination Process of Inkjet 3D Printer

田沼 千秋, 田中 豊, 御法川 学

(法政大学)

Chiaki TANUMA, Yutaka TANAKA, Gaku MINORIKAWA

(Hosei University)

IJ5.1-02 フルカラー3Dプリンターの開発

Development of Full Color 3D Printer

八角 邦夫, 大井 弘義, 今井 健太

(株式会社ミマキエンジニアリング)

Kunio HAKKAKU, Hiroyoshi OHI, Kenta IMAI

(Mimaki Engineering Co., Ltd.)

IJ5.1-03 静電誘引形インクジェット方式を利用した離型剤コーティング方法の検討

Investigation of Release Agent Coating Method Using Electrostatically Extracted Ink Jet System

綾城 唯, 山崎 雄三, 松尾 一壽

(福岡工業大学)

Yui AYASIRO, Yuzou YAMASAKI, Kazuhisa MATSUO

(Fukuoka Institute of Technology)

10:30 – 10:50 Authors' Interview

10:50 - 11:50

インクジェット(5-2) 応用/3Dプリンティング/バイオプリンティング Inkjet (5-2) Applications/3D Printing/Bio Printing

座長：宮戸 健志 (富士フイルム株式会社), 鈴木 幸栄 (株式会社リコー)

Session Chairs: Takeshi MIYATO (Fujifilm Corporation),

Koei SUZUKI (Ricoh Company, Ltd.)

IJ5.2-01 静電誘引形インクジェット方式を利用した可食インクコーティング方法の検討

Study on Edible Ink Coating Method Using Electrostatically Ink Jet Method

岡部 美紀, 山崎 雄三, 松尾 一壽

(福岡工業大学)

Minori OKABE, Yuzou YAMASAKI, Kazuhisa MATSUO

(Fukuoka Institute of Technology)

IJ5.2-02 酵素架橋とインクジェットの融合による 3D バイオプリンティング技術の開発

Development of a Bioprinting Technique by Combining Inkjetting Technology and Enzyme-mediated Hydrogelation

境 慎司¹, 中村 真人²

(¹大阪大学, ²富山大学)

Shinji SAKAI¹, Makoto NAKAMURA²

(¹Osaka University, ²University of Toyama)

IJ5.2-03 インクジェットバイオプリンティングによる臓器づくりのための挑戦的研究.....

Challenging Research on Organ Engineering by Inkjet Bioprinting

中村 真人¹, 岩永 進太郎¹, 浜田 裕太¹, 黒岡 武俊¹, 境 慎司² (¹富山大学, ²大阪大学)

Makoto NAKAMURA¹, Shintaroh IWANAGA¹, Yuta HAMADA¹, Taketoshi KUROOKA¹, Shinji SAKAI²

(¹University of Toyama, ²Osaka University)

ワークショップ／Workshop

第2日目：6月20日（水）／ June 20 (Thu.)

C2会場(けやき会館2階 会議室2)

Room C2 (The Meeting Room #2, 2F-Keyaki Kaikan)

10:30 – 12:30

WS-1 紙粉発生の良し悪しを判断する評価手法に関するディスカッション.....

Discussion on Evaluation Method to Judge Impact of Paper Lint on MFP

企画:伊藤 敦史 (株式会社電通国際情報サービス)

Planner: Atsushi ITO (Information Services International-Dentsu, Ltd.)

司会:校條 健 (キヤノン株式会社)

Facilitator: Takeshi MENJO (Canon Inc.)

話題提供者:江前 敏晴 (筑波大学), 月山 陽介 (新潟大学)

Speaker: Toshiharu ENOMAE (University of Tsukuba), Yosuke TSUKIYAMA (Niigata University)

(定員:24名, 要事前登録, 参加費 1,000円)

◆ワークショップの参加申込は、参加要領にあります事前参加登録をお願いします。定員に達したワークショップから順次申し込みを締め切らせていただきます。欠員が生じた場合のみ、当日の申込を受付いたします。

技術交流会／Technical Exchange Meeting

第3日目：6月21日（木）／ June 21 (Thu.)

C2会場(けやき会館2階 会議室2)

Room C2 (The Meeting Room #2, 2F-Keyaki Kaikan)

14:00 – 16:00

TE-1 インクジェットヘッドショーケース.....

Inkjet Head Showcase

企画:酒井 真理 (山形大学)

Planner: Shinri SAKAI (Yamagata University)

司会:中島 一浩 (キヤノン株式会社)

Facilitator: Kazuhiro NAKAJIMA (Canon Inc.)

(定員:なし, 途中入出場可, 参加費なし)

◆技術交流会の参加申込は、大会当日、会場に参加者リストを掲示いたしますのでご署名の上、ご参加下さい。

Imaging Conference JAPAN 2018 参加要領 (Registration)

◆事前参加登録について

- a) 会場での受付時の混雑を避けるため、事前参加登録へのご協力をお願いいたします。
5月31日(木)までに事前参加登録にお申込みいただくと、参加費割引が適用されます。
発表者は、参加を前提としておりますので、参加費割引が適用されます。
懇親会の参加登録は当日会場受付にて承ります。
- b) 下記 URL にて web による事前申し込みを受け付けます。
また、右記 QR コードからも申し込み可能です。 <https://questant.jp/q/RMXDXAU6-ISJ-ICJ2018>
- c) 日本画像学会会員で無い方は、この機会に会員登録されますと、コンファレンス等の費用が安くなります。
例：非会員のまま参加登録＝22,000 円(事前割引)
⇒入会して会員として参加登録＝20,000 円(会費 8,000 円＋会員参加費 12,000 円)
入会手続きは学会 HP をご覧ください。 <http://www.isj-imaging.org/announce/admission.html>
- d) 協賛学会員の方は、会員扱いといたします。本大会に参加登録された方は、画像学会連合会の全プログラムを聴講いただけます。論文集をご希望の方は別途お求めください。



◆会場での受付について

- a) 当日の会場受付は、「けやき会館」エントランスホール(1F)に開設いたします。工学系総合研究棟Ⅱには受付はありませんので、必ず「けやき会館」で受付を行ってください。
受付にて登録を済ませ、名札を付けてから会場にお入りください。名札のない方は入場をお断りします。
発表者は発表者用受付窓口で登録を受け、係の指示に従ってください。
- b) 事前参加登録をされた方は、学会から返信された事前登録確認メールをプリントアウトしたものを受付でご提示ください。当日受付の方は会員証を受付でご提示ください。維持会員企業に所属している参加者で、維持会員証の提示のない場合は、非会員としての参加となりますのでご了承下さい。
学生の方は学生証または学生会員証を受付でご提示ください。
- c) 参加費は以下の通りです。当日、受付にて現金でお支払いください。コンファレンス参加費には、論文集1冊および特別セッション参加費を含みます。

コンファレンス	5/31 まで	6/1 以降(当日も)	
会 員(非課税)	12,000 円	13,000 円	(会員証、もしくは維持会員証をご提示下さい)
非会員(税込)	22,000 円	23,000 円	
学 生(税込)	2,000 円	2,000 円	(学生証をご提示下さい)
ワークショップ(税込)			
会員のみのみ	1 件につき 1,000 円		
論文集(冊子)のみ(税込)			
会 員	5,000 円		
非会員	9,000 円		

- d) ワークショップは、事前参加登録で定員に達したワークショップから順次申し込みを締め切ります。欠員が生じた場合のみ、当日の申込を受付いたします。
- e) 当日の入会も受け付けます。受付にお申し出ください。当日会費 8,000 円で学会にご入会していただいても、会員価格で参加していただくことができ、非会員資格で参加するよりお安くなります。

◆懇親会(60周年記念パーティ)のお知らせ

発表者、講演者と参加者の懇親を深めるために、第一日目の夕方、懇親会を開催いたします。皆様お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

- * 日時: 2018 年 6 月 19 日(火) 18:00~19:15
- * 会場: 大学会館内 大学生協フードコート
- * 申込: 当日会場入口にて承ります
- * 会費: 2,000 円

会場のご案内

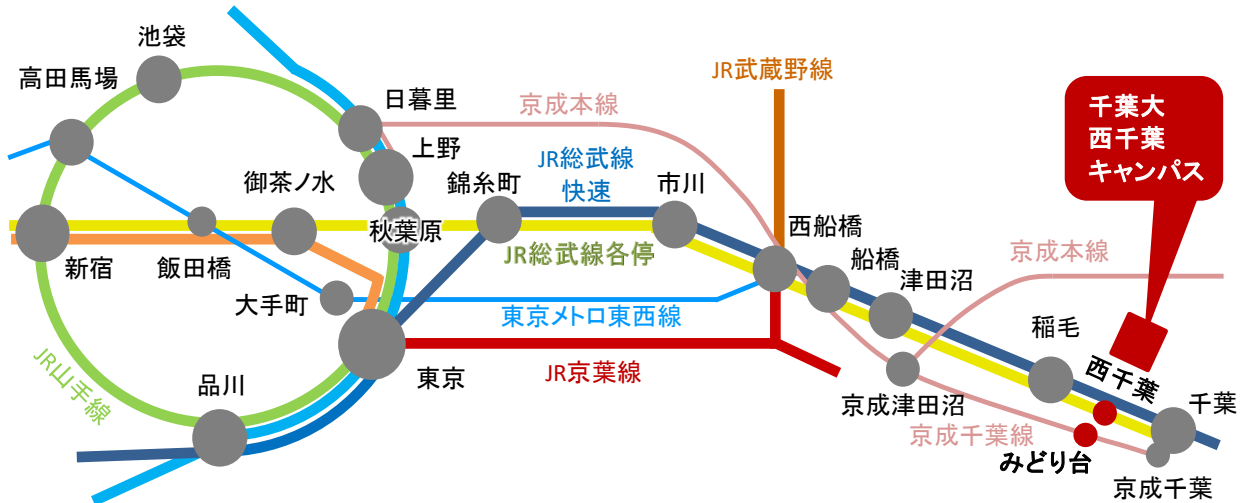
国立大学法人 千葉大学 西千葉キャンパス

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33

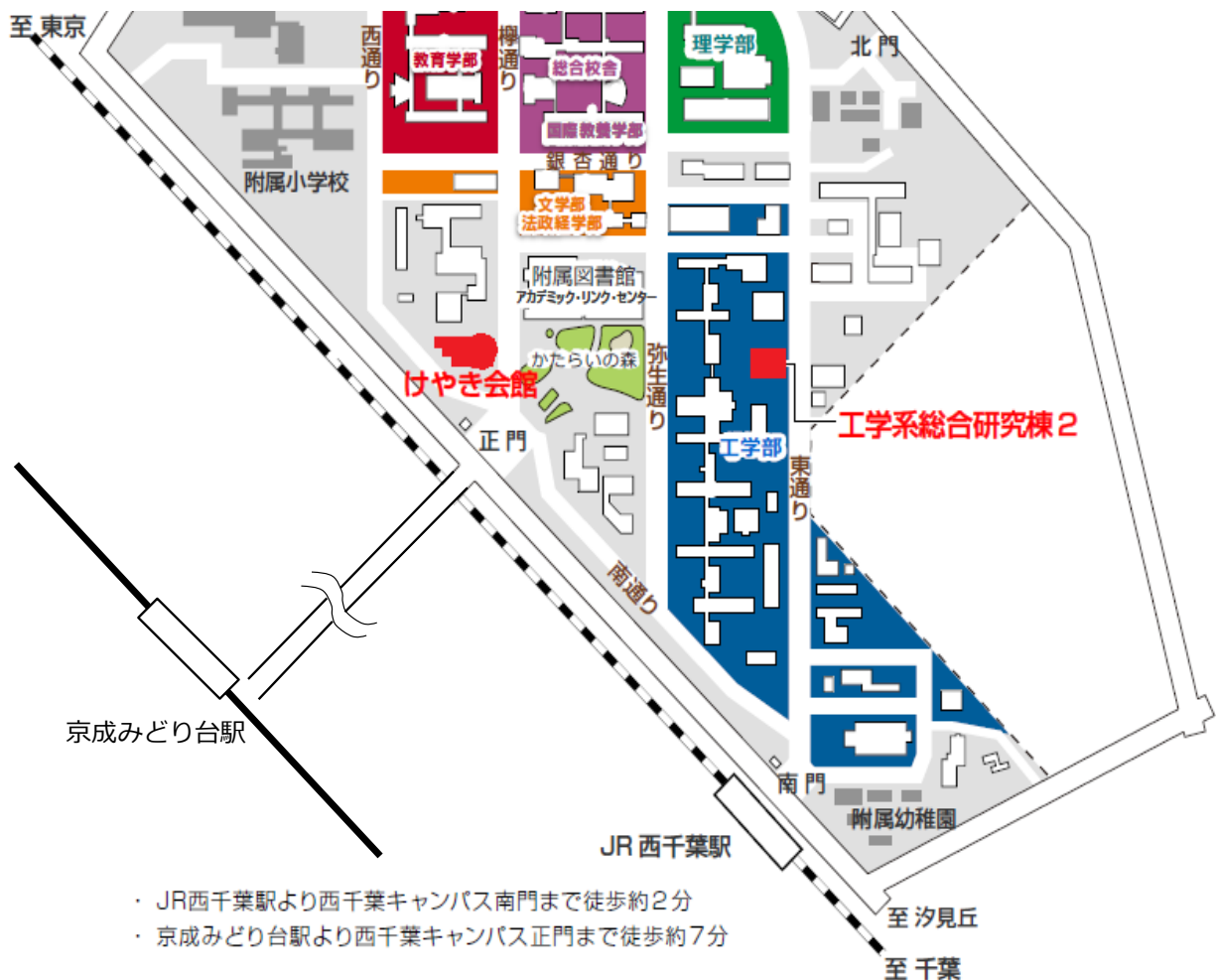
<http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/index.html>

交通アクセス：

- JR 東京駅より：総武線快速—稲毛駅で総武線各駅に乘換え—西千葉駅下車
- 京成上野駅より：京成線特急—京成津田沼駅で京成千葉線に乘換え—京成みどり台駅下車



キャンパスマップ：



How to participate Imaging Conference JAPAN 2018

Pre-registration

- a) ICJ2018 provides pre-registration to avoid congestion around the registration desk on the conference days.
Discount fee is applied if you make a registration on the web until **May 31st (Thu.)**.
Speaker needs not the pre-registration for the conference because he (she) is already assigned to participate. The discount fee is applied for the speaker.
Registration for the social hour will be open on the day (June 19 (Tue.)) at the conference site.
- b) Pre-registration site on the web is open. QR code is also available to access to it.
<https://questant.jp/q/RMXDXAU6-ISJ-ICJ2018>
- c) Non-member can save registration fee if he (she) signs-up to be a ISJ member. For Example;
Annual membership (8,000yen) + Registration fee for member (12,000yen) =20,000yen < Non-member's (22,000yen).
Check the ISJ's homepage for privilege of membership; [http://www.isj-imaging.org/announce/admission\(e\).html](http://www.isj-imaging.org/announce/admission(e).html)
- d) Member's fee is applied to a cooperating society member and a speaker from abroad.
A Participant of the ICJ2018 can join all co-sponsoring conferences of the Federation of Imaging Societies (Proceeding book fee is not included).



Registration at the Conference Site

- a) Registration desk is placed at the Entrance Hall of the "Keyaki Kaikan" on the 1st floor. There's no registration desk at the "Engineering Research Building II". Be sure to visit the "Keyaki Kaikan" first for registration.
Please make your registration at the registration desk to enter. Keep wearing your name tag on your jacket while you are in the conference room. Someone who doesn't wear the name tag will be refused to enter the room.
If you are a speaker, please visit the registration desk "For Speakers" and get information from the committee member in charge.
- b) Please show a copy of the Pre-Registration confirmation mail at the registration desk if you have done your pre-registration.
Please indicate your (or your company's) ISJ member's ID card if you have not pre-registered. If you don't have anything to identify your membership, you will be registered as a non-member.
Please indicate your Student ID Card if you are a student or a Student Member.
- c) The registration fees are as below table. The conference registration includes: admission to all technical sessions, the topical session, a conference proceeding book. Only payment by cash is available.

Conference	until 5/31	after 6/1(same as current day)	
ISJ member/Speaker (no tax)	12,000 yen	13,000 yen	(ID required)
Non-member (including tax)	22,000 yen	23,000 yen	
Student (including tax)	2,000 yen	2,000 yen	(Student ID required)
Workshop (including tax)			
ISJ member only		1,000 yen*	for one workshop
Extra Proceeding book (including tax)			
ISJ member/ Speaker		5,000 yen	
Non-member		9,000 yen	

- d) Pre-registration for each workshop will be closed if the number of applicants exceeds its capacity. On site registration will be open only if the number of applicants is below the capacity.
- e) You can apply the ISJ membership at the registration desk. Please contact a receptionist. Even if you paid the annual membership fee, you would totally save money because the membership registration fee is applied.

Social Hour (60th Anniversary Party)

Social Hour is held on the first day evening for making communication with authors and for networking. Please don't hesitate to join us.

[Date]:	June 19 (Tue.) 18 : 00 - 19 : 15
[Venue]:	Food Court of the University Co-op (2nd floor)
[Registration]:	At the entrance of the room on the day.
[Fee]:	2,000 yen

Conference Site

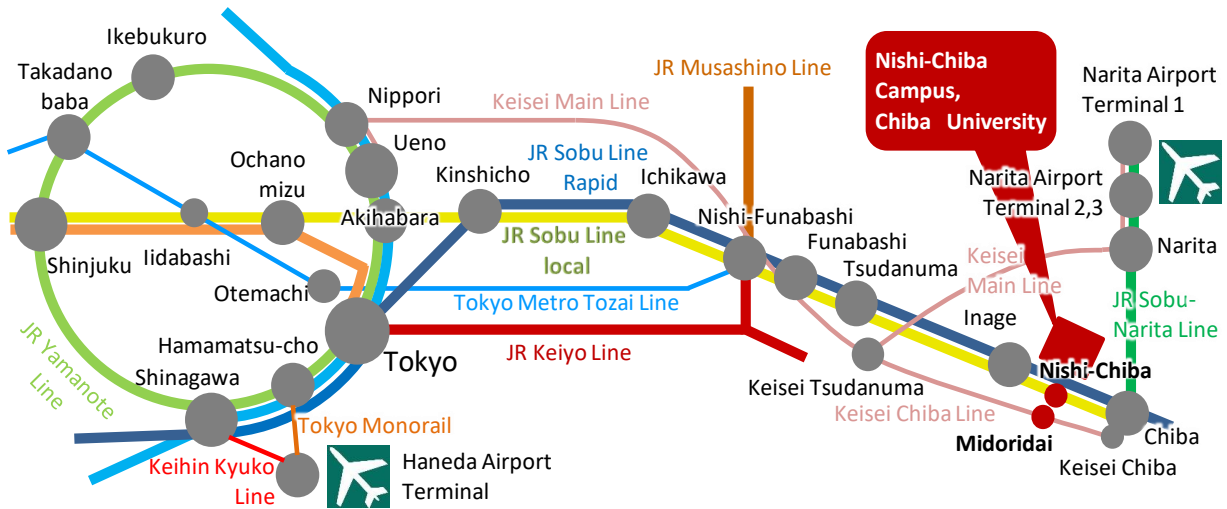
Nishi-Chiba Campus, Chiba University

1-33, Yayoicho, Inage Ward, Chiba-shi, Chiba, 263-8522 Japan

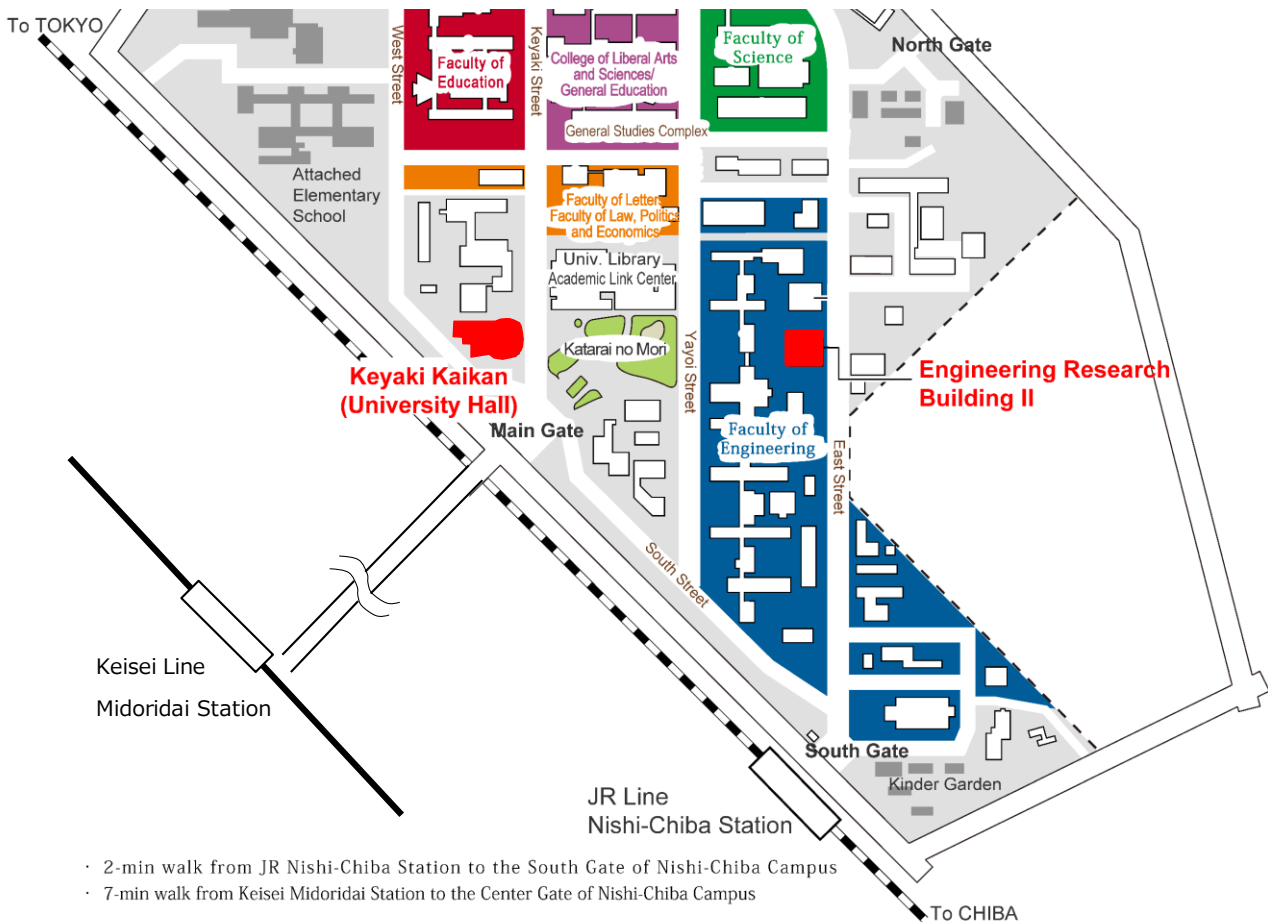
<http://www.chiba-u.ac.jp/e/about/location/index.html>

Access to the Nishi-Chiba Campus:

- From JR Tokyo Terminal :
Sobu Line Rapid Service => JR Inage (transfer) == Sobu Line Local Service => JR Nishi-Chiba
- From Keisei Ueno Terminal:
Keisei Line, Limited Express => Keisei Tsudanuma (transfer) == Keisei Chiba Line => Keisei Midoridai



Campus Map:



- 2-min walk from JR Nishi-Chiba Station to the South Gate of Nishi-Chiba Campus
- 7-min walk from Keisei Midoridai Station to the Center Gate of Nishi-Chiba Campus

◆ ICJ2018 実行委員会 ◆

【実行委員長】

武井 一 (コニカミノルタ)

【実行副委員長】

服部 好弘 (コニカミノルタ)

朝武 敦 (コニカミノルタ)

【実行委員】

秋山 勇治 (キヤノン)

伊丹 明彦 (コニカミノルタ)

浦木 信吾 (コニカミノルタ)

大橋 孝 (富士ゼロックス)

荻野 尉彦 (リコー)

河野 信明 (キヤノン)

岸 由美子 (リコー)

小林 範久 (千葉大学)

近藤 芳昭 (コニカミノルタ)

鈴木 健彦 (キヤノン)

中井 洋志 (リコー)

中島一浩 (キヤノン)

永瀬 幸雄 (キヤノン)

長谷部 恵 (富士ゼロックス)

星野 勝義 (千葉大学)

前田 博樹 (コニカミノルタ)

松代 博之 (リコー)

水谷 敏幸 (コニカミノルタ)

峯岸 なつ子 (コニカミノルタ)

校條 健 (キヤノン)

【日本画像学会長】

面谷 信 (東海大学)

【技術委員長】

佐藤 利文 (東京工芸大学)

【編集委員長】

中村 一希 (千葉大学)

【コンファレンス委員長】

三矢 輝章 (リコー)

【国際交流委員長】

藤井 雅彦 (富士ゼロックス)

【企画委員長】

酒井 真理 (山形大学)

【事業委員長】

大橋 豊史 (三菱ケミカル)

【運営委員長】

中山 信行 (富士ゼロックス)

【日本画像学会事務局】

竹内 達夫 (日本画像学会)

野田 明彦 (日本画像学会)

西原 容子 (日本画像学会)

◆ ICJ2018 Executive Committee ◆

【General Chair】

Hajime TAKEI (Konica Minolta, Inc.)

【Vice Chair】

Yoshihiro HATTORI (Konica Minolta, Inc.)

Atsushi TOMOTAKE (Konica Minolta, Inc.)

【Member】

Yuji AKIYAMA (Canon Inc.)

Akihiko ITAMI (Konica Minolta, Inc.)

Shingo URAKI (Konica Minolta, Inc.)

Takashi OHASHI (Fuji Xerox Co.,Ltd.)

Yasuhiko OGINO (Ricoh Company, Ltd.)

Nobuaki KAWANO (Canon Inc.)

Yumiko KISHI (Ricoh Company, Ltd.)

Norihisa KOBAYASHI (Chiba University)

Yoshiaki KONDOH (Konica Minolta, Inc.)

Takehiko SUZUKI (Canon Inc.)

Hiroshi NAKAI (Ricoh Company, Ltd.)

Kazuhiro NAKAJIMA (Canon Inc.)

Yukio NAGASE (Canon Inc.)

Satoshi HASEBE (Fuji Xerox Co.,Ltd.)

Katsuyoshi HOSHINO (Chiba University)

Hiroki MAEDA (Konica Minolta, Inc.)

Hiroyuki MATSUSHIRO (Ricoh Company, Ltd.)

Toshiyuki MIZUTANI (Konica Minolta, Inc.)

Natsuko MINEGISHI (Konica Minolta, Inc.)

Takeshi MENJO (Canon Inc.)

【ISJ's President】

Makoto OMODANI (Tokai University)

【Chair of Technical Committee】

Toshifumi SATO (Tokyo Polytechnic University)

【Chair of Editorial Committee】

Kazuki NAKAMURA (Chiba University)

【Chair of Conference Committee】

Teruaki MITSUYA (Ricoh Company, Ltd.)

【Chair of International Committee】

Masahiko FUJII (Fuji Xerox Co.,Ltd.)

【Chair of Planning Committee】

Shinri SAKAI (Yamagata University)

【Chair of Business Committee】

Toyoshi OHASHI (Mitsubishi Chemical Corporation)

【Chair of Steering Committee】

Nobuyuki NAKAYAMA (Fuji Xerox Co.,Ltd.)

【Executive Director】

Tatsuo TAKEUCHI (The Imaging Society of Japan)

【ISJ's secretary】

Akihiko NODA (The Imaging Society of Japan)

Yoko NISHIHARA (The Imaging Society of Japan)

画像関連学会連合会 第5回秋季大会 プログラム

2018 Nov. 15-17

京都工芸繊維大学 60周年記念館 他
京都市左京区松ヶ崎橋上町
京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」①出口より東へ徒歩8分

主催：画像関連学会連合会

共催：国立大学法人 京都工芸繊維大学



5th Fall Meeting of Federation of Imaging Societies, 2018

Joint Session of
The Imaging Societies of Japan,
The Society of Photography and Imaging of Japan,
The Institute of Image Electronics Engineers of Japan,
and
Japanese Society of Printing Science and Technology

プログラム

11月15日(木)

●受付開始 9:30 総合受付:60周年記念館2F ロビー

●オーラルセッション材料・機器(1)(2) A会場:60周年記念館 1F 記念ホール

10:15-10:20 挨拶

10:20-11:40 座長:金本成一(日本画像学会)

1AS1 デジタルプリンティングがモノとモノづくりを変える ~IGAS2018に見る変革の流れ~

酒井真理/山形大学インクジェット開発センター センター長

Digital Printing Changes Things and Manufacturing - Signs of Change Seen in IGAS2018 -

Shinri Sakai/Yamagata University, Inkjet Development Center, Director

日本画像学会第28回技術賞記念講演

1AS2 新規UV硬化インクとハーフトーン・パターンニング技術による高速・高画質形成方法

飯島裕隆, 高林敏行, 平野肇志, 水谷敏幸, 菅野豊明 / コニカミノルタ株式会社

High Speed, High Image Quality Recording Method Using a New UV Curing Ink and Halftone

Patterning Technique

Hiroataka Iijima, Toshiyuki Takabayashi, Tadashi Hirano, Toshiyuki Mizutani, Toyooki Sugaya

/KONICA MINOLTA, INC.

11:40-11:50 休憩

11:50-12:30 座長:杉山 徹(日本印刷学会)

1A01 ラマン分光法による厚膜UV硬化型樹脂の深さ方向分析

内田明日香, 尾崎靖 / 国立印刷局研究所

Depth Profile of Thick layer UV Curable Resin with Raman Spectrometry

Asuka Uchida, Yasushi Ozaki / Research Institute, National Printing Bureau

1A02 新型新聞用無処理CTPプレートの開発

宮川侑也, 嶋中修知, 難波優介, 渡邊駿平, 光本知由, 森淳一 / 富士フイルム

Development of New Type Process-less CTP Plate for Newspaper Printing

Yuya Miyagawa, Shuji Shimanaka, Yusuke Namba, Shumpei Watanabe, Tomoyoshi Mitsumoto, Junichi

Mori / FUJIFILM Corporation

12:30-13:30 休憩

13:30-14:30 座長:高橋 寛(日本写真学会)

1A03 CERNの大型加速器LHCを用いた高エネルギーニュートリノ研究

有賀智子^{1,2}, 有賀昭貴², 音野瑛俊¹, 佐藤修³ / 1)九州大学, 2)ベルン大学, 3)名古屋大学

Study of High-energy Neutrinos at the CERN LHC

Tomoko Ariga^{1,2}, Akitaka Ariga², Hidetoshi Otono¹, Osamu Sato³ /

1)Kyushu University, 2)University of Bern, 3)Nagoya University

1A04 原子核乾板を用いたニュートリノ反応の精密測定

福田努 / 名古屋大学

Precise Measurement of Neutrino Interactions with Nuclear Emulsion

Tsutomu Fukuda / Nagoya University

1A05 粒子線治療照射野可視化のための原子核乾板を用いた単一光子放射断層撮影装置

歳藤利行¹, 木村充宏¹, 佐藤修², 中村光廣² / 1)名古屋陽子線治療センター, 2)名古屋大学

Single Photon Emission Computed Tomography System Using Emulsion to Visualize Irradiation Fields for Particle Therapy

Toshiyuki Toshito¹, Mitsuhiro Kimura¹, Osamu Sato², Mitsuhiro Nakamura² /

1)Nagoya Proton Therapy Center, 2)Nagoya University

14:30-14:40 休憩

14:40-15:40 座長：澤田宏和（日本印刷学会）

- 1A06 色評価用 LED照明の評価方法 ～第二報
杉山徹, 陣内秀平, 中山景介, 村山雄亮 / 大日本印刷
Evaluation Method of LED Illumination for Viewing Printed Matter: Second Report
Tohru Sugiyama, Syuuhei Jinnouchi, Keisuke Nakayama, Yusuke Murayama / Dai Nippon Printing Co., Ltd.
- 1A07 データプリントにおけるカラーマネージメント
中嶋敬信, 鈴木淳生, 大島佑太, 小泉寛記 / 共同印刷
Color Management in the Field of Data Print
Takanobu Nakajima, Atsuo Suzuki, Yuta Oshima, Hiroki Koizumi / Kyodo Printing Co., Ltd.
- 1A08 インクジェットインクの高速乾燥技術
大西勝, 大塚俊弥 / 株式会社ミマキエンジニアリング
New UV High Speed Drying Technology of Inkjet Ink
Msaru Ohnishi, Toshiya Otsuka / MIMAKI ENGINEERING CO., Ltd.

15:40-15:50 休憩

15:50-17:10 座長：狩野 篤（日本画像学会）

- 1A09 マイクロ食品材料の作製とその特性の評価
鈴木祐哉, 梅津二郎 / 早稲田大学
Manufacturing of Micro Food Material and Evaluation
Yuya Suzuki, Shinjiro Umezu / Waseda University
- 1A10 ゴムローラと紙との摩擦および給紙性能に及ぼす接触面圧の影響
津守哲矢, 月山陽介, 新田 勇 / 新潟大学
Influence of Contact Pressure on Friction and Paper Feeding Performance between Rubber Roller and Paper
Tetsuya Tsumori, Yosuke Tsukiyama, Isami Nitta / Niigata University
- 1A11 ローラ摩擦式紙粉検出法による紙評価
浅田岬, 佐藤 陽平, 月山陽介, 新田 勇 / 新潟大学
Evaluation of Paper by Paper Lint Measurement Method by Roller Friction
Misaki Asada, Yohei Sato, Yosuke Tsukiyama, Isami Nitta / Niigata University
- 1A12 O/W型乳化重合エマルジョン特性が画質に及ぼす影響 (2)
高橋茂樹, 吉川 貴裕 / 花王株式会社
Influence of the Characteristics of Emulsion on Image quality II
Shigeki Takahashi, Takahiro Yoshikawa / Kao Corporation

●オーラルセッション材料・機器(3)(4) B会場:60周年記念館 2F 大セミナー室

11:10-12:30 座長：廣島 進（日本画像学会）

- 1B01 ペロブスカイト太陽電池の電子構造の評価と光電子分光の適用
谷忠昭¹, 米澤歩実², 内田孝幸^{2/1} / 日本写真学会, 2) 東京工芸大学
Evaluation of Electronic Structure of Perovskite Solar Cells by Photoelectron Spectroscopy
Tadaaki Tani¹, Ayumi Yonezawa², Takayuki Uchida^{2/1} /
1) The Society of Photography and Imaging of Japan, 2) Tokyo Polytechnic University
- 1B02 ベニバナ色素の緑色金属光沢が生じる条件について
山田勝実, 佐々木麻衣子, 矢島 仁, 高橋圭子, 大島正人, 平岡一幸, 八代盛男 / 東京工芸大学
Study on the Generation Conditions for Green Metallic Luster of Safflower Red Pigment
Katsumi Yamada, Maiko Sasaki, Hitoshi Yajima, Keiko Takahashi, Masato Oshima, Kazuyuki Hiraoka,
Morio Yashiro / Tokyo Polytechnic University
- 1B03 π - π 相互作用により誘起される二次ドーピングがオリゴ(3-メトキシチオフェン)塗布膜の
金色調光沢に及ぼす影響
高科佑美, 星野勝義, / 千葉大学
Effect of π - π Interaction Induced Secondary Doping on Gold-Like Luster of Oligo(3-methoxythiophene) Cast Films
Yumi Takashina, Katsuyoshi Hoshino / Chiba University
- 1B04 電気化学的刺激によって発光色の制御が可能な新規表示媒体
中村一希, 柳川菜美子, 小林範久 / 千葉大学
Novel Imaging Media Enabling Control of Luminescence Color by Electrochemical Stimuli
Kazuki Nakamura, Namiko Yanagawa, Norihisa Kobayashi / Chiba University

12:30-13:30 休憩

13:30-14:30 座長：久下謙一（日本写真学会）

- 1B05 pn接合型有機半導体積層素子における有機層界面および電極界面の電荷輸送特性解析
南田瑛介, 中村一希, 小林範久/千葉大学
Charge Transport Properties of Interfaces in pn Junction Type Multilayered Organic Semiconductor Cell
Eisuke Minamida, Kazuki Nakamura, Norihisa Kobayashi /Chiba University
- 1B06 メッシュ状グリッド電極を有した銀電着型スマートウィンドウの検討
内田孝幸, 常安翔太, 川井翼, 小泉佑輔, 山田勝実/東京工芸大学
Study on Silver-electrodeposited Smart Window with Mesh Grid Electrode
Takayuki Uchida, Shota Tsuneyasu, Tsubasa Kawai, Yusuke Koizumi, Katsumi Yamada/
Tokyo Polytechnic University
- 1B07 パラジウム析出現像銀ナノフィラメントの作製と機能電極への応用
平井翔, 柴史之, 大川祐輔/千葉大学
Palladium Deposition on Developed Silver Nanofilaments and the Application to Functional Electrode
Sho Hirai, Fumiyuki Shiba, Yusuke Okawa/Chiba University

14:30-14:40 休憩

14:40-15:40 座長：有賀智子（日本写真学会）

- 1B08 暗黒物質検出用乳剤の分析：光電子分光の応用
谷忠昭¹, 中竜大², 内田孝幸³/1)日本写真学会, 2)名古屋大学, 3)東京工芸大学
A Study of Nuclear Emulsions for Dark Matter Detection by Photoelectron Spectroscopy
Tadaaki Tani¹, Tatsuhiko Naka², Takayuki Uchida³/
1)The Society of Photography and Imaging of Japan, 2)Nagoya University, 3)Tokyo Polytechnic University
- 1B09 長期間特性に優れた新型原子核乾板の開発とその実用
西尾晃, 森島邦博, 久野光慧, 眞部祐太, 北川暢子, 桑原謙一, 吉田哲夫/名古屋大学
Development and Application of Long-Term Stable Nuclear Emulsion
Akira Nishio, Kunihiro Morishima, Mitsuaki Kuno, Yuta Manabe, Nobuko Kitagawa Ken-ichi Kuwabara,
Tetsuo Yoshida /Nagoya University
- 1B10 重イオンを用いた超微粒子原子核乾板における電荷識別能評価および低温での感度評価
多田智美¹, 中竜大¹, 白石卓也¹, 佐藤修¹, 梅本篤弘¹, 久下謙一², 小平 聡²/1)名古屋大学, 2)千葉大学
The Charge Resolution and Sensitivity Evaluation of NIT with Heavy Ion
Satomi Tada¹, Tatsuhiko Naka¹, Takuya Shiraishi¹, Osamu Sato¹, Atsuhiko Umemoto¹, Ken'ichi Kuge²
Satoshi Kodaira²/1)Nagoya University, 2)Chiba University

15:40-15:50 休憩

15:50-16:50 座長：福田 努（日本写真学会）

- 1B11 超微粒子原子核乾板の荷電粒子に対する発光応答の研究
白石卓也, 中竜大/名古屋大学
Study on Luminescence of the Fine-grain Emulsion by Charged Particles
Takuya Shiraishi, Tatsuhiko Naka /Nagoya University
- 1B12 GRAINE計画：2018年豪州気球実験
高橋寛¹, GRAINE collaboration GRAINE collaboration²
/1)神戸大学, 2)愛知教育大学, ISAS/JAXA, 岡山理科大学, 神戸大, 名古屋大学
GRAINE Project, a 2018 Balloon-borne Experiment in Australia
Satoru Takahashi¹, GRAINE collaboration GRAINE collaboration² /
1)Kobe University, 2)Aichi University of Education, ISAS/JAXA, Kobe University, Nagoya University
Okayama University of Science
- 1B13 写真産業の技術革新史 その5 -X線画像診断法の確立とそのデジタル化-
高田俊二/千葉大学
History of Technical Innovations in the Photographic Industry (5) -Establishment of X-ray Diagnostic
Imaging and its Digitization -
Shunji Takada /Chiba University

11月16日(金)

●ポスターセッション(終了時にベストポスター賞等発表予定)

ショートプレゼンテーション(1件3分)/A会場:60周年記念館 1F 記念ホール

11:00-11:55 P01-18 (材料・機器)

13:40-14:30 P51-67 (ソフト系)

ポスター発表/B会場:60周年記念館 2F 大セミナー室(座長:岩崎 仁)

※ポスターは12:00-13:20に掲出してください。発表コアタイムは、発表奇数が14:40-15:40
偶数が15:40-16:40です。ポスター撤去は16:40-17:00をお願いします。

11:00-11:55 P01-P18 座長:足立克己(日本画像学会)

- P01 量子ドット発光ダイオードの作製と特性評価
佐野翔一, 高田誠, 永瀬隆, 小林隆史, 内藤裕義/大阪府立大学
Fabrication and Characterization of Quantum-Dot Light-Emitting Diodes
Shoichi Sano, Makoto Takada, Takashi Nagase, Takashi Kobayashi, Hiroyoshi Naito/
Osaka Prefecture University
- P02 窒化ガリウムの蛍光発光特性
上田悠貴, 岩崎仁/京都工芸繊維大学
Fluorescence Behavior of Lab-made GaN Powder
Yuki Ueda, Masashi Iwasaki/Kyoto Institute of Technology
- P03 紙基板上に作製した分散型EL特性に及ぼす誘電損失の影響
竹田直樹, 常安翔太, 佐藤利文/東京工芸大学
Influence of Dielectric Loss on Characteristics of Powder Electroluminescent Device on Paper Substrate
Naoki Takeda, Shota Tsuneyasu, Toshifumi Satoh/Tokyo Polytechnic University
- P04 乳酸菌塗付容器の開発
山田孝志/凸版印刷
Development of a Container Coated with Lactic Acid Bacteria
Takashi Yamada/Toppan Printing Co., Ltd.
- P05 ソリッドマイクロカプセルトナーによる省エネ・高画質化・環境負荷低減
西寺晴弘, 辻廣昌己, 大喜多正希, 宮本英稔, 矢部 成男, 小澤 義夫/京セラドキュメントソリューションズ株式会社
Solid Microcapsule Toner Achieves Energy Saving, High Image Quality, Low Environmental Load
Haruhiro Nishitera, Masami Tsujihira, Masaki Okita, Hidetoshi Miyamoto, Naruo Yabe, Yoshio Ozawa/
Kyocera Document Solutions Inc.
- P06 ポリマーフィルムの摩擦帯電挙動に及ぼすガラス転移温度および親水性/疎水性の影響
平山裕大, 星野勝義/千葉大学
Effect of Glass Transition Temperature and Hydrophilicity/Hydrophobicity on the Triboelectric Charging
Behavior of Polymer Films
Yuta Hirayama, Katsuyoshi Hoshino/Chiba University
- P07 超微粒子乳剤における現像銀粒子形状の解析
久下謙一/千葉大学
Analysis of Morphology of Developed Silver Grains at Ultra-fine-grain Emulsion
Ken'ichi Kuge/Chiba University
- P08 グラビアオフセット印刷法により形成した微細銀グリッド配線に導電性ポリマーを積層したフレキシブル
透明電極の電気・機械信頼性
大沢正人, 橋本夏樹/株式会社アルバック 未来技術研究所
Electromechanical Reliability of Flexible Transparent Electrode of Gravure Offset Printed Invisible
Silver-Grid Laminated with Conductive Polymer
Masato Ohsawa, Natsuki Hashimoto/Future technology Research Laboratory, ULVAC, Inc.
- P09 取り下げ

- P10 光酸発生剤による単層カーボンナノチューブ薄膜の光ドーピング
 頓田英雅, 青合利明, 高原茂/千葉大学
Photo doping of Single-Walled Carbon Nanotube film with Photo Acid Generator
 Hidemasa Tonda, Toshiaki Aoai, Shigeru Takahara /Chiba University
- P11 原子核乾板を用いた宇宙線イメージングのためのミュオンフラックス測定
 干潟紘太郎, 森島邦博, 西尾晃/名古屋大学
Study of Muon Flux for Cosmic Ray Imaging with Nuclear Emulsion
 Kotaro Higata, Kunihiro Morishima, Akira Nishio /Nagoya University
- P12 GRAINE計画：2018年豪州気球実験搭載姿勢モニター「スターカメラ」
 中村崇文¹, 青木茂樹¹, 高橋覚¹, GRAINE collaboration²/
 1) 神戸大学, 2) 愛知教育大学, ISAS/JAXA, 岡山理科大学, 神戸大学, 名古屋大学
Attitude Monitor ” Star Camera” for GRAINE Experiment in 2018
 Takafumi Nakamura¹, Shigeki Aoki¹, Satoru Takahashi¹, GRAINE collaboration² /1) Kobe University, 2) Aichi University of Education, ISAS/JAXA, Kobe University, Nagoya University, Okayama University of Science
- P13 GRAINE2018豪州気球実験：多段シフターのフライトデータ解析
 丸嶋利嗣¹, 青木茂樹¹, 高橋覚¹, GRAINE collaboration²/
 1) 神戸大学, 2) 愛知教育大学, ISAS/JAXA, 岡山理科大学, 神戸大学, 名古屋大学
GRAINE2018 : Flight Data Analysis of Multi-Stage-Shifter
 Toshitsugu Marushima¹, Shigeki Aoki¹, Satoru Takahashi¹, GRAINE collaboration² /1) Kobe University, 2) Aichi University of Education, ISAS/JAXA, Okayama University of Science, Kobe University, Nagoya University
- P14 GRAINE2018, 豪州気球実験における時刻付与機構、多段シフター搭載エマルジョンフィルムの開発
 松田菖汰¹, 青木茂樹¹, 高橋覚¹, GRAINE collaboration² /1) 神戸大学, 2) 愛知教育大学, ISAS/JAXA, 神戸大学, 名古屋大学, 岡山理科大学
Research and Development of Emulsion Film on Time Stamp Mechanism in Australian Balloon Experiment
 Shota Matsuda¹, Shigeki Aoki¹, Satoru Takahashi¹, GRAINE collaboration² /
 1) Kobe University, 2) Aichi University of Education, ISAS/JAXA, Kobe University, Nagoya University, Okayama University of Science
- P15 GRAINE2018年豪州気球実験：エマルジョン望遠鏡時刻付与機構の開発・導入及び評価
 中村元哉¹, 青木茂樹¹, 高橋覚¹, GRAINE collaboration² /1) 神戸大学, 2) 愛知教育大, ISAS/JAXA, 岡山理科大学, 神戸大, 名古屋大学
GRAINE2018 : The Development, Installation and Evaluation of Time-stamper for Balloon-borne Experiment in Australia
 Motoya Nakamura¹, Shigeki Aoki¹, Satoru Takahashi¹, GRAINE collaboration² /
 1) Kobe University, 2) Aichi University of Education, ISAS/JAXA, Kobe University, Nagoya University, Okayama University of Science
- P16 GRAINE次期気球実験に向けた新型多段シフターの基本特性評価 1
 小田美由紀, 青木茂樹, 佐藤良紀, 高橋覚, 松本俊樹, 山本知己/神戸大学
Basic Characterization of Next Generation Model of Multi-stage Shifter for GRAINE Next Balloon-borne Experiment 1
 Miyuki Oda, Shigeki Aoki, Yoshiki Sato, Satoru Takahashi, Toshiki Matsumoto, Tomomi Yamamoto / Kobe University
- P17 GRAINE次期気球実験に向けた新型多段シフターの基本特性評価 2
 山本知己, 青木茂樹, 高橋覚, 小田美由紀, 佐藤良紀, 松本稔樹 /神戸大学
Basic Characterization of Next Generation Model of Multi-stage Shifter for GRAINE Next Balloon-borne Experiment 2
 Tomomi Yamamoto, Shigeki Aoki, Satoru Takahashi, Miyuki Oda, Yoshiki Sato, Toshiki Matsumoto / Kobe University
- P18 名古屋大学における原子核乾板自動塗布設備の構築に向けた研究
 杉村昂, 六條宏紀, 長縄直崇, 中村光廣/名古屋大学
Construction of Emulsion Film Pouring System in Nagoya University
 Kou Sugimura, Hiroki Rokujo, Naotaka Naganawa, Mitsuhiro Nakamura /Nagoya University

13:40-14:30 P51-67 座長：大橋由人（日本印刷学会）

- P51 PC上作業の補助媒体としての紙/Tablet/電子ペーパーの作業性比較
江口京佑, 面谷信/東海大学
Comparison of Paper/Tablet/e-Paper as a Supporting Media for Working on PC
Kyosuke Eguchi, Makoto Omodani /Tokai University
- P52 印刷物とディスプレイにおける読書時の眼精疲労の比較 (2)
林涼介, 東吉彦/東京工芸大学
Evaluation of Eye Fatigue between Print and Display when Reading (2)
Ryosuke Hayashi, Yoshihiko Azuma /Tokyo Polytechnic University
- P53 写真によるピア・ラーニングが生きる力に与える影響—大学生を対象として—
鈴木敬子^{1, 2}, 小林裕幸^{1/1} 千葉大学, 2) 神奈川県立近代美術館,
The Effect of Peer-learning through Photography on the Power to Live for University Students
Keiko Suzuki^{1, 2}, Hiroyuki Kobayashi^{1 /1} Chiba University, 2) The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
- P54 ドレス写真における色認識個人差の原因解明 —照明状況の認識差による説明—
小川航輝, 面谷信/東海大学
Elucidation of Individual Difference in Color Recognition of The Dress
-Explanation Focusing on Divergence of Presumption for Lighting Condition -
Kouki Ogawa, Makoto Omodani/Tokai University
- P55 傷みを考慮した髪の変色の再パラメータ化
村上哲也, 床井浩平/和歌山大学
Reparameterization of Hair Bruise Expression
Tetsuya Murakami, Kohe Tokoi/Wakayama University
- P56 逆遠近法による錯視のVR物体のアニメーション適用
竹内凌一, 橋本渉, 水谷泰治, 西口敏司/大阪工業大学
An Application of Animation Effects for Reverse Perspective Objects in VR
Ryoichi Takeuchi, Wataru Hashimoto, Yasuharu Mizutani, Satoshi Nishiguchi /Osaka Institute of technology
- P57 グラビア印刷色予測の高精度化
田中貴也, 稲村 崇, 堀内 智博/凸版印刷
Improved Color Estimation for Gravure Printing
Takaya Tanaka, Takashi Inamura, Tomohiro Horiuchi/Toppan Printing Co., Ltd.
- P58 原本性保証に有用な可変潜像情報読出し技術～スマートフォンによる位相変調型潜像の抽出～
内田享佑^{1, 2}, 李中淳¹, Daniel Agbesi Dzissah¹, 平良奈緒子¹, 小尾高史¹, 大山永昭¹/
1) 東京工業大学, 2) 国立印刷局
Useful Readout Technology of Variable Latent Image for Originality Assurance
- A New Method Extracting Latent Image Embedded by Phase Modulation Using Smart Phone-
Kyosuke Uchida^{1, 2}, Joong-sun Lee¹, Daniel Agbesi Dzissah¹, Naoko Taira¹, Takashi Obi¹, Nagaaki Ooyama¹ /
1) Tokyo Institute of Technology, 2) National Printing Bureau
- P59 サッカーにおけるVAR支援を目的としたハンドリング検出
菅野陸, 村木祐太, 西尾孝治, 小堀研一/大阪工業大学
Detection of Handling Violation for VAR Support in Soccer Game
Riku Kanno, Yuta Muraki, Koji Nishio, Kenichi Kobori/Osaka Institute of technology
- P60 色特徴のみを用いた Informed-Filters による物体検出手法のハードウェア実装
津山雅彦, 青木修平, 大木琢郎, 宮本龍介/明治大学
A Hardware-Based Object Detector Trained by Informed-Filters Using Only Color Features
Masahiko Tsuyama, Shuhei Aoki, Takuro Oki, Ryusuke Miyamoto /Meiji University
- P61 空撮画像によるスポーツ選手の位置推定における UAV 制御手法検討のためのシミュレータ
右田悠太, 出雲駿哉, 小林真吾, 大木琢郎, 宮本龍介/明治大学
A Simulated for Dynamic UAV Control Based on Captured Images via Cameras Mounted on UAVs
Yuta Migita, Shunya Izumo, Shingo Kobayashi, Takuro Oki, Ryusuke Miyamoto /Meiji University
- P62 時空間フィルタを用いた領域分割結果のノイズ除去
青木梨紗子, 小林真吾, 中村勇太, 石田大貴, 宮本龍介/明治大学
Spatio-Temporal Filtering for Noise Reduction in Segmented Image Sequences for Robot Navigation
Risako Aoki, Shingo Kobayashi, Yuta Nakamura, Hiroki Ishida, Ryusuke Miyamoto /Meiji University

- P63 ロボットの自律移動を目的とした意味論的領域分割のためのデータセット作成
中島健志, 中村勇太, 小島一也, 宮野龍一, 安達美穂, 石田大貴, 小林真吾, 宮本龍介/明治大学
Dataset Creation for Semantic Segmentation Used in Autonomous Navigation
Takeshi Nakajima, Yuta Nakamura, Kazuya Kojima, Ryuichi Miyano, Miho Adachi, Hiroki Ishida,
Shingo Kobayashi, Ryusuke Miyamoto /Meiji University
- P64 深層学習を用いた道路標識検出のための 3DCGシミュレーションに基づく学習データセットの生成
加藤立登, 西口敏司, 水谷泰治, 橋本渉/大阪工業大学
Generation of Training Dataset based on 3DCG Simulation for Road Sign Detection using Deep Learning
Ryuto Kato, Satoshi Nishiguchi, Yasuharu Mizutani, Wataru Hashimoto/Osaka Institute of technology
- P65 携帯端末向け動画広告を対象としたレガシーJPEG互換画質制御
青木駿¹, 大木琢郎¹, 宮本龍介¹, 井口誠^{2/1} 明治大学, 2) CMerTV
JPEG Compatible Image Quality Control for Video Advertising on Mobile Devices
Shun Aoki¹, Takuro Oki¹, Ryusuke Miyamoto¹, Makoto Iguchi^{2/1} Meiji University, 2) CMerTV
- P66 メニーコア CPU時代の素粒子飛跡再構成ソフトウェアの高速化
駒谷良輔¹, 児玉康一², 中野敏行¹, 佐藤修^{1/1} 名古屋大学, 2) 愛知教育大学
Speed-up of the Particle Track Reconstruction Software in the Era of Many Core CPU.
Ryosuke Komatani¹, Kouichi Kodama¹, Toshiyuki Nakano², Osamu Sato^{1/1}
1) Nagoya University, 2) Aichi University of Education
- P67 放物面鏡対を使用した像浮上型の体積型立体表示 -像照射系の配置最適化による鑑賞性向上-
稲義実, 藤川知栄美, 面谷信/東海大学
Volumetric 3D Display using Parabolic Mirror Pairs
-Improvement of impression by introducing optimized projection system-
Yoshimi Ina, Chiemi Fujikawa, Makoto Omodani/Tokai University
- P68 ブランドムービー “The Creators” の制作
佐々木 厚/パナソニック株式会社
Brand movie “The Creators”
Atsushi Sasaki / Panasonic Corporation Appliances Company Design Center

●全体基調講演

17:00-18:00 A 会場: 60 周年記念館 1F 記念ホール

「映像のアーカイビング -アカデミー科学技術賞受賞とその後の展開-」

名古屋大学・国立映画アーカイブ 大関勝久氏 (座長: 岩崎仁)

●情報交換会 (参加費 2,000 円)

18:00-19:30 B 会場: 60 周年記念館 2F 大セミナー室

●日本画像学会 秋・技術講習会

10:00-16:15 C 会場: 13 号館 4F 多目的室

(別途参加費が必要です。詳しくは日本画像学会 HP)

11月17日(土)

●ソフト系(1)(2) A会場:60周年記念館 1F 記念ホール

10:30-11:00 座長: 鑑谷賢治 (日本画像学会)

- 3A01 Does an Expert use Memory Colors to Adjust Images?
Clotilde Boust^{1,4}, Ferruccio Cittadini^{1,4}, Mohamed Ben Chouikha⁴, Hans Brettel³, Françoise Viénot²,
Stéphane Berche¹, Georges Alquié⁴
/1)Océ Print Logic Technologies (Créteil, France), 2)Museum National d'Histoire Naturelle (Paris),
3)Ecole Nationale Supérieure des Télécommunications-CNRS (Paris), 4)Université Pierre et Marie Curie (Paris)

11:00-12:00 座長: 平山 亮 (画像電子学会)

- 3A02 画像関連の国際標準化及び適合性評価の動向とビジネスや経済に与える影響
和泉章/一橋大学
Standardization and Conformity Assessment Activities Regarding to Imaging Technology and Their
Effects on Business and Economy
Akira Izumi / Hitotsubashi University

- 3A03 オブジェクト分析設計におけるクラス継承とシステムの意味的概念の形成に関する考察
～造り酒屋オントロジの具体化における検討経緯～
大野邦夫/株式会社モナビ IT コンサルティング
A Study on Semantic Concept Created by Class Inheritance through Object Analysis and Design
～ An Experience of Sake Factory Ontology Realization ～
Kunio Ohno / Monavis IT Consulting Co. LTD.

- 3A04 傾斜型の透過光源を用いたイメージセンサの一考察
遠藤孝文¹, 張文波², 孫華剛¹, 劉振翔², 片桐謙¹
1)山東華菱電子股份有限公司日本事務所, 2)威海華菱光電股份有限公司
A Study of Image Sensor Using Inclined Type Transmission Light Source
Takafumi Endo¹, Wen-Bo Zhang², Sun Huagang¹, Chen-Hsiang Liu², Jo Katagiri¹/
1)Shandong Hualing Electronics Co., Ltd., 2)Weihai Hualing Opto-Electronics Co., Ltd.

12:00-13:00 休憩

13:00-14:00 座長: 西尾孝治 (画像電子学会)

- 3A05 デジタル時代のセキュリティ施策に関する研究 ―海賊版対策の一考察
新免浩太郎, 木内正人, 高橋寛行/国立印刷局
A Study of Security Measures in the Digital Age - Consideration on Pirated Product Countermeasures
Kotaro Shinmen, Masato Kiuchi, Hiroyuki Takahashi/National Printing Bureau

- 3A06 芸術作品としての表現力に注目したデジタル写真システムと銀塩写真システムの比較
水口淳¹, 茂手木秀行², 甲田謙一³, 小林裕幸⁴/
1)カメラ・写真技術解説家, 2)写真家, 3)日本大学, 4)千葉大学
A Comparison of Digital Photo System and Silver Halide Photo System Focused on Expressive Power
as an Art Work
Jun Minakuti¹, Hideyuki Motegi², Kenichi Kohda³, Hiroyuki Kobayashi⁴ /
1)Freelance Camera&Photography Lecturer, 2)Photographer, 3)Nihon University, 4)Chiba University

- 3A07 GANによるゲームステージの自動生成について
永廣幸太郎¹, 佐野睦夫¹, 大井翔²/1)大阪工業大学, 2)立命館大学
Automatic Generation of Game Stage Based on Generative Adversarial Networks
Kotaro Nagahiro¹, Mutsuo Sano¹, Sho Ooi²/1)Osaka Institute of Technology, 2)Ritsumeikan University

14:00-14:10 休憩

14:10-15:10 座長: 児玉 明 (画像電子学会)

- 3A08 マスク顔画像識別による顔検出の弱教師あり学習
下山荘介, 伊藤直之, 松葉靖寿/大日本印刷
Weakly Supervised Learning of Face Detection by Masked Face Image Classification
Sousuke Shimoyama, Naoyuki Ito, Seiji Matsuba/Dai Nippon Printing Co., Ltd.

3A09 微細構造における相互反射を考慮したバラの BRDFモデル

元辻香苗, 名畑豪祐, 岩崎慶/和歌山大学

A BRDF Model for Rose Taking into Account Light Interreflections in Microstructures

Kanae Mototsuji, Kosuke Nabata, Kei Iwasaki /Wakayama University

3A10 方向角パラメータ曲線-研究の進展状況と展望-

齋藤隆文¹, 吉田雄一¹, 久田友海¹, 吉田典正^{2/1} 東京農工大学 2) 日本大学

Tangential Angle Parameterization Curves- Research Progress and Future Perspective-

Takafumi Saito¹, Yuichi Yoshida¹, Tomomi Kuda¹, Norimasa Yoshida²

1)Tokyo University of Agriculture and Technology, 2)Nihon University

15:10-15:20 休憩

15:20-16:40 座長: 水口 淳 (日本写真学会)

3A11 動き方向ヒストグラムによる画面揺れ抽出法の性能改善に関する一考察

児玉明/広島大学

A Consideration of the Performance Improvement in Screen Shake Extraction Methods by Moving Direction Histograms

Mei Kodama/Hiroshima University

3A12 視野角あたりの画素密度とノイズ知覚の関係

小森駿, 和崎浩幸/木更津工業高等専門学校

Relationship between Angular Pixel Density and Noise Perception

Suguru Komori, Hiroyuki Wasaki /National Institute of Technology, Kisarazu College

3A13 口笛吹奏時の口唇開口部の円形度計測

谷出健一, 森幹男/福井大学

Circularity Measurement of Lip Opening Area in Human Whistling

Ken'ichi Tanide, Mikio Mori /University of Fukui

3A14 超高精細3Dデジタルアーカイブ技術の取り組み

佐波晶 /大日本印刷株式会社

A study on the digitizing techniques for ultra-high resolution 3D Data

Sho Sanami/Dai Nippon Printing Co., Ltd.

11月17日

●特別講演

13:00-16:20 B会場:60周年記念館 2F 大セミナー室

13:00-14:00 座長: 久保尋之 (画像電子学会)

3BS1 Expressive Rendering~NPRからVRまで~

高橋時市郎^{1,2}, 森谷友昭^{1/1} 東京電機大学, 2) アストロデザイン

Expressive Rendering --- From Non-Photorealistic Rendering to Virtual Reality Applications

Tokiichiro Takahashi^{1,2}, Tomoaki Moriya^{1/1} (1)Tokyo Denki University, 2)ASTRODESIGN

14:00-14:10 休憩

14:10-15:10 座長: 床井浩平 (画像電子学会)

3BS2 ゲーム業界で20年生き残った処世術

堂前嘉樹/株式会社ロジカルビート

15:10-15:20 休憩

15:20-16:20 座長: 江前敏晴 (日本印刷学会)

3BS3 木材解剖学におけるコンピュータビジョンと機械学習

—自動分類や特性予測の可能性—

杉山淳司/京都大学生存圏研究所

Computer Vision and Machine Learning in Wood Anatomy

- Potentials for Automated Classification and Prediction of Properties-

Junji Sugiyama /Kyoto University, Research Institute for Sustainable Humanosphere

画像関連学会連合会 第5回秋季大会 実行委員

実行委員長：岩崎 仁（日本写真学会、京都工芸繊維大学）

実行委員：大橋由人（日本印刷学会、三菱製紙）、金本成一（日本画像学会、ブラザー工業）

狩野 篤（日本画像学会、京セラドキュメントソリューションズ）、

久下謙一（日本写真学会、千葉大学）、久保尋之（画像電子学会、奈良先端科学技術大学院大学）

床井浩平（画像電子学会、和歌山大学）、西尾孝治（画像電子学会、大阪工業大学）

西村直哉（日本写真学会、三菱製紙）、平山 亮（画像電子学会、大阪工業大学）

画像関連学会連合会 幹事：竹内達夫（日本画像学会）



<会場案内>



<大会スケジュール>

11月15日 (木)	受付開始 9時半 60周年記念館2階ロビー	オールラセッション 材料・機器 (1) 1A51, 1A52, 1A01, 1A02 10:20-12:30 A会場	昼食休憩	オールラセッション 材料・機器 (2) 1A03~1A12 13:30-17:10 A会場	オールラセッション 材料・機器 (3) 1B01~1B04 11:10-12:30 B会場	オールラセッション 材料・機器 (4) 1B05~1B13 13:30-16:50 B会場	機器展示 12:00-16:00 60周年記念館ロビー		
11月16日 (金)	受付開始 9時半 60周年記念館2階ロビー	ポスターセッション ショートプレゼンテーション P01-P18 11:00-11:55 A会場	機器展示ランチョンセミナー ポスター掲出	昼食休憩	ポスターセッション ショートプレゼンテーション P51-P67 13:40-14:30 A会場	ポスターセッション コアタイム 前半14:40-15:40 後半15:40-16:40 B会場	ポスター撤去	全体基調講演 17:00-18:00 A会場	情報交換会 18:00-19:30 B会場
		機器展示 10:30-16:00 60周年記念館ロビー 画像学会 秋・技術講習会 10:00-16:15 C会場 (別途、講習料が必要です)			● 情報交換会には別途参加費 (2,000円) が必要です。				
11月17日 (土)	受付開始 10時 60周年記念館1階ロビー	オールラセッション ソフト系 (1) 3A01~3A04 10:30-12:00 A会場	昼食休憩	オールラセッション ソフト系 (2) 3A05~3A14 13:00-16:40 A会場	画像関連学会連合会 特別講演会 3B51-3B53 13:00-16:20 B会場				

● 本大会参加者は、オールラ・ポスターセッション、各講演を含め、全てのイベントに参加できます。